

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

九大院医医第120 号
令和 5 年 10 月 3 日
開設者名 国立大学法人 九州大学
総長 石橋 達朗

九州大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和 4 年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒819-0395 福岡市西区元岡777
氏名	国立大学法人 九州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

九州大学病院

3 所在の場所

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
電話(092) 641 - 1151 (代表)

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科				有			
内科と組み合わせた診療科名等							
	1呼吸器内科		2消化器内科		3循環器内科		4腎臓内科
○	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
・呼吸器内科は呼吸器科で診療を行っている。 ・循環器内科は循環器科で診療を行っている。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科				有			
外科と組み合わせた診療科名							
	1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	リハビリテーション科	2	病理診断科・病理部	3	形成外科	4	心療内科	5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
41				1226	1267

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	646	5	650.0
歯科医師	115	49	154.2
薬剤師	100	0	100
保健師	0	0	0
助産師	43	0	43
看護師	1171	14	1180.8
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	21	0	21
管理栄養士	13	0	13

職種	員数
看護補助者	7
理学療法士	22
作業療法士	9
視能訓練士	10
義肢装具士	0
臨床工学士	27
栄養士	0
歯科技工士	5
診療放射線技師	74

職種	員数
診療エックス線技師	0
臨床検査技師	114
衛生検査技師	3
その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0
医療社会事業従事者	12
その他の技術員	37
事務職員	352
その他の職員	172

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	228	眼科専門医	4
外科専門医	60	耳鼻咽喉科専門医	11
精神科専門医	11	放射線科専門医	19
小児科専門医	35	脳神経外科専門医	10
皮膚科専門医	9	整形外科専門医	26
泌尿器科専門医	13	麻酔科専門医	16
産婦人科専門医	6	救急科専門医	16
		合計	464

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (中 村 雅 史) 任命年月日 令和 4 年 4 月 1 日

平成30年度より令和3年度末まで九州大学病院医療安全管理責任者を務めた。また、平成27年度より令和3年度末まで九州大学病院検証会委員を務め、病院全体の医療安全管理体制に貢献した。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	920.55 人	28.39 人	948.94 人
1日当たり平均外来患者数	2399.73 人	738.65 人	3138.37 人
1日当たり平均調剤数	2,044.60		剤
必要医師数	235.05525		人
必要歯科医師数	40.48		人
必要薬剤師数	31.63		人
必要(准)看護師数	581.68		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	442.93 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	12 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 1,226.28 m ²		病床数	54 床		
	[移動式の場合] 台数 4 台					
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 84.74 m ²					
	[共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	1,116 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置		
細菌検査室	552 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	冷蔵庫・冷凍庫、測定・分析装置		
病理検査室	527 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	バーチャルスライド・スキャナー、自動免疫染色装置		
病理解剖室	65 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	ラミナフローユニット・バイオハザード・解剖台		
研究室	15,430 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	クリーンベンチ、遠心分離機、冷蔵庫・冷凍庫		
講義室	485 m ²	鉄筋コンクリート	室数 3 室	収容定員	2室157人 1室256人	人
図書室	4,033 m ²	鉄筋コンクリート	室数 5 室	蔵書数	313,258	冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率		79.9	%	逆紹介率		90.1	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数					21,186	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数					26,176	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数					2,015	人
	D: 初診の患者の数					29,030	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
内門 泰斗	鹿児島大学	○	安全管理の識見者	無	1
今村 健	福岡大学		安全管理の識見者	無	1
合原 則隆	久留米大学		安全管理の識見者	無	1
久保井 摂	九州合同法律事務所		法律の識見者	無	1
中原 美夏	NPO法人 がんサーサポート		医療を受ける者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
本院ウェブサイトに掲載	

医療法第6条の6第1項に基づく診療科名

医科			
届出	標榜診療科(医療法)	院内診療科名	備考
○	内科	血液・腫瘍・心血管内科 免疫・膠原病・感染症内科 消化管内科 腎・高血圧・脳血管内科 内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科 総合診療科 先端分子・細胞治療科	
○	心療内科	心療内科	
○	精神科	精神科神経科	
	神経科		
○	神経内科	脳神経内科	
○	呼吸器科	呼吸器科	
	消化器科(胃腸科)		
○	循環器科	循環器内科	
	アレルギー科		
	リウマチ科		
○	小児科	小児科	
○	外科	消化管外科(1) 消化管外科(2) 肝臓・脾臓・門脈・肝臓移植外科 胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科 呼吸器外科(1) 呼吸器外科(2) 乳腺外科(1) 乳腺外科(2) 内分泌外科 血管外科	
○	整形外科	整形外科	
○	形成外科	形成外科	
	美容外科		
○	脳神経外科	脳神経外科	
	呼吸器外科		
○	心臓血管外科	心臓血管外科	
○	小児外科	小児外科、成育外科、小腸移植外科	
	皮膚泌尿器科		
○	皮膚科	皮膚科	
○	泌尿器科	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	
	性病科		
	こう門科		
	産婦人科		
○	産科	産科婦人科	
○	婦人科		
○	眼科	眼科	
○	耳鼻いんこう科	耳鼻咽喉・頭頸部外科	
	気管食道科		
○	リハビリテーション科	リハビリテーション科	
○	放射線科	放射線科	
○	病理診断科	病理診断科・病理部	
○	麻酔科	麻酔科蘇生科	
○	救急科	救命救急センター	

24

歯科			
	標榜科	院内診療科名	備考
○	歯科	歯内治療科 歯周病科 義歯補綴科 咬合補綴科 歯科麻酔科 口腔画像診断科 口腔総合診療科 高齢者歯科・全身管理歯科	
○	矯正歯科	矯正歯科	
○	小児歯科	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	
○	歯科口腔外科	顎口腔外科 顔面口腔外科	

4

令和4年度患者数(入院)

月	日数	医 科	歯 科	月 計
4月	30	27,685	950	28,635
5月	31	27,863	819	28,682
6月	30	28,934	872	29,806
7月	31	29,778	967	30,745
8月	31	28,004	919	28,923
9月	30	28,126	790	28,916
10月	31	29,010	820	29,830
11月	30	27,597	819	28,416
12月	31	27,509	828	28,337
1月	31	25,881	730	26,611
2月	28	26,414	845	27,259
3月	31	29,200	1,004	30,204
年 計	365	336,001	10,363	346,364

1日平均 入院患者数	920.55	28.39	948.94
---------------	--------	-------	--------

令和4年度患者数(外来)

月	日数	医 科	歯 科	月 計
4月	20	46,655	14,097	60,752
5月	19	45,417	14,075	59,492
6月	22	51,930	16,107	68,037
7月	20	47,823	14,887	62,710
8月	22	50,676	15,123	65,799
9月	20	49,323	14,966	64,289
10月	20	48,660	15,023	63,683
11月	20	48,658	14,828	63,486
12月	20	49,074	14,455	63,529
1月	19	44,943	13,657	58,600
2月	19	45,495	14,783	60,278
3月	22	54,480	17,490	71,970
年 計	243	583,134	179,491	762,625

1日平均 外来患者数	2,399.73	738.65	3,138.37
---------------	----------	--------	----------

必要医師数等試算表(医療法施行規則第22条の2に基づく)

全体				
一日平均入院患者者数(全体)	948.940	A		
一日平均入院患者者数(全体)(入院新生児含む)	954.130	A'	新生児	5.19
一日平均外来患者者数(全体)	3138.370	B		
一日平均入院患者者数(医科)	920.550	C		
一日平均外来患者者数(医科)	2399.730	D		
一日平均入院患者者数(歯科)	28.390	E		
一日平均外来患者者数(歯科)	738.650	F		

必要医師数	235.05525	≒	236	L	$(C+(D\div 2.5))\div 8$
必要歯科医師数	40.48	≒	41	M	$(E\div 8)+(F\div 20)$
必要看護師及び准看護師	581.68	≒	582	N	$(A'\div 2)+(B\div 30)$
必要薬剤師数	31.63	≒	32.00	O	$A\div 30$

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数 (人)
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	45
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	60
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	28
先進医療の種類の合計数	3
取扱い患者数の合計(人)	133

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法	0人
テモゾロミド用量強化療法	0人
S-1+パクリタキセル経静脈腹腔内投与併用療法	0人
シクロホスファミド静脈内投与及び自家末梢血幹細胞移植術の併用療法	3人
周術期デュルバルマブ静脈内投与療法	0人
腎血管筋脂肪腫に対する腎腫瘍凝固・焼灼術	0人
シクロホスファミド静脈内投与療法 成人T細胞白血病(末梢血幹細胞の非血縁者間移植が行われたものに限る。)	0人
生体肝移植術 切除が不可能な肝門部胆管がん	0人
術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブーパクリタキセル静脈内投与の併用療法	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
先進医療の種類の合計数	9
取扱い患者数の合計(人)	3

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
該当なし			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	0
取扱い患者数の合計(人)	0

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	56	多発性嚢胞腎	60
2	筋萎縮性側索硬化症	54	57	黄色靱帯骨化症	7
3	脊髄性筋萎縮症	8	58	後縦靱帯骨化症	70
4	原発性側索硬化症	1	59	広範脊柱管狭窄症	7
5	進行性核上性麻痺	10	60	特発性大腿骨頭壊死症	224
6	パーキンソン病	97	61	下垂体性ADH分泌異常症	33
7	大脳皮質基底核変性症	6	62	下垂体性PRL分泌亢進症	27
8	ハンチントン病	2	63	クッシング病	15
9	重症筋無力症	134	64	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	11
10	多発性硬化症／視神経脊髄炎	245	65	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	60
11	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	58	66	下垂体前葉機能低下症	167
12	封入体筋炎	7	67	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
13	クドウ・深瀬症候群	2	68	先天性副腎皮質酵素欠損症	14
14	多系統萎縮症	36	69	アジソン病	1
15	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	135	70	サルコイドーシス	95
16	ライソゾーム病	37	71	特発性間質性肺炎	55
17	副腎白質ジストロフィー	1	72	肺動脈性肺高血圧症	86
18	ミトコンドリア病	22	73	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
19	もやもや病	83	74	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	133
20	プリオン病	2	75	リンパ脈管筋腫症	10
21	亜急性硬化性全脳炎	1	76	網膜色素変性症	162
22	HTLV-1関連脊髄症	8	77	バッド・キアリ症候群	4
23	全身性アミロイドーシス	88	78	特発性門脈圧亢進症	3
24	遠位型ミオパチー	2	79	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	117
25	神経線維腫症	49	80	自己免疫性肝炎	19
26	天疱瘡	26	81	クローン病	399
27	表皮水疱症	3	82	潰瘍性大腸炎	455
28	膿疱性乾癬(汎発型)	10	83	好酸球性消化管疾患	6
29	スティーヴンス・ジョンソン症候群	3	84	慢性特発性偽性腸閉塞症	4
30	中毒性表皮壊死症	3	85	クリオピリン関連周期熱症候群	1
31	高安動脈炎	46	86	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	4
32	巨細胞性動脈炎	9	87	TNF受容体関連周期性症候群	2
33	結節性多発動脈炎	12	88	非典型溶血性尿毒症症候群	2
34	顕微鏡的多発血管炎	24	89	先天性ミオパチー	4
35	多発血管炎性肉芽腫症	23	90	筋ジストロフィー	8
36	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	28	91	アトピー性脊髄炎	3
37	悪性関節リウマチ	9	92	脊髄空洞症	4
38	パージャール病	8	93	脊髄髄膜瘤	1
39	全身性エリテマトーデス	564	94	アイザックス症候群	2
40	皮膚筋炎／多発性筋炎	153	95	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	1
41	全身性強皮症	176	96	前頭側頭葉変性症	6
42	混合性結合組織病	141	97	アイカルディ症候群	2
43	シェーグレン症候群	68	98	限局性皮質異形成	2
44	成人スチル病	29	99	神経細胞移動異常症	1
45	再発性多発軟骨炎	12	100	レノックス・ガストー症候群	1
46	ベーチェット病	198	101	ラスムッセン脳炎	1
47	特発性拡張型心筋症	162	102	色素性乾皮症	2
48	肥大型心筋症	37	103	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	7
49	拘束型心筋症	3	104	特発性後天性全身性無汗症	6
50	再生不良性貧血	35	105	眼皮膚白皮症	4
51	自己免疫性溶血性貧血	5	106	肥厚性皮膚骨膜炎	4
52	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3	107	弾性線維性仮性黄色腫	7
53	特発性血小板減少性紫斑病	56	108	マルファン症候群	10
54	原発性免疫不全症候群	48	109	エーラス・ダンロス症候群	1
55	IgA 腎症	51	110	ウィルソン病	10

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
111	ウィリアムズ症候群	11	166	前眼部形成異常	1
112	ロスムンド・トムソン症候群	1	167	特発性多中心性キャッスルマン病	14
113	無脾症候群	4	168		
114	鰓耳腎症候群	2	169		
115	ウェルナー症候群	1	170		
116	ヌーナン症候群	5	171		
117	総動脈幹遺残症	4	172		
118	修正大血管転位症	9	173		
119	完全大血管転位症	14	174		
120	単心室症	25	175		
121	左心低形成症候群	8	176		
122	三尖弁閉鎖症	12	177		
123	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	25	178		
124	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	11	179		
125	ファロー四徴症	36	180		
126	両大血管右室起始症	14	181		
127	エプスタイン病	3	182		
128	アルポート症候群	3	183		
129	一次性ネフローゼ症候群	34	184		
130	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	185		
131	紫斑病性腎炎	7	186		
132	オスラー病	21	187		
133	閉塞性細気管支炎	1	188		
134	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	189		
135	副甲状腺機能低下症	1	190		
136	副腎皮質刺激ホルモン不応症	1	191		
137	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	6	192		
138	尿素サイクル異常症	1	193		
139	肝型糖原病	1	194		
140	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	1	195		
141	脂肪萎縮症	2	196		
142	家族性地中海熱	12	197		
143	慢性再発性多発性骨髄炎	3	198		
144	強直性脊椎炎	32	199		
145	肋骨異常を伴う先天性側弯症	1	200		
146	骨形成不全症	3	201		
147	リンパ管腫症/ゴーハム病	3	202		
148	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1	203		
149	後天性赤芽球癆	4	204		
150	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	2	205		
151	クロンカイト・カナダ症候群	2	206		
152	非特異性多発性小腸潰瘍症	5	207		
153	総排泄腔遺残	7	208		
154	先天性横隔膜ヘルニア	2	209		
155	胆道閉鎖症	13	210		
156	IgG4関連疾患	19	211		
157	黄斑ジストロフィー	1	212		
158	レーベル遺伝性視神経症	1	213		
159	若年発症型両側性感音難聴	4	214		
160	好酸球性副鼻腔炎	77	215		
161	カナバン病	14	216		
162	進行性白質脳症	1	217		
163	先天性三尖弁狭窄症	1	218		
164	先天性僧帽弁狭窄症	1	219		
165	大理石骨病	3	220		

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	167
合計患者数(人)	5874

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・精神科リエゾンチーム加算
・歯科外来診療環境体制加算 2	・摂食障害入院医療管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・がん拠点病院加算 1のイ
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1)	・がん拠点病院加算 2
・特定機能病院入院基本料(精神病棟13対1)	・がんゲノム拠点病院加算
・臨床研修病院入院診療加算(医科・歯科)	・栄養サポートチーム加算
・救急医療管理加算 1	・歯科医師連携加算
・救急医療管理加算 2	・医療安全対策加算 1
・超急性期脳卒中加算	・感染対策向上加算 1
・妊産婦緊急搬送入院加算	・指導強化加算
・診療録管理体制加算 1	・患者サポート体制充実加算
・医師事務作業補助体制加算 2(20対1)	・重症患者初期支援充実加算
・急性期看護補助体制加算25対1(看護補助者5割未満)	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・夜間100対1急性期看護補助体制加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・夜間看護体制加算(夜間100対1急性期看護補助体制加算に対する加算)	・ハイリスク分娩等管理加算(ハイリスク分娩管理加算)
・看護補助体制充実加算	・後発医薬品使用体制加算 3
・看護職員夜間配置加算12対1 1	・病棟薬剤業務実施加算 1
・看護補助加算 2(精神科病棟のみ)	・病棟薬剤業務実施加算 2
・療養環境加算	・データ提出加算 2のイ
・重症者等療養環境特別加算	・入退院支援加算 1
・無菌治療室管理加算 2	・入退院支援加算 3
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素)	・地域連携診療計画加算(入退院支援加算の加算)
・放射線治療病室管理加算(密封小線源)	・入院時支援加算
・重症皮膚潰瘍管理加算	・総合機能評価加算
・緩和ケア診療加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・精神科身体合併症管理加算	・精神疾患診療体制加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

[illegible]

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料1 注2	・外来腫瘍化学療法診療料 1
・外来栄養食事指導料1 注3	・連携充実加算(外来腫瘍化学療法診療料の加算)
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・ニコチン依存症管理料
・遠隔モニタリング加算(ペースメーカー指導管理料)	・療養・就労両立支援指導料
・高度難聴指導管理料	・相談支援加算
・慢性維持透析患者外来医学管理料の腎代替療法実績加算	・がん治療連携計画策定料
・糖尿病合併症管理料	・がん治療連携管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・外来がん患者在宅連携指導料
・がん患者指導管理料 イ	・ハイリスク妊産婦連携指導料 1
・がん患者指導管理料 ロ	・ハイリスク妊産婦連携指導料 2
・がん患者指導管理料 ハ	・認知症専門診断管理料
・がん患者指導管理料 ニ	・肝炎インターフェロン治療計画料
・外来緩和ケア管理料	・こころの連携指導料 2
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・薬剤管理指導料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・地域連携診療計画加算(診療情報提供料 I の加算)
・糖尿病透析予防指導管理料	・医療機器安全管理料 1
・小児運動器疾患指導管理料	・医療機器安全管理料 2
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・がんゲノムプロファイリング評価提供料
・婦人科特定疾患治療管理料	・歯科治療時医療管理料
・腎代替療法指導管理料	・広範囲顎骨支持型補綴物管理料
・一般不妊治療管理料	・在宅患者歯科治療時医療管理料
・生殖補助医療管理料 2	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・アレルギー性鼻炎免疫療法治療管理料	・舌下神経電気刺激療法治療指導管理料
・外来リハビリテーション診療料 1	・在宅腫瘍治療電場療法治療指導管理料
・外来リハビリテーション診療料 2	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・外来放射線照射診療料	・持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・横隔神経電気刺激装置加算	・ヘッドアップティルト試験
・造血器腫瘍遺伝子検査	・人工膵臓検査
・遺伝学的検査	・人工膵臓療法
・骨髄微小残存病変量測定	・長期継続頭蓋内脳波検査
・BRCA1/2遺伝子検査	・長期脳波ビデオ同時記録検査 1
・がんゲノムプロファイリング検査	・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
・角膜ジストロフィー遺伝子検査	・脳磁図(自発活動を測定するもの)
・遺伝子相同組換え修復欠損検査	・脳磁図(その他のもの)
・染色体構造変異解析	・安全精度管理下で行うもの(終夜睡眠ポリグラフィー)
・Y染色体微小欠失検査	・脳波検査判断料 1
・先天性代謝異常症検査	・神経学的検査
・デングウイルス抗原定性及びデングウイルス抗原・抗体同時測定定性	・補聴器適合検査
・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	・黄斑局所網膜電図及び全視野精密網膜電図
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・ロービジョン検査判断料
・HPV核酸検査及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・内服・点滴誘発試験
・細菌核酸・薬剤耐性遺伝子同時検出	・センチネルリンパ節生検(片側)
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)
・クロストリジオイデス・ディフィシルのトキシンB遺伝子検出	・経気管支凍結生検法
・検体検査管理加算(IV)	・口腔細菌定量検査
・国際標準検査管理加算	・有床義歯咀嚼機能検査、咀嚼能力検査及び咬合圧検査
・遺伝カウンセリング加算	・精密触覚機能検査
・遺伝子腫瘍カウンセリング加算	・画像診断管理加算 3
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・歯科画像診断管理加算 1
・植込型心電図検査	・歯科画像診断管理加算 2
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・遠隔画像診断
・胎児心エコー法	・ポジトロン断層撮影

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・療養生活継続支援加算
・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影	・救急患者精神科継続支援料
・CT撮影	・認知療法・認知行動療法 1
・MRI撮影	・精神科作業療法
・冠動脈CT撮影加算	・精神科ショート・ケア「小規模なもの」
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・精神科デイ・ケア「小規模なもの」
・外傷全身CT加算	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・大腸CT撮影加算	・医療保護入院等診療料
・心臓MRI撮影加算	・耳鼻咽喉科小児抗菌薬適正使用支援加算
・乳房MRI撮影加算	・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
・小児鎮静下MRI撮影加算	・硬膜外自家血注入
・頭部MRI撮影加算	・人工腎臓・慢性維持透析を行った場合 1
・全身MRI撮影加算	・導入期加算 3
・肝エラストグラフィ加算	・透析液水質確保及び慢性維持透析濾過加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法
・外来化学療法加算 1	・一酸化窒素吸入療法
・無菌製剤処理料	・手術用顕微鏡加算
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・口腔粘膜処置
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算及び手術時歯根面レーザー応用加算
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算 1
・がん患者リハビリテーション料	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算 2
・各リハビリテーション料の初期加算	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・歯科口腔リハビリテーション料 2	・組織拡張器による再建術(一連につき)(乳房(再建手術))の場合に限る。)
・経頭蓋磁気刺激療法	・処理骨再建加算
・児童思春期精神科専門管理加算	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・後縦靱帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・椎間板内酵素注入療法	
・腫瘍脊椎骨全摘術	・顎関節人工関節全置換術(歯科診療に係るものに限る。)
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱に対して実施する場合)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・角結膜悪性腫瘍切除手術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・角膜移植(内皮移植加算)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・羊膜移植術	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・緑内障手術(流出路再建術(眼内法))	・内視鏡下筋層切開術
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・経皮的冠動脈形成術
・網膜再建術	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・経外耳道の内視鏡下鼓室形成術	・経皮的冠動脈ステント留置術
・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器植込及び植込型骨導補聴器交換術	・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術
・人工中耳植込術	・胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)
・経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	・経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・経皮的僧帽弁クリップ術
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・不整脈手術(左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)に限る。)
	・不整脈手術(左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)に限る)
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・経皮的中心隔心筋焼灼術	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカーの場合)	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	・バルーン閉塞下経静脈的塞栓術
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下総胆管拡張症手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(経静脈リード又は皮下植込み型リードを用いる場合)	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術(心筋リードを用いる場合)	・腹腔鏡下肝切除術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・生体部分肝移植術
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・同種死体肝移植術
・補助人工心臓	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・小児補助人工心臓	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・植込型補助人工心臓(非拍動流型)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・同種心移植術	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
・骨格筋由来細胞シート心表面移植術	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的動脈遮断術	・腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経皮的下肢動脈形成術	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)	・生体部分小腸移植術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・同種死体小腸移植術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ダメージコントロール手術	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡的逆流防止粘膜切除術	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝子乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・輸血管理料Ⅰ
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・コーディネート体制充実加算
・腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・同種死体腎移植術	・歯周組織再生誘導手術
・生体腎移植術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)	・歯根端切除手術の注3
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・レーザー機器加算
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・麻酔管理料(Ⅰ)
・人工尿道括約筋植込・置換術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)	・歯科麻酔管理料
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・1回線量増加加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・1回線量増加加算(前立腺照射の場合)
・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・人工授精	・画像誘導放射線治療加算(IGRT)
・胚移植術、採卵術、体外受精・顕微授精管理料、受精卵・胚培養管理料及び胚凍結保存管理料	・体外照射呼吸性移動対策加算
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・定位放射線治療
・胎児輸血術及び臍帯穿刺	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・体外式膜型人工肺管理料	・画像誘導密封小線源治療加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・保険医療機関間の連携による病理診断
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・病理診断管理加算2
・乳房切除術(遺伝子乳癌卵巣癌症候群の患者に対して行うものに限る。)	・悪性腫瘍病理組織標本加算

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

[illegible]

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・マルチプレックス遺伝子パネル検査	・
・腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	・
・LDLアフェレシス療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	30回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	25
	剖検率(%)	8.1

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
1	高齢者サルコペニア患者における高強度インターバル運動の運動耐容能改善効果について	稗田 道成	第一内科	39 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
2	消化器腫瘍三次リンパ組織様構造TLSの構成細胞に基づく予後予測と耐性機序の探索	馬場 英司	第一内科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
3	萎縮性胃炎オルガノイドからの腸上皮化生、腸型胃がん発がんモデルの構築	有山 寛	第一内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
4	クローン性造血で引き起こされるがん微小環境内の免疫応答の解明	磯部 大地	第一内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
5	がんのエピトランスクリプトームにより制御される免疫逃避機構の解明	土橋 賢司	第一内科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
6	自己免疫疾患におけるT-bet+エフェクターB細胞の役割	新納 宏昭	第一内科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
7	自己免疫疾患における加齢性クローナル造血の関連についての検討	小野 伸之	第一内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
8	関節リウマチにおけるTph細胞に対する制御性T細胞の機能解析と治療への応用	三苦 弘喜	第一内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
9	重症全身性硬化症に対する骨髓破壊的大量シクロホスファミド療法	三苦 弘喜	第一内科	3,900 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
10	造血器腫瘍における遺伝子パネル検査の提供体制構築およびガイドライン作成	赤司 浩一	第一内科	1,404 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
11	臨床応用に向けたヒト白血病幹細胞特異的標的分子TIM-3の機能解明	赤司 浩一	第一内科	1,378 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
12	末梢性T細胞リンパ腫非特定型のゲノム変異が微小環境に及ぼす影響と新規治療開発	加藤 光次	第一内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
13	成人T細胞白血病に対する移植後シクロホスファミドを用いた非血縁者間末梢血幹細胞移植法の確立と移植後再発への対策に関する研究	加藤 光次	第一内科	52 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
14	CD35陽性白血病幹細胞の機能解析と治療標的候補分子の抽出	森 康雄	第一内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
15	t(8;21)白血病異質的抗原IL-5Raを介した白血病発症機構の解明と治療応用	島 隆宏	第一内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
16	リジンアセチル化酵素TIP60を標的とする造血器悪性腫瘍の新規治療法の開発	沼田 晃彦	第一内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
17	脳梗塞巣におけるペリサイトを介した創傷治癒と内因性機能回復機構の解明	北園 孝成	第二内科	403 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
18	脳卒中精密医療の基盤構築に関する研究	鴨打 正浩	第二内科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦の萌芽研究)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
19	脳卒中疾病負荷軽減のためのデータ駆動型最適化医療の構築	鴨打 正浩	第二内科	286 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
20	脳虚血病態におけるペリサイトの細胞死にフェロトシスは関与するか?	吾郷 哲朗	第二内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
21	加齢が脳梗塞後のペリサイトを介した組織修復・内因性機能回復機構に与える影響の解明	脇坂 義信	第二内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
22	脳梗塞の発症および機能回復に関連する腸内細菌の検討ー疫学的視点よりー	緒方 利安	第二内科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
23	脳卒中患者における医療の質の妥当性の検討とデータベース構築に関する研究	松尾 龍	第二内科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
24	脳卒中後の日常生活動作の障害に関連する予後規定因子の解明	入江 芙美	第二内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
25	SGLT2を標的とした脳梗塞後のペリサイト機能維持機構の探索	中村 晋之	第二内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
26	細胞外マトリックス蛋白質をターゲットとした脳梗塞後の内因性機能回復治療の開発	芝原 友也	第二内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
27	多職種連携による高血圧発症予防に関する研究	後藤 健一	第二内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
28	若年・中年男性における、睡眠負債と睡眠時無呼吸症候群が血圧と臓器障害に及ぼす影響	井上 美奈子	第二内科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
29	精緻な疾患レジストリーと遺伝・環境要因の包括的解析による糖尿病性腎臓病、慢性腎臓病の予後層別化と最適化医療の確立	中野 敏昭 (分担者)	第二内科	370 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
30	糖尿病性腎症、慢性腎臓病の重症化抑制に資する持続的・自立的エビデンス創出システム構築と健康寿命延伸・医療最適化への貢献	中野 敏昭 (分担者)	第二内科	130 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
31	慢性腎臓病における心筋肥大の機序解明	中野 敏昭	第二内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
32	アルギニン代謝とオートファジーー腎臓のミトコンドリア保護機構の解明	鳥巢 久美子	第二内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
33	腸内細菌叢メタゲノムおよびメタボローム情報を用いた腎疾患診断モデルの構築	田中 茂	第二内科	351 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
34	腹膜透析による腹膜線維化と石灰化の病態解明ーリンの関与とマグネシウムの競合作用	山田 俊輔	第二内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
35	加齢や慢性ストレスにより変容する副腎組織の分子基盤と破綻病態の統合的理解	小川 佳宏	第三内科	5,577 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究S)
36	消化管運動の時空間的協調性の制御機構の解明と医学応用	小川 佳宏	第三内科	325 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
37	層別化に基づくSVR 後肝発がん、再発の病態解明と予防および治療開発	小川 佳宏	第三内科	195 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
38	デジタル技術を活用した生涯にわたる血压管理に関する指針の研究開発	小川 佳宏	第三内科	33 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
39	副腎ホルモン産生異常に関する調査研究	小川 佳宏	第三内科	38 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
40	多角的な視点による各サブタイプに基づいた食道アカラシアの病態解明	伊原 栄吉	第三内科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
41	食道アカラシアの前駆状態とされる食道胃接合部通過障害に対するアコチアミドの有効性と安全性を検討する第Ⅱ医師主導治験	伊原 栄吉	第三内科	9,180 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
42	直腸環境の特殊性からみる潰瘍性大腸炎の再燃機序	荻野 治栄	第三内科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
43	光遺伝学と逆行性トレーサーを用いた排便中枢の同定および役割の解明	田中 義将	第三内科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
44	酸分泌抑制薬に誘導されるLeaky gutを介したNAFLD発症機序の解明	蓑田 洋介	第三内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
45	腸管運動の成熟・維持に果たす腸内細菌の役割と分子機構	白 曉鵬	第三内科	52 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
46	T細胞分化の特性を利用した新規抗原受容体単離技術の開発	知念 孝敏	第三内科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
47	NASH病態進展における肝臓非実質細胞の関与	国府島 庸之	第三内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
48	一細胞遺伝子発現解析を用いた閉経後NASH発症機序の解明	田中 正剛	第三内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
49	Extracellular Trapsに着目した肝障害の炎症プロセスの解明	合谷 孟	第三内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
50	免疫応答と細胞間相互作用に注目した急性肝不全の病態解明	栞野 哲史	第三内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
51	膵がんによる肝臓の代謝変化を介した転移土壌形成の解明	竹野 歩	第三内科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
52	NASHの病態進展におけるミトコンドリア品質管理(マイトファジー)の意義の解明	宮澤 崇	第三内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤C)
53	副腎皮質網状層に着目した老化機構の解明	松田 やよい	第三内科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
54	CD8+T細胞の分化における転写因子FoxO1の制御メカニズムの解明を目指して	宮地 康高	第三内科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
55	CD8陽性T細胞の分化に着目した1型糖尿病の進展抑制を目指した治療法の開発	宮地 康高	第三内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
56	機械学習を用いた原発性アルドステロン症における個別化医療基盤の確立	馬越 洋宜	第三内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤C)
57	アルドステロン産生腺腫のコルチゾール合成機構および発生母地の解明	緒方 大聖	第三内科	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
58	アルドステロン産生腫瘍におけるコルチゾール合成の意義	馬越 洋宜	第三内科	40 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
59	多発性骨髄腫の不均一性を考慮した経時的一細胞RNA解析による薬剤耐性遺伝子の同定	土師 正二郎	第三内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
60	経時的scRNA-seq解析による多発性骨髄腫の薬剤反応性遺伝子の同定	土師 正二郎	第三内科	15 万円	補	公益財団法人 日本応用酵素協会
61	AI及びシングルセル解析を用いた膵神経内分泌腫瘍の不均一性の解明	藤森 尚	第三内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
62	AIを用いた膵神経内分泌腫瘍術後再発因子の同定と喫煙習慣の関連	藤森 尚	第三内科	50 万円	補	公益財団法人 喫煙科学研究財団
63	膵癌患者由来オルガノイドを用いた新たなサブタイプ分類と臨床応用	藤森 尚	第三内科	50 万円	補	公益財団法人 日本膵臓病研究財団
64	超音波内視鏡を用いた膵神経内分泌腫瘍術後再発因子の同定と新規治療戦略の確立	藤森 尚	第三内科	50 万円	補	公益財団法人 臨床研究奨励基金
65	膵癌における代謝変化を介した肝転移指向性メカニズムの解明	竹野 歩	第三内科	20 万円	補	公益財団法人 ふくおか公衆衛生推進機構
66	腸内細菌－脳腸相関から見た神経性やせ症の病態解明と新しい栄養療法の開発	須藤 信行	心療内科	351 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
67	種々の症状を呈する難治性疾患における中枢神経感作の役割の解明と患者ケアの向上を目指した複数疾患領域統合多施設共同疫学研究	細井 昌子	心療内科	30 万円	補	厚生労働省 科学研究費(小橋班)
68	痛みセンターを中心とした慢性疼痛診療システムの均てん化と診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	細井 昌子	心療内科	20 万円	補	厚生労働省 科学研究費(矢吹班)
69	摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出	吉原 一文	心療内科	195 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
70	成人の愛着スタイルが心身のストレス反応に与える影響およびその脳内機序	吉原 一文	心療内科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
71	潰瘍性大腸炎における腸管内カテコラミンの病態関与の解明	朝野 泰成	心療内科	52 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
72	神経性やせ症に対するシンバイオティクス投与の有効性評価:ランダム化比較試験	波多 伴和	心療内科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
73	中枢神経系自己免疫性疾患における性染色体とHLAの相互的な病態寄与機構の解明	磯部 紀子	脳神経内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
74	多系統萎縮症モデルマウスを用いた画期的ミクログリア標的療法の開発	松瀬 大	脳神経内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
75	視神経脊髄炎の横断性脊髄炎遺伝リスクBKチャネルの作用機構解明と神経保護療法開発	松下 拓也	脳神経内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
76	活性化グリア細胞制御による進行性多発性硬化症および多系統萎縮症の画期的治療法開発	眞崎 勝久	脳神経内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
77	中枢神経炎症性疾患の治療を遺伝・免疫・血清学的指標を用いて最適化する方法の確立	渡邊 充	脳神経内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
78	ノドパチー型CIDPの中枢神経・腎臓病変の解析に基づく神経障害機構の解明と治療	緒方 英紀	脳神経内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
79	自己抗体介在性小径線維ニューロパチーの臨床像解明とモデルによる新規治療法開発	藤井 敬之	脳神経内科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
80	単一細胞RNA解析による多系統萎縮症増悪性ミクログリア亜群の同定と同細胞標的療法	山口 浩雄	脳神経内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
81	グリア性炎症を惹起するカルシウム結合蛋白による筋萎縮性側索硬化症の発症起源の同定	林 信太郎	脳神経内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
82	定位的深部脳波記録を応用した直接的なヒトでのてんかん原性機序の解明	鎌田 崇嗣	脳神経内科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
83	多系統萎縮症における広汎なギャップ結合の破綻と脱髄機序の解明	林田 翔太郎	脳神経内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
84	Mieapによる心筋細胞ミトコンドリア品質管理を介した新規心不全治療法の確立	筒井 裕之	循環器内科	325 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
85	特発性心筋症に関する調査研究	筒井 裕之	循環器内科	1,684 万円	委	厚生労働科学研究費補助金
86	ナチュラルキラーT細胞活性化による慢性炎症制御に基づく新たな心筋症治療の実用化	筒井 裕之	循環器内科	9,625 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
87	マイオカインによる老化進展制御機構の解明	絹川 真太郎	循環器内科	598 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
88	O結合グリコシル化制御に基づくサルコペニアの新規治療法開発	絹川 真太郎	循環器内科	390 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
89	フェロトーシスを基軸とした心筋障害メカニズムの解明と治療法の開発	井手 友美	循環器内科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
90	生体内で細胞同調機能を再現しうるナノ粒子システムの開発	的場 哲哉	循環器内科	276 万円	委	CREST JST

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
91	心血管の炎症における酸化ステロールの分子生物学的役割と治療標的の解明	的場 哲哉	循環器内科	494 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
92	ミトコンドリア分解を起点とした肺高血圧症の病態解明と新規治療法の開発	阿部 弘太郎	循環器内科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
93	レジストリを活用した慢性血栓性肺高血圧症に対するエドキサバンの適応拡大のための第Ⅲ相医師主導治験	阿部 弘太郎	循環器内科	6,839 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
94	難治性心房細動に対する経皮的カテーテル心筋焼灼術における「神の目」と「神の技」を具現化するための電気生理所見および治療データの収集基盤構築と利活用のための研究	坂本 和生	循環器内科	1,034 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
95	心房細動において非不整脈時の生体情報から至適心筋焼灼部位を探索する機械学習の開発	坂本 和生	循環器内科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
96	心不全における腎交感神経求心路の役割:「腎→脳→心」の臓器連携機序の解明	篠原 啓介	循環器内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
97	未診断の慢性血栓性肺高血圧症患者を救う高精度画像診断プログラム開発研究	細川 和也	循環器内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
98	駆出率の保持された心不全の交感神経賦活化を介した増悪機序の解明と新規治療法の開発	坂本 隆史	循環器内科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
99	ドキソルビン心筋症におけるフェロトーシス誘導の分子機序解明と新たな治療法の確立	池田 昌隆	循環器内科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
100	心不全におけるミトコンドリア-小胞体接触の役割の解明と新規治療の開発	松島 将士	循環器内科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
101	心筋リモデリングの病態基盤および新規治療ターゲットとしてのTim44の役割の解明	池田 宗一郎	循環器内科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
102	HFpEFにおけるカルシウム・カルモジュリン依存性PDE1の機能解明と治療応用	橋本 亨	循環器内科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
103	データ駆動型医療により高齢者心不全診療の質を向上する補助ツールの開発	永田 拓也	循環器内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
104	Fontan術後患者におけるSGLT2阻害薬の心保護メカニズムの解明	坂本 一郎	循環器内科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
105	進行非小細胞肺癌に対する複合免疫療法の標準治療確立のためのランダム化比較第Ⅲ相試験	岡本 勇	呼吸器科	1,950 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
106	EGFR遺伝子変異陽性肺癌における抗体薬物複合体の作用機序に関する研究	岩間 映二	呼吸器科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
107	免疫チェックポイント分子リガンドを制御するmiRNAを用いたバイオマーカー開発	米嶋 康臣	呼吸器科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
108	Hippo経路分子MOB1に着目したEGFR変異陽性肺癌の新規標的治療法開発	田中 謙太郎	呼吸器科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
						小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
109	オシメルチニブと免疫チェックポイント阻害薬による薬剤性間質性肺炎の病態解明	坪内 和哉	呼吸器科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
110	肺高血圧合併肺線維症モデル樹立とその解析手法の確立	柳原 豊史	呼吸器科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
111	進行性線維化を伴う間質性肺疾患に対するニンテダニブと抗炎症治療との併用療法の早期導入の有効性および安全性を評価するランダム化比較第3相試験	坪内 和哉	呼吸器科	500 万円	補 柿原科学技術研究財団科学技術研究助成
112	間質性肺炎の発症と進行に関与する特異的細胞集団の同定と新規治療法の開発	柳原 豊史	呼吸器科	500 万円	補 柿原科学技術研究財団科学技術研究助成
113	肺ウイルス感染による宿主免疫応答に対するPI3キナーゼ δ 阻害剤の効果の解明	神尾 敬子	呼吸器科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
114	口腔常在微生物叢が肺常在微生物叢と呼吸機能低下に及ぼす影響の検討による、慢性閉塞性肺疾患の一次予防アプローチの開発	神尾 敬子	呼吸器科	70 万円	補 公益財団法人8020推進財団
115	喘息の好酸球性気道炎症における細胞間接着分子クローディン-3の新規役割の解明	石井 由美子	呼吸器科	247 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
116	細胞間接着分子クローディン-3のアレルギー性免疫応答における新規役割の解明	石井 由美子	呼吸器科	100 万円	補 公益財団法人MSD生命科学財団
117	ワクチン感受性低下を来しうるSARS-CoV-2新規変異株の予測	池亀 聡	呼吸器科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
118	SARS-CoV-2 Spikeタンパク質研究のための限定増殖型組換えウイルスの開発	池亀 聡	呼吸器科	150 万円	補 柿原科学技術研究財団科学技術研究助成
119	正常子宮内膜の老化とがん化を分けるメカニズムの解明	加藤 聖子	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
120	子宮体癌細胞の上皮間葉移行を介した浸潤能に関わる代謝調節機構の解明	浅野間 和夫	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
121	婦人科がんの発生および悪性形質獲得における三量体Gタンパクの役割	八木 裕史	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
122	卵巣漿液性癌におけるDNA脱メチル化産物5hmCと転移に関する研究	小野山 一郎	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	39 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
123	癌転移形質に寄与する核内非翻訳RNAの探索と抗体分子架橋による次世代核酸薬の創出	崔 林	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	299 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
124	体外培養卵子誘導系/ChIL-seqを用いたヒト原始卵胞のFOXO1Aの機能解析	濱田 律雄	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	195 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
					小計:16件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
125	拡大保因者検査がもたらす生殖観・胎児観の変化～出生前・着床前診断との比較	小川 昌宣	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
126	小児ホジキンリンパ腫の病態解明による治癒率のさらなる向上への試み	古賀 友紀	小児科・総合周産期母子医療センター(新生児)	65 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
127	小児脳炎における疫学調査および自己抗体の網羅的解析	チョン ピン フィー	小児科・総合周産期母子医療センター(新生児)	91 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
128	血管病変に着目した早産児気管支肺異形成症の病態解明	井上 普介	小児科・総合周産期母子医療センター(新生児)	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
129	C3 glomerulopahtyにおける補体-単球相互作用の解析	西山 慶	小児科・総合周産期母子医療センター(新生児)	78 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
130	新規遺伝性自己炎症性疾患:ROSAH症候群(ALPK1変異)の病態解析と治療確立	石村 匡崇	小児科・総合周産期母子医療センター(新生児)	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
131	十二指腸液を用いた膵がん早期診断マーカーの実用化に向けた臨床研究	中村 雅史	第一外科	1,026 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
132	肉腫・脳腫瘍などの希少がんを対象としたゲノム解析による予防法・診断法・治療法の開発	中村 雅史	第一外科	65 万円	補 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
133	膵癌に対する抗腫瘍免疫抑制性環境の改変を目指したCAR-T療法の開発	中村 雅史	第一外科	1,820 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
134	治療後膵癌オルガノイドを用いた微小免疫環境の解析と再現およびその免疫再改変	中村 雅史	第一外科	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
135	ネオアンチゲン反応性リンパ球を用いた治療抵抗性乳癌治療法の開発	久保 真	第一外科	208 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
136	空間情報を伴うscRNAseqによる癌微小環境内APCの多様性と新たな役割の解明	大内田 研宙	第一外科	325 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
137	マイクロバイオームと腫瘍関連好中球から見た膵がんミニエコシステム	池永 直樹	第一外科	611 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
138	空間的トランスクリプトーム解析によるCAF誘導性大腸癌免疫リモデリング機構の解明	佐田 政史	第一外科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
139	Dysbiosisと分子異常に着目した大腸de novo発癌の解明と治療への応用	田村 公二	第一外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
140	遺伝子変異を標的とした膵癌関連Microbiomeと癌間質相互作用の解明	阿部 俊也	第一外科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
141	独創的方法により作成したiPS肝細胞を用いた新規肝不全治療法の開発	吉住 朋晴	第二外科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:17件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
142	Cas9発現iPS細胞を用いた機能特化型肝再生による、革新的肝不全治療の開発	森田 和豊	第二外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
143	機械学習(AI)を用いた画像診断で同定困難な大腸癌微小肝転移の高精度同定法の開発	中西 良太	第二外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
144	悪性胸膜中皮腫の胸腔内マクロファージサブセットを標的とした新規免疫療法の開発	河野 幹寛	第二外科	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
145	肝細胞癌における転移の分子機構および腫瘍免疫回避機構の解明	富野 高広	第二外科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
146	臓器移植患者に対する新型コロナウイルスワクチンの有効性の評価・投与間隔の検討	富山 貴央	第二外科	416 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
147	ゲノム解析に基づいた最適な大腸癌周術期化学療法選択システムの開発	沖 英次	第二外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
148	ヒト腹部大動脈瘤形成に腸内細菌が果たす役割の探求	古山 正	第二外科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
149	酸化修復機能からみた食道癌発癌機序の解明と癌浸潤予防の新規治療の開発	木村 和恵	第二外科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
150	急性肝不全に対する自己iPS細胞を用いた革新的治療法の開発	原田 昇	第二外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
151	バイオマーカーおよびプロテアソーム阻害剤を用いた新たなイリノテカン療法の開発	安藤 幸滋	第二外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
152	乳癌を可視化する蛍光プローブ2剤を用いた術中迅速診断法(combine法)の開発	上尾 裕紀	第二外科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
153	ポリオウイルスレセプターを標的とした非小細胞肺癌に対する新規複合免疫療法の開発	高田 和樹	第二外科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
154	滑膜常在マクロファージを中心とした関節炎症病態の解析	山田 久方	整形外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
155	金属結合蛋白メタロチオネインの破骨細胞分化と機能解明と骨粗鬆症治療への応用	藤原 稔史	整形外科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
156	脊柱靱帯骨化症研究班	藤原 稔史	整形外科	25 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
157	ペルテス病の関節予後に発症時年齢が強く関与する機序の検討	山口 亮介	整形外科	52 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
158	高精度動態解析手法を用いた生体肩関節および人工肩関節の三次元動態解析	小藺 直哉	整形外科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
159	脊椎長範囲固定が日常生活動作に及ぼす影響と有効な術後リハビリテーション治療の開発	川口 謙一	整形外科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
160	自家骨採取は不要:炭酸アパタイト人工骨による骨再生	中島 康晴	整形外科	1,323 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
161	高精度股関節三次元動態解析・コンピュータシミュレーションの股関節疾患治療への応用	原 大介	整形外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
162	実臨床に即した変形性関節症の病期特異的治療ターゲットの探索	赤崎 幸穂	整形外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
163	久山町研究におけるロコモ・フレイルコホートの設立	赤崎 幸穂	整形外科	350 万円	補	日本整形外科学会 プロジェクト研究事業
164	慢性期脊髄損傷における脊髄オルガノイド移植による治療法の開発	幸 博和	整形外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
165	有限要素解析を用いた人工膝関節単顆置換術後脛骨近位部骨折発生リスクの検討	川原 慎也	整形外科	50 万円	補	公益財団法人 臨床研究奨励基金
166	損傷脊髄中のグリア細胞・炎症細胞の遊走制御による治療法の開発	小早川 和	整形外科	299 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
167	軟骨肉腫の悪性化機序の解明および新規治療ターゲットの探索	鍋島 央	整形外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
168	大腿骨頭壊死症における骨頭圧潰の予測を目指した壊死修復域の病態解析	宇都宮 健	整形外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
169	未圧潰特発性大腿骨頭壊死症における3次元有限要素解析に基づく圧潰予測法の開発	宇都宮 健	整形外科	50 万円	補	公益財団法人 臨床研究奨励基金
170	特発性大腿骨頭壊死症における圧潰予測法の開発と病態解明	宇都宮 健	整形外科	50 万円	補	公益財団法人整形外科災害外科学研究助成財団
171	ミトコンドリア機能に着目した膠芽腫におけるHDAC7の機能解析	吉本 幸司	脳神経外科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
172	Hyperspectral Cameraを用いた脳神経外科術中支援システムの開発	岩城 克馬	脳神経外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
173	脳梗塞におけるPDGFナノ粒子を用いた新規治療の開発	有村 公一	脳神経外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
174	網羅的エピジェネティクス解析によるグリオーマの悪性化機構の解明	三月田 祐平	脳神経外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
175	cfDNAを用いる神経膠腫liquid biopsyの発展	藤岡 寛	脳神経外科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
176	脳梗塞に対する新規再生医療の構築:細胞移植治療とリハビリテーションの併用療法	下川 能史	脳神経外科	286 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
177	一酸化窒素ガスは低侵襲心臓手術後の片側性肺水腫の予防に寄与しうるか	牛島 智基	心臓血管外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
178	虚血心筋再灌流モデルを用いた、cMyBP-Cとその結合蛋白FHOD3の機能の解明	神尾 明君	心臓血管外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
179	TAVI施行後の人工弁血栓症発症予測のためのValsalva洞内血流解析	園田 拓道	心臓血管外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
180	経皮的V-A ECMO下の左室ベントとIMPELLAの比較	田ノ上 禎久	心臓血管外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
181	重症二次性三尖弁逆流に対するスパイラル・サスペンション法の有効性に関する臨床研究	塩瀬 明(分担)	心臓血管外科	3.9 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
182	循環停止後ドナー移植心の浸漬保存による心筋保護効果の検討	塩瀬 明	心臓血管外科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
183	DCDドナー心の許容虚血時間の検討	平山 和人	心臓血管外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
184	ヒト不全心筋におけるcMyBP-CとFhod3の関連およびCa感受性の検討	松山 翔	心臓血管外科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
185	拍動型左室補助人工心臓における溶血合併症を例にした溶血機序の解明と原因の探索	原田 雄章	心臓血管外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
186	植込型補助人工心臓装着予定患者を対象とした出血性合併症リスクの事前予測	塩瀬 明(分担)	心臓血管外科	20.8 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
187	虚血性心筋症に対するヒト(同種)iPS細胞由来心筋細胞シートの臨床試験	塩瀬 明(分担)	心臓血管外科	65 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
188	神経芽腫モデルマウスを用いたGD2抗体発現間葉系幹細胞による新規細胞免疫療法開発	田尻 達郎	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター(小児外科)	416 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
189	排泄障害をもつ女性患者の女性としての生き方を知る	宮田 潤子	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター(小児外科)	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
190	腸管運動機能不全における形態学的特徴の解明および新しい診断基準の開発に関する研究	玉城 昭彦	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター(小児外科)	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
191	小児固形悪性腫瘍に対する超音波硬度計測における組織硬度と病理学的分子生物学的解析	宗崎 良太	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター(小児外科)	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
192	新規評価システム搭載型高度手術シミュレーター開発と効果検証に関する研究	小幡 聡	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター(小児外科)	286 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
193	腸管不全関連肝障害(IFALD)における新規細胞死フェロトーシス機序の解明	松浦 俊治	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター(小児外科)	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
194	大型自己細胞パッチによる新規先天性横隔膜ヘルニア根治術の開発	張 秀英	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター(小児外科)	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
195	ゼブラフィッシュにおける筋発生異常モデルと新規薬剤プラットフォームの作成	近藤 琢也	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター(小児外科)	104 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
196	内視鏡外科技術の“定量化”と“セルフフィードバック”を目指した教育システムの構築	福田 篤久	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター(小児外科)	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
197	ダイレクトプログラミングによるhiHepPCを用いた細胞移植に関する研究	河野 雄紀	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター(小児外科)	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
198	かゆみ・炎症・バリアからみたアトピー性皮膚炎におけるMAPKの役割解明と治療応用	中原 剛士	皮膚科・油症ダイオキシン研究診療センター	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
199	乳児湿疹の病態の解析とアトピー性皮膚炎への移行を予測するバイオマーカーの探索	中原 真希子	皮膚科・油症ダイオキシン研究診療センター	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
200	食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	辻 学	皮膚科・油症ダイオキシン研究診療センター	21,971 万円	補 厚生労働行政推進調査事業費
201	アトピー性皮膚炎における痒みに関連するサイトカインIL-33の産生調節機構の解明	辻 学	皮膚科・油症ダイオキシン研究診療センター	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
202	がん幹細胞に着目した皮膚希少がんの解析と新規治療法の開発	伊東 孝通	皮膚科・油症ダイオキシン研究診療センター	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手)
203	SLE皮疹におけるオートファジー/LAPバランスを標的とした新規治療法の開発	冬野 洋子	皮膚科・油症ダイオキシン研究診療センター	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手)
204	iPS細胞由来ヒト感覚神経を用いたアトピー性皮膚炎における痒みのメカニズムの探求	山村 和彦	皮膚科・油症ダイオキシン研究診療センター	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)

小計:13件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
205	皮膚悪性腫瘍に対する抗体薬物複合体作製法の確立と検証	田中 由香	皮膚科・油症ダイオキシン研究診療センター	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手)
206	進行腎細胞癌に対するPD-1経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第III相試験	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	1,755 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
207	尿路上皮がんに対する超高感度バイオセンサの開発とその臨床的有効性の検討	江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	949 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
208	去勢抵抗性前立腺癌におけるアンドロゲン合成活性化機序の解明	塩田 真己	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
209	腎細胞癌のparadox:腎周囲脂肪と腎癌の関連についての検討	柏木 英志	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
210	膀胱PDGFR α +細胞は膀胱線維化を惹起するの か?モデルマウスの作成と病態の解明	李 賢	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
211	膀胱癌におけるFBXW7の治療抵抗性獲得の解明 およびctDNAによる予後予測	松元 崇	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
212	Tri-scan強調画像を用いた膀胱内視鏡における膀胱腫瘍セグメンテーションシステム	牟田口 淳	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
213	網膜色素変性の進行を抑制するスタチン封入ナノ粒子薬の開発	村上 祐介	眼科	6,843 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
214	失明回避を目指す開放隅角緑内障の遺伝的リスク予測に関する研究開発	秋山 雅人	眼科	5,300 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
215	高血圧発症予防に向けた先制保健介入モデルの開発	上田 瑛美	眼科	130 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
216	低分子化合物カクテルによる急性期網膜再生医療	園田 康平	眼科	624 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
217	硝子体網膜リンパ腫の眼内腫瘍微小環境による腫瘍制御機構の解明	武田 篤信	眼科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
218	ROCK阻害薬の形質転換抑制作用による眼内線維増殖制御と細胞移植治療への応用	石川 桂二郎	眼科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
219	マトリセラー蛋白を標的とした抗VEGF時代の難治性血管新生緑内障治療戦略構築	中間 崇仁	眼科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
220	糖尿病網膜症におけるマイクログリア・マクロファージを標的とした神経保護治療	山口 宗男	眼科	247 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
221	認知症発症における網膜バイオマーカーの有効性の検証:久山町研究	上田 瑛美	眼科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
222	日本人の眼瞼基底細胞癌の網羅的ゲノム解析で明らかにする既存薬物の有効性	秋山 雅人	眼科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
223	ヒト眼炎症性疾患の炎症局所の新たな病態解明	八幡 信代	眼科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
224	ぶどう膜炎遷延化に関わるDAMPsとMAIT細胞による炎症制御機構の解明	長谷川 英一	眼科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
225	網膜変性を促進する末梢血免疫細胞サブセットの同定とこれらを標的とした治療開発	村上 祐介	眼科	819 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
226	病的近視発症リスク予測モデルの開発に向けた前向きコホート研究	安田 美穂	眼科	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
227	増殖糖尿病網膜症における線維増殖に対する薬物治療法の構築	小林 義行	眼科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
228	加齢黄斑変性初期病態モデルにおける網羅的脂質代謝解析	納富 昭司	眼科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
229	加齢黄斑変性症の長期発症率及び食品・栄養素との関連:久山町研究	橋本 左和子	眼科	26 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
230	前視野緑内障の予防法構築に向けた疫学エビデンスの確立:久山町研究	藤原 康太	眼科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
231	炎症性単球を標的とした網膜変性治療薬のグローバル開発	村上 祐介	眼科	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)国際共同研究加速基金(国際共同研究強化B)
232	リパスジルを用いた未熟児網膜症に対する医師主導第I/II相試験	有馬 充	眼科	5,850 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
233	聴覚障害者の社会参加を促進するための手法に関する研究	中川 尚志	耳鼻咽喉・頭頸部外科	303 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
234	Wntシグナル賦活化による聴神経幹細胞の増殖制御を介した聴覚再生	野田 哲平	耳鼻咽喉・頭頸部外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
235	吃音のある中学生及び高校生に対する社交不安症を考慮した支援法の開発	菊池 良和	耳鼻咽喉・頭頸部外科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
236	頭頸部HPV関連癌の臨床病理学的事項の解明及び同定方法の確立	次郎丸 梨那	耳鼻咽喉・頭頸部外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
237	視線解析の手法を用いた難聴児における他者感情認知の分析と訓練法の開発	福井 恵子	耳鼻咽喉・頭頸部外科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
238	臨床応用を目指した頭頸部癌におけるctDNAモニタリングシステムの構築	古後 龍之介	耳鼻咽喉・頭頸部外科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
239	側頭骨扁平上皮癌におけるNLRP3インフラゾーム機構を介した転移制御機構の解明	小宗 徳孝	耳鼻咽喉・頭頸部外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
240	成人吃音者に併発する社交不安症を日米で比較する国際共同研究	菊池 良和	耳鼻咽喉・頭頸部外科	962 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)国際共同研究加速基金(国際共同研究強化A)
						小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
241	急性期脳梗塞と無症候性脳血管障害の病態解明に向けた高速MR灌流画像撮像法の開発	山下 孝二	放射線科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
242	APTイメージングを用いた膵臓嚢胞性病変の診断の有用性の確立	石松 慶祐	放射線科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
243	89Zr-PSMA-PETを用いた新たな前立腺癌の画像診断法の確立	馬場 眞吾	放射線科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
244	マルチパラメトリックMRIを用いた肝再生の評価・予測モデルの確立	藤田 展宏	放射線科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
245	スペクトラルCTの物質分解情報を用いた大腸CT用画像診断プロトコルの構築	甲斐 聖広	放射線科	13 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
246	AR(拡張現実)を利用した腎細胞癌に対するCTガイド下凍結療法の開発	牛島 泰宏	放射線科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
247	スペクトラルCTを用いた胃癌リンパ節転移診断の確立	鶴丸 大介	放射線科	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
248	新たなASLアプローチを用いたMRAおよび灌流画像の開発と臨床応用	梅尾 理	放射線科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
249	小児脳腫瘍のPrecision Diagnosisの確立	菊地 一史	放射線科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
250	低線量X線肺血流イメージングを用いた慢性血栓性肺高血圧症の新規診断法の確立	山崎 誘三	放射線科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
251	頭頸部悪性腫瘍に対するPET/MRによる画素単位でのマルチパラメトリック解析	鷲山 幸二	放射線科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
252	胸部X線動態解析に基づいた新たな呼吸関連機能指標および評価法の確立	樋田 知之	放射線科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
253	幼若期の麻酔薬暴露による遅発性認知機能低下の分子メカニズム解明と治療法の開発	土井 浩義	麻酔科蘇生科・手術部	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
254	発達期麻酔薬曝露による神経幹細胞のクロマチンポテンシャル制御機構の解明	土井 浩義	麻酔科蘇生科・手術部	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
255	心筋炎のレドックス状態を非侵襲的に可視化する早期診断法の開発研究	水田 幸恵	麻酔科蘇生科・手術部	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
256	レドックス評価による劇症化予測を目的とした心筋炎の非侵襲的診断法の開発研究	水田 幸恵	麻酔科蘇生科・手術部	208 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
257	CRPSの発症および症状の増悪に対するデクスメトミジンの効果	山浦 健	麻酔科蘇生科・手術部	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
258	循環制御用ロボット麻酔システムの開発	山浦 健	麻酔科蘇生科・手術部	1,184 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
						小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
259	ヒトパピローマウイルス整備事業	山浦 健	麻酔科蘇生科・手術部	519 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
260	全身麻酔補助薬としてのデクスメトミジンによる術後高次脳機能低下の予防効果	東 みどり子	麻酔科蘇生科・手術部	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
261	コホート・生体試料支援プラットフォーム	村田 昌之	総合診療科	1,488 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(学術変革領域研究(学術研究支援基盤形成))
262	C型慢性肝炎におけるHCV排除後の肝線維化および肝発癌の解明	小川 栄一	総合診療科	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
263	肝硬変の生命予後を改善する革新的抗線維化薬の研究開発	小川 栄一	総合診療科	201 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED)
264	非アルコール性脂肪肝疾患関連遺伝子変異が脂質代謝および動脈硬化に及ぼす影響の検討	池崎 裕昭	総合診療科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
265	ゲノム進化予測による薬剤耐性菌発生防止に向けた研究	相原 正宗	検査部	312 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
266	ミトコンドリアtRNA修飾欠損の回復と発症抑制メカニズムの解明	松本 信也	検査部	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
267	うつ病態と関連する血中トリプトファン・キヌレニンの新規運搬因子の同定と役割解明	瀬戸山 大樹	検査部	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
268	生化学検査データを用いた機械学習による甲状腺機能低下症スクリーニング	川述 由希子	検査部	40 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
269	空間的画像特徴量解析を用いた精密放射線治療計画法の開発	廣瀬 貴章	放射線部	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
270	敗血症における急性腎障害の発症と慢性腎臓病への進展に関わるメカニズムの解明	牧 盾	救命救急センター・集中治療部	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
271	看護師対象小児急変対応ABCアプローチによる遠隔シミュレーション教育法開発	賀来 典之	救命救急センター・集中治療部	52 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
272	慢性腎臓病を合併した敗血症に対する中枢性交感神経系を介した治療介入の検討	西原 正章	救命救急センター・集中治療部	52 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
273	重篤小児患者の筋力低下の実態とリスク因子の解明	松岡 若利	救命救急センター・集中治療部	52 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
274	固形腫瘍における、TET2 クローナル造血とがん療関連心機能障害の関連解析	畠山 究	救命救急センター・集中治療部	200 万円	補	新日本先進医療研究財団
275	希少癌における肉腫のマルチオミクス解析による発癌機序と治療抵抗性獲得機構の解明	小田 義直	病理診断科・病理部	247 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
276	SWI/SNF型クロマチン再構成因子関連腫瘍の分子生物学的層別化と治療戦略	孝橋 賢一	病理診断科・病理部	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
277	エピトランスクリプトミクス破綻により引き起こされた軟部肉腫の解析	岩崎 健	病理診断科・病理部	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
278	ヒトにおける残留性有機汚染物質等の汚染・蓄積の実態及び疾患との関連性の解明	立石 悠基	病理診断科・病理部	65 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
279	シングルセル時空間マルチオミクス解析によるメルケル細胞癌の病態解明	岩崎 健	病理診断科・病理部	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
280	HPV関連頭頸部癌の発癌にエピトランスクリプトーム異常はどのように寄与するか	谷口 緑	病理診断科・病理部	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
281	口腔扁平上皮癌の微小環境一癌細胞間シグナルの解明とその制御強化による新規治療戦略	清島 保	病理診断科・病理部	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
282	エナメル上皮腫を引き起こす新しい分子基盤の解明とがんゲノム医療に向けた臨床応用	藤井 慎介	病理診断科・病理部	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
283	歯原性間葉系幹細胞誘導因子の同定と歯の再生への応用	和田 裕子	病理診断科・病理部	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
284	早期癌に認められる異型におけるHippo-YAPシグナルの機能解析	長谷川 佳那	病理診断科・病理部	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
285	Wnt経路の新規下流シグナルの腺様嚢胞癌における機能解析と新規治療法の開発	樋口 勝規	病理診断科・病理部	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
286	タンパク質脱アミド化の新たな制御機構の解明と口腔がん細胞を用いた機能解析	自見 英治郎	病理診断科・病理部	312 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
287	シングルセル解析を用いた口腔腫瘍における腫瘍-間質連関による顎骨吸収機構の解明	藤井 慎介	病理診断科・病理部	300 万円	委	公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団
288	口腔腫瘍における腫瘍実質-間質連関による顎骨破壊機構の解明	藤井 慎介	病理診断科・病理部	200 万円	委	公益財団法人 テルモ生命科学振興財団
289	シングルセル RNA-seq 解析を用いた口腔腫瘍における間質由来破骨細胞形成因子(SODF)の同定	藤井 慎介	病理診断科・病理部	100 万円	委	公益財団法人 新日本先進医療研究財団
290	白血病幹細胞特異的ミトコンドリア活性化機構の解明および新規治療モデルの確立	菊繁 吉謙	遺伝子・細胞療法部	468 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
291	MYC関連難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対する新規治療標的の開発	宮脇 恒太	遺伝子・細胞療法部	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
292	ユースケース・ベースのPHRサービスによるOpen FHIRと電子カルテの連携を目指すクラウド型医療連携プラットフォーム構築研究	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	1,805 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
293	標準化クリニカルパスに基づく、医師行動識別センサや問診AIなどのICTを用いた医師の業務負担軽減手法に関する研究	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	1,310 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
294	婦人科がんサバイバーの療養支援向上を目指す自己報告アウトカム評価システムの構築	伊豆倉 理江子	メディカル・インフォメーションセンター	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
295	医療施設における標準コードの効率的なマッピング手法に関する調査および実証研究	中島 直樹	メディカル・インフォメーションセンター	2,548 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
296	クリニカルパスと診療記録を用いたLHSの実践と臨床応用評価	山下 貴範	メディカル・インフォメーションセンター	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
297	抗HER2抗体薬物複合体に耐性を付与するHER2胃癌のゲノム異常と微小環境の探索	山口 享子	臨床教育研修センター	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
298	TMB-High固形腫瘍に対する抗PD-1/PD-L1抗体薬の有効性に関する探索的研究	山口 享子	臨床教育研修センター	100 万円	補	公益財団法人 ふくおか公衆衛生推進機構
299	副腎由来代謝産物に着目した新規骨粗鬆症診断バイオマーカーの確立	馬越 真希	臨床教育研修センター	52 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
300	「副腎性骨粗鬆症」の概念の確立と医学応用	馬越 真希	臨床教育研修センター	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(特別研究員奨励費)
301	副腎由来ホルモンの多様性に基づいた糖尿病および慢性合併症進展機構の解明	馬越 真希	臨床教育研修センター	70 万円	委	公益社団法人 日本応用酵素協会 Front Runner of Future Diabetes Researchに関する研究助成(FFDR)
302	加齢による副腎由来ホルモンの不均衡に着目したフレイルの病態解明と医学応用	馬越 真希	臨床教育研修センター	200 万円	委	公益財団法人 武田医学振興財団 医学系研究助成
303	標準化電子ワークシートを核とした分散型臨床試験のシステム・運用両面からの構築	戸高 浩司	ARO次世代医療センター	44,000 万円	補	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
304	リパシジルを用いた未熟児網膜症に対する新規点眼薬の開発	有馬 充	ARO次世代医療センター	5,850 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
305	患者報告アウトカムの取得率及び信頼性向上のためのガイドライン案策定	小早川 優子	ARO次世代医療センター	260 万円	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)
306	希少がん診療・相談支援におけるネットワーク構築に関する研究	馬場 英司	がんセンター	300 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
307	新型コロナウイルス感染に起因すると考えられる精神症状に関する疫学的検討と支援策の検討に資する研究	下野 信行 (分担)	グローバル感染症センター	150 万円	委	厚生労働科学研究費(障害者政策総合研究事業)
308	カイコ昆 ^① ダリティによる低価格な国産組換えワクチンに関する研究開発	下野 信行 (分担)	グローバル感染症センター	1,000 万円	委	日本医療研究開発機構 ワクチン・新規モダリティ研究開発事業
309	クローン造血(CH)環境の腫瘍発生・進展への機序およびCH環境の免疫学的制御	水野 晋一	先端分子・細胞治療科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
310	体液中臓器特異的miRNAに注目した病態時における体内・薬効動態変動の機序解明	家入 一郎	薬剤部	533 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
311	血漿中miRNA情報を付加した治療薬物モニタリングの個別化精度向上を目指す新展開	家入 一郎	薬剤部	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
312	生体膜リン脂質に着目した抗がん薬誘発末梢神経障害予防/治療薬の開発	江頭 伸昭	薬剤部	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
313	生活習慣病に伴う薬物動態変動を反映したバイオマーカーの定量的モデル解析	廣田 豪	薬剤部	468 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
314	レテルモビル併用下でのタクロリムス個別化投与の発展に向けた遺伝子多型の有用性解明	末次 王卓	薬剤部	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
315	小児・新生児における数理学的モデルを用いた抗菌薬個別化投与の新展開	山田 孝明	薬剤部	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
316	尿を試料としたオミックス解析による腎移植後拒絶反応に対する早期診断法の開発	田島 壮一郎	薬剤部	130 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
317	機械学習技術を用いた臨床検査値に基づく医薬品用量チェックシステムの確立と臨床応用	永田 健一郎	薬剤部	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
318	肝移植後慢性腎障害の早期診断に資する高精度なバイオマーカーの探索	福田 未音	薬剤部	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
319	肝移植後の免疫寛容における鍵分子の特定と機能解明に関する研究	山本 奈々絵	薬剤部	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
320	乳がん幹細胞性を制御する新規microRNAの臨床応用を目指した研究	荻野 敬史	薬剤部	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
321	血中microRNAを指標とした抗がん剤耐性の検出と克服への応用研究	荻野 敬史	薬剤部	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
322	関節リウマチ患者の血球中メトレキサート関連物質による肝機能障害発現機序解明	佐々木 恵一	薬剤部	48 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(奨励研究)
323	がん悪液質に伴う骨格筋萎縮の複合的要因の精査及び、薬学的予防戦略の探索	松金 良祐	薬剤部	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
324	モンゴル国における消化器疾患診療の人材育成	森山 智彦	国際医療部	714 万円	委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
325	アジアにおける大腸癌死亡率低下を目指した持続可能な国際遠隔医療教育	森山 智彦	国際医療部	91 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
326	アジア遠隔医療教育の技術担当者研修プログラム評価のためのルーブリック開発と検証	工藤 孔梨子	国際医療部	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
327	拡大内視鏡を用いた精緻な早期胃癌診断を世界に普及するための画像品質基準策定	上田 真太郎	国際医療部	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
328	アジアにおける国際遠隔医療推進のための技術研修プログラム	富松 俊太	国際医療部	251 万円	補	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)
329	エナメル質形成の分子制御機構解明と非細胞性硬組織再生への応用	福本 敏	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	1,079 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
330	寿命・老化制御機構と神経系障害を腸内細菌叢から探る	山座 治義	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元
331	乳歯歯髄幹細胞を用いた口腔顔面裂奇形における神経発達障害の機序解明と薬剤の探索	佐藤 浩	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
332	レット症候群におけるミトコンドリア機能に焦点をあてた病因究明及び新規治療法の開発	廣藤 雄太	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	221 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究B)
333	炭酸アパタイト骨補填材の機械的強度に及ぼす構造因子の解析	野村 俊介	矯正歯科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
334	顎変形症患者における骨格筋DTIを用いた咀嚼筋疲労の分子イメージング	北原 亨	矯正歯科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
335	上皮-間葉ネットワークにおける器官運命決定機構の解明とその応用	吉崎 恵悟	矯正歯科	468 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
336	アメロジェニン・GRP78複合体を標的とした歯周歯髄組織再生技術の創生	讃井 彰一	歯周病科	130 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
337	歯肉幹細胞由来エクソソームmiRNAを標的とした次世代歯周病治療の基盤構築	福田 隆男	歯周病科	390 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
338	歯肉増殖症や肥満に関わる新規分子SPOCK1のシグナリング経路の探索	山下 明子	歯周病科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
339	歯周病と動脈硬化—微細炎症合併日本人型軽度肥満モデルでの検討	岩下 未咲	歯周病科	169 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
340	血管内皮細胞におけるインスリン抵抗性が歯周炎増悪に寄与する機序の解明	新城 尊徳	歯周病科	117 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
341	歯周病が糖尿病性腎症における尿細管障害を増悪する分子メカニズムの解明	新城 尊徳	歯周病科	100 万円	補 宇部興産学術振興財団
342	インスリン感受性改善薬の局所的投与による糖尿病関連創傷治癒促進法開発のための基盤研究	新城 尊徳	歯周病科	150 万円	補 中富健康科学振興財団
343	アメロジェニンによるエピジェネティック制御機構の解明と難治性疾患への挑戦	四本 かれん	歯周病科	234 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
344	歯肉幹細胞由来エクソソームの分泌機序解明と内包miRNAによる骨吸収抑制効果	中尾 雄紀	歯周病科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
345	アメロジェニンとテブレノンの相乗的治癒促進効果の機序の解明と応用	大和 寛明	歯周病科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
346	脂肪組織由来CCL19が歯周炎に及ぼす影響に関する検証	林 大翔	歯周病科	156 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
347	SP-1賦活化歯肉幹細胞由来エクソソームによるアデノシン代謝を標的とした炎症制御	渡邊 ゆかり	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
348	歯肉幹細胞由来エクソソームによる膵β細胞機能の保護と糖尿病性歯周炎予防効果の検証	西村 優輝	歯周病科	143 万円	補 文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
349	インプラント治療とMesenchymal stem cell aging	鮎川 保則	義歯補綴科	338 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
350	インプラント周囲硬・軟組織の治癒促進を目指した新規手法の開拓	今井 実喜生	義歯補綴科	39 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
351	骨質劣化によるインプラント周囲骨代謝破綻機序の解明と既存薬の骨質制御法への応用	森山 泰子	義歯補綴科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
352	顎顔面補綴における皮膚貫通型インプラントの成功率向上を目指した表面処理法の検討	成松 生枝	義歯補綴科	78 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
353	スタチン系脂質異常症治療薬を用いた薬剤関連顎骨壊死に対する治療メカニズムの解明	三田 公麿	義歯補綴科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
354	光触媒活性に優れた紫外線応答チタンの創製とインプラント治療への応用	坂本 安繁	義歯補綴科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
355	AIを用いた即時負荷・早期負荷のための歯科インプラント術前診断支援システムの構築	神野 洋平	義歯補綴科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
356	IgG4関連疾患の免疫学的特異性を基盤とした病因解明と疾患モデルマウスによる検証	中村 誠司	顎口腔外科	1,170 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究A)
357	口腔扁平苔癬の創薬ターゲットの探索～病因T細胞と関連エンハンサーRNAの同定～	中村 誠司	顎口腔外科	1,118 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的研究開拓)
358	IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	中村 誠司	顎口腔外科	3,445 万円	補	厚生労働科学研究費補助金
359	腫瘍微小環境におけるPAR1を介した口腔癌の高度悪性形質獲得機構の解明	川野 真太郎	顎口腔外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
360	Toll様受容体7シグナルに着目したIgG4関連疾患の新規治療法の開発	森山 雅文	顎口腔外科	494 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
361	Toll様受容体8に着目したシェーグレン症候群の新たな診断・治療戦略	森山 雅文	顎口腔外科	221 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
362	IgG4関連疾患の創薬ターゲットとなり得る病因関連エンハンサーRNAの探索	前原 隆	顎口腔外科	338 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(挑戦的萌芽研究)
363	IgG4関連疾患の異所性胚中心オルガノイドから病因解明と新規モデル動物の樹立	前原 隆	顎口腔外科	689 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
364	iPS細胞のエクソソームを用いたT細胞制御による自己免疫疾患の新規治療法開発	緒方 謙一	顎口腔外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
365	PD-1/PD-L1シグナルが口腔扁平上皮癌の悪性度へ与える影響	丸瀬 靖之	顎口腔外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
366	Expansion of CD4+ cytotoxic T lymphocytes and IgD-CD27- double negative B cells in COVID-19 and autoimmune diseases including IgG4-related disease	金子 直樹	顎口腔外科	1,053 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)国際共同研究加速基金(国際共同研究強化B)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
367	IgG4関連疾患、木村氏病およびCOVID-19におけるクラススイッチ機構の解明	金子 直樹	顎口腔外科	559 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
368	口腔扁平上皮癌におけるDkk1とDkk3の機能-Wnt5a/Ror2との関連-	坂本 泰基	顎口腔外科	182 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
369	Epas1依存的なIL-31産生に注目した口腔扁平苔癬の新規治療薬の開発	上加世田 泰久	顎口腔外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
370	オートファジー関連分子に着目したシェーグレン症候群の新規治療法の開発	坂本 瑞樹	顎口腔外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
371	Wnt5aシグナルおよびCK19による口腔扁平上皮癌の浸潤機構の解明	田中 翔一	顎口腔外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
372	IgG4関連疾患におけるクラススイッチ機構の解析	宗村 龍祐	顎口腔外科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
373	腫瘍随伴マクロファージの新規マーカーの同定と口腔扁平上皮癌の分子標的治療への応用	甲斐 一希	顎口腔外科	143 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(研究活動スタート支援)
374	同一患者より樹立した原発巣と転移巣由来の癌細胞株における転移関連遺伝子解析	藤永 貴大	顔面口腔外科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
375	仮想リンパ節転移モデルによる癌免疫応答の解析	熊丸 渉	顔面口腔外科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
376	IgG4関連涙腺・唾液腺炎の診断基準への超音波診断導入のための多施設共同研究	清水 真弓	口腔画像診断科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
377	AIによる撮影技能自動評価に向けた口内法エックス線画像評価システムの開発	岡村 和俊	口腔画像診断科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
378	Compressed sensingを用いた正確な口腔癌深達度の三次元的取得	加美 由紀子	口腔画像診断科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
379	舌苔細菌叢による難治性悪性腫瘍早期発見の可能性についての研究	稲井 裕子	口腔総合診療科	39 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
380	歯小嚢に発現するlncRNAを介したIGFシグナル応用新規歯周組織再生療法の樹立	御手洗 裕美	口腔総合診療科	286 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
381	細胞成長因子デリバリー格子状シートを用いた新規歯周再生治療法の開発	祐田 明香	口腔総合診療科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
382	根尖病巣複合Biofilmの性状解明と天然成分エッセンシャルオイルの有用性	原口 晃	口腔総合診療科	156 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
383	オミックス解析を用いた歯根膜発生機構の解明と幹細胞誘導型組織再生技術への応用	和田 尚久	口腔総合診療科	247 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
384	ワーク・エンゲイジメントと研修活動との関連 ―アウトカム評価を指標とした検証―	寶田 貴	口腔総合診療科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)

小計:18件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(万円)	補助元又は委託元	
385	IoTを用いたフレイル予防のための口腔機能向上プログラムの開発	柏崎 晴彦	高齢者歯科・全身管理歯科	117 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
386	口腔機能低下から認知機能低下に至るまでのプロセスの解明ー食と栄養の観点からー	水谷 慎介	高齢者歯科・全身管理歯科	104 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
387	慢性腎臓病患者の健康生活支援を目指した口腔機能管理・食支援プログラムの開発	山添 淳一	高齢者歯科・全身管理歯科	195 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究B)
388	遠隔通信システムを活用した非歯科医療職種向け口腔ケアシミュレーション教育法の開発	井上 良介	高齢者歯科・全身管理歯科	234 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(基盤研究C)
389	造血細胞移植患者における味覚センサを活用した新しい食支援法の確立	奥 菜央理	高齢者歯科・全身管理歯科	169 万円	補	文部科学省(日本学術振興会)科学研究補助金(若手研究)
						小計:5件

合計:389件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
1	Yonekawa A, Miyake N, Minami J, et al.	第一内科	Parotitis caused by Mycobacteroides abscessus subspecies abscessus	Auris Nasus Larynx. 2022 Jun;49(3):525-528.	Case report
2	Moriyama S, Fukata M, Hieda M, et al	第一内科	Early-onset cardiac dysfunction following allogeneic haematopoietic stem cell transplantation	Open Heart. 2022 May;9(1):e002007.	Original Article
3	Moriyama S, Hieda M, Kisanuki M, et al	第一内科	Both New-Onset and Pre-Existing Hypertension Indicate Favorable Clinical Outcomes in Patients Treated With Anti-Vascular Endothelial Growth Factor Therapy	Circ J. 2022 Dec 6.	Original Article
4	Moriyama S, Hieda M, Kisanuki M, et al	第一内科	Effect of renin-angiotensin system inhibitors in patients with cancer treated with anti-VEGF therapy	Open Heart. 2022 Dec;9(2):e002135.	Original Article
5	Kusaba H, Moriyama S, Hieda M, et al	第一内科	IMPROVE bleeding score predicts major bleeding in advanced gastrointestinal cancer patients with venous thromboembolism	Jpn J Clin Oncol. 2022 Oct 6;52(10):1183- 1190.	Original Article
6	Mawatari S, Fukata M, Arita T, et al	第一内科	Decreases of ethanolamine plasmalogen and phosphatidylcholine in erythrocyte are a common phenomenon in Alzheimer's, Parkinson's, and coronary artery diseases	Brain Res Bull. 2022 Oct 15;189:5-10.	Original Article
7	Yoshihiro T, Ariyama H, Yamaguchi K, et al.	第一内科	Inhibition of insulin-like growth factor-1 receptor enhances eribulin-induced DNA damage in colorectal cancer	Cancer Sci. 2022 Dec;113(12):4207-4218.	Original Article
8	Yamaguchi K, Yoshihiro T, Ariyama H, et al.	第一内科	Potential therapeutic targets discovery by transcriptome analysis of an in vitro human gastric signet ring carcinoma model	Gastric Cancer. 2022 Sep;25(5):862-878.	Original Article
9	Ito M, Nakano M, Ariyama H, et al.	第一内科	Macrophages are primed to transdifferentiate into fibroblasts in malignant ascites and pleural effusions	Cancer Lett. 2022 Apr 28;532:215597.	Original Article
10	Yokoyama K,Mitoma H, Kawano S,et al	第一内科	CEACAM 1, 3, 5 and 6 -positive classical monocytes correlate with interstitial lung disease in early systemic sclerosis	Front Immunol. 2022 Oct 20;13:1016914.	Original Article
11	Ayano M, Kimoto Y,Mitoma H, et al	第一内科	Comparative efficacy and safety of mizoribine and mycophenolate mofetil for treating systemic lupus erythematosus: a retrospective cohort study	Ther Adv Musculoskelet Dis. 2022 May 13;14:1759720X2210963 67	Original Article
12	Kashiwado Y, Kiyohara C, Kimoto Y,et al	第一内科	Clinical course of patients with rheumatoid arthritis who continue or discontinue biologic therapy after hospitalization for infection: a retrospective observational study	Arthritis Res Ther. 2022 Jun 1;24(1):131.	Original Article
13	Ayano M, Kimoto Y, Mitoma H, Akahoshi M, et al	第一内科	Safety and Efficacy of Switching Immunosuppressive Drugs for Maintenance Treatment in Patients with Systemic Lupus Erythematosus: A Retrospective Cohort Study	Mod Rheumatol. 2022 Aug 26;roac100.	Original Article
14	Fujimoto S, Arinobu Y, Miyawaki K, et al	第一内科	Anti-dsDNA IgE induces IL-4 production from basophils, potentially involved in B-cell differentiation in systemic lupus erythematosus	Rheumatology (Oxford). 2023 Feb 22;kead082.	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
15	Kashiwado Y, Kimoto Y, Sawabe T, et al.	第一内科	Antibody response to SARS-CoV-2 mRNA vaccines in patients with rheumatic diseases in Japan: Interim analysis of a multicentre cohort study	Mod Rheumatol. 2023 Mar 2;33(2):367-372.	Original Article
16	Ayano M, Horiuchi T.	第一内科	Complement as a Biomarker for Systemic Lupus Erythematosus	Biomolecules. 2023 Feb 15;13(2):367.	Review
17	Kimoto Y, Horiuchi T.	第一内科	The Complement System and ANCA Associated Vasculitis in the Era of Anti-Complement Drugs	Front Immunol. 2022 Jun 23;13:926044.	Review
18	Miyawaki K, Kato K, Sugio T et al.	第一内科	A germinal center-associated microenvironmental signature reflects malignant phenotype and outcome of DLBCL	Blood Adv. 2022 Apr 12;6(7):2388-2402.	Original Article
19	Sugio T, Baba S, Mori Y et al.	第一内科	Prognostic value of pre-transplantation total metabolic tumor volume on 18fluoro-2-deoxy-D-glucose positron emission tomography-computed tomography in relapsed and refractory aggressive lymphoma	Int J Hematol. 2022 Oct;116(4):603-611.	Original Article
20	Mori Y, Harada T, Yoshimoto G et al.	第一内科	Risk factors for late cytomegalovirus infection after completing letermovir prophylaxis	Int J Hematol. 2022 Aug;116(2):258-265.	Original Article
21	Ohya Y, Matsuo R, Sato N, et al.	第二内科	Causes of ischemic stroke in young adults versus non-young adults: A multicenter hospital-based observational study	PLoS One. 2022 Jul 13;17(7):e0268481	Original Article
22	Shono Y, Mezuki S, Akahoshi T, et al.	第二内科	Prediction of intracranial lesions in patients with consciousness disturbance by ultrasonography in the intensive care unit	J Int Med Res. 2022 Sep;50(9):3000605221119358	Original Article
23	Takashima M, Nakamura K, Kiyohara T, et al.	第二内科	Low-dose sodium-glucose cotransporter 2 inhibitor ameliorates ischemic brain injury in mice through pericyte protection without glucose-lowering effects	Commun Biol. 2022 Jul 2;5(1):653.	Original Article
24	Kiyohara T, Ago T	第二内科	Can calcium channel blockers prevent ischemic stroke in nonvalvular atrial fibrillation patients?-the optimal choice of antihypertensive drug for subtype-specific stroke prevention	Hypertens Res. 2022 Jun;45(6):1076-1078.	Letter
25	Wakisaka Y	第二内科	Processing Speed Domain of Cognitive Function for Screening Early Cognitive Impairment Among Individuals With Atrial Fibrillation	Circ J. 2022 Dec 23;87(1):27-28.	Letter
26	Ohya Y, Matsuo R, Sato N, et al.	第二内科	Modification of the effects of age on clinical outcomes through management of lifestyle-related factors in patients with acute ischemic stroke	J Neurol Sci. 2023 Mar 15;446:120589.	Original Article
27	Irie F, Matsuo R, Nakamura K, et al.	第二内科	Sex Differences in Long-Term Functional Decline after Ischemic Stroke: A Longitudinal Observational Study from the Fukuoka Stroke Registry	Cerebrovasc Dis. 2023 Feb 8;1-8.	Original Article
28	Yamanaka K, Nakamura K, Shibahara T, et al.	第二内科	Deletion of Nox4 enhances remyelination following cuprizone-induced demyelination by increasing phagocytic capacity of microglia and macrophages in mice	Glia. 2023 Mar;71(3):541-559.	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
29	Kiyohara T, Kumai Y, Yubi T, et al.	第二内科	Association between Early Cognitive Impairment and Short-Term Functional Outcome in Acute Ischemic Stroke	Cerebrovasc Dis. 2023 Jan;52(1):61-67.	Original Article
30	Kenichi Goto, Takanari Kitazono	第二内科	Chloride Ions, Vascular Function and Hypertension	Biomedicines. 2022 Sep 18;10(9):2316. (オンライン)	Review
31	Nakano T, Tanaka S, Tsuruya K, Kitazono T.	第二内科	Low intake of β carotene and dietary fiber from vegetables and fruits in patients with chronic kidney disease	Sci Rep. 2022 Nov 19;12(1):19953.	Original Article
32	Tanaka S, Nakano T, Hiyamuta H, et al	第二内科	Association between Multimorbidity and Kidney Function among Patients with Non-Dialysis-Dependent CKD: The Fukuoka Kidney Disease Registry Study	J Atheroscler Thromb. 2022 Aug 1;29(8):1249-1264.	Original Article
33	Yamada S, Tsuruya K, Kitazono T, et al	第二内科	Emerging cross-talks between chronic kidney disease-mineral and bone disorder (CKD-MBD) and malnutrition-inflammation complex syndrome (MICS) in patients receiving dialysis	Clin Exp Nephrol. 2022 Jul;26(7):613-629.	Review
34	Tanaka S, Kitamura H, Tsuruya K, et al	第二内科	Prevalence, treatment status, and predictors of anemia and erythropoietin hyporesponsiveness in Japanese patients with non-dialysis-dependent chronic kidney disease: a cross-sectional study	Clin Exp Nephrol. 2022 Sep;26(9):867-879.	Original Article
35	Ueki K, Tsuchimoto A, Torisu K, et al	第二内科	A case of peritoneal dialysis-related peritonitis caused by dialysate leakage with successful treatment by intravenous and intraperitoneal antibiotic therapy	CEN Case Rep. 2022 May;11(2):161-165.	Case report
36	Ihara E, Ogino H, Muta K et al.	第三内科	The treatment effects of acotiamide in esophagogastric outflow obstruction: a prospective longitudinal observational study	Esophagus. 2022 Apr;19(2):332-342.	Original Article
37	Esaki M, Yamakawa S, Ichijima R et al.	第三内科	Self-completion method of endoscopic submucosal dissection using the Endosaber for treating colorectal neoplasms (with video)	Sci Rep. 2022 Apr 6;12(1):5821.	Original Article
38	Minoda Y, Ihara E, Fujimori N et al.	第三内科	Efficacy of ultrasound endoscopy with artificial intelligence for the differential diagnosis of non-gastric gastrointestinal stromal tumors	Sci Rep. 2022 Oct 5;12(1):16640.	Original Article
39	Esaki M, Ihara E, Sumida Y et al.	第三内科	Hybrid and Conventional Endoscopic Submucosal Dissection for Early Gastric Neoplasms: A Multi-Center Randomized Controlled Trial	Clin Gastroenterol Hepatol. 2022 Nov 5;S1542-3565(22)01019-9.	Original Article
40	Hata Y, Ihara E, Wada et al.	第三内科	Improved esophagography screening for esophageal motility disorders using wave appearance and supra-junctional ballooning	J Gastroenterol. 2022 Nov;57(11):838-847.	Original Article
41	Minoda Y, Ihara E, Itaba S et al.	第三内科	Negligible procedure-related dissemination risk of mucosal incision-assisted biopsy for gastrointestinal stromal tumors versus endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration/biopsy	Surg Endosc. 2023 Jan;37(1):101-108.	Original Article
42	Igarashi-Hisayoshi Y, Ihara E, Bai X, et al.	第三内科	Determination of Region-Specific Roles of the M3 Muscarinic Acetylcholine Receptor in Gastrointestinal Motility	Dig Dis Sci. 2023 Feb;68(2):439-450.	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
43	Jeong J, Tanaka M and Iwakiri Y	第三内科	Hepatic lymphatic vascular system in health and disease	J Hepatol:2022 Jul;77(1):206-218.	Review
44	Kuwano A, Okui T, Kohjima M et al.	第三内科	Transcatheter arterial steroid injection therapy improves the prognosis of patients with acute liver failure	Medicine (Baltimore). 2023 Mar 10;102(10):e33090.	Original Article
45	Goya T, Kurokawa M, Hioki T et al.	第三内科	Elevated Pancreatic Enzymes Associated with Acute Liver Injury Were Mediated by Tumor Necrosis Factor-Alpha Signaling	Hepatitis Monthly:2022 Aug(オンライン);22(1):e128106	Original Article
46	Kaneko H, Umakoshi H, Ogata M,et al.	第三内科	Machine learning-based models for predicting clinical outcomes after surgery in unilateral primary aldosteronism	Sci Rep. 2022 Apr 6;12(1):5781.	Original Article
47	Yano C, Yokomoto-Umakoshi M, Fujita M, et al.	第三内科	Coexistence of bone and vascular disturbances in patients with endogenous glucocorticoid excess	Bone Rep. 2022 Aug 11;17:101610.	Original Article
48	Iwahashi N, Umakoshi H, Seki T, et al.	第三内科	Characterization of Aldosterone-producing Cell Cluster (APCC) at Single-cell Resolution	J Clin Endocrinol Metab. 2022 Aug 18;107(9):2439-2448.	Original Article
49	Yano S, Ishiuchi T, Abe S, et al.	第三内科	Histone H3K36me2 and H3K36me3 form a chromatin platform essential for DNMT3A-dependent DNA methylation in mouse oocytes	Nat Commun. 2022 Aug 3;13(1):4440.	Original Article
50	Haji S, Ito T, Guenther G, et al	第三内科	Human Dectin-1 is O-glycosylated and serves as a ligand for C-type lectin receptor CLEC-2	Elife. 2022 Dec 8;11:e83037.	Original Article
51	Haji S, Shiratsuchi M, Takamatsu A, et al.	第三内科	Endothelial function testing before conditioning therapy is useful for predicting transplant-related complications after allogeneic hematopoietic cell transplantation	Int J Hematol. 2023 Mar;117(3):438-445.	Original Article
52	Masuda T, Haji S, Nakashima Y, et al.	第三内科	Identification of a drug-response gene in multiple myeloma through longitudinal single-cell transcriptome sequencing	iScience. 2022 Jul 19;25(8):104781.	Original Article
53	Tsuda M, Hirata A, Tokunaga S, et al.	第三内科	Rapid decrease in eGFR with concomitant use of tyrosine kinase inhibitors and renin-aldosterone-angiotensin system inhibitors in patients with chronic myelogenous leukemia	Int J Hematol. 2022 Dec;116(6):863-870.	Original Article
54	Takamatsu A, Nakashima Y, Haji S, et al.	第三内科	Circulating endothelial cells and endothelial progenitor cells as potential predictors of acute GVHD after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Eur J Haematol. 2022 Aug;109(2):146-153.	Original Article
55	Ohno A, Fujimori N, Kaku T, et al.	第三内科	Feasibility and Efficacy of Endoscopic Ultrasound-Guided Hepaticogastrostomy Without Dilation: A Propensity Score Matching Analysis	Dig Dis Sci. 2022 Dec;67(12):5676-5684.	Original Article
56	Teramatsu K, Oono T, Oyama K, et al.	第三内科	Circulating CD8+CD122+ T cells as a prognostic indicator of pancreatic cancer	BMC Cancer. 2022 Nov 4;22(1):1134.	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
57	Ohno A, Fujimori N, Kaku T, et al.	第三内科	The feasibility of percutaneous transhepatic gallbladder aspiration for acute cholecystitis after self-expandable metallic stent placement for malignant biliary obstruction: a 10-year retrospective analysis in a single center	Clin Endosc. 2022 Nov;55(6):784-792.	Original Article
58	Takamatsu Y, Fujimori N, Miyagahara T, et al.	第三内科	The Glasgow Prognostic Score and stricture site can predict prognosis after endoscopic duodenal stent placement for malignant gastric outlet obstruction	Sci Rep. 2022 Jun 13;12(1):9746.	Original Article
59	Murakami M, Fujimori N, Matsumoto K, et al.	第三内科	A clinical analysis on functioning pancreatic neuroendocrine tumors (focusing on VIPomas): a single-center experience	Endocr J. 2022 Oct 28;69(10):1201-1209.	Original Article
60	Matsumoto K, Fujimori N, Hata Y, et al.	第三内科	Ampullary Neuroendocrine Neoplasm: Clinicopathological Characteristics and Novel Endoscopic Entity	Dig Dis. 2023;41(2):316-324. Epub 2022 May 19	Original Article
61	Ohno A, Kaku T, Fujimori N, et al.	第三内科	Spy basket retrieval method of an embedded hepaticogastrostomy stent (with videos)	Endosc Ultrasound. 2023 Jan-Feb;12(1):167-168.	Case report
62	Eto E, Maeda Y, Sonoda N, et al.	第三内科	Association of serum total bilirubin levels with progressive renal decline and end-stage kidney disease: 10-year observational cohort study in Japanese patients with diabetes	PLoS One. 2022 Jul 12;17(7):e0271179.	Original Article
63	Goya T, Horisawa K, Udono M, et al.	第三内科	Direct Conversion of Human Endothelial Cells Into Liver Cancer-Forming Cells Using Nonintegrative Episomal Vectors	Hepatol Commun. 2022 Jul;6(7):172-1740.	Original Article
64	T. Ogasawara, Y. Fujii, N. Kakiuchi, et al.	第三内科	Genetic Analysis of Pheochromocytoma and Paraganglioma Complicating Cyanotic Congenital Heart Disease	J Clin Endocrinol Metab. 2022 Aug 18;107(9):2545-2555.	Original Article
65	Shibata M, Hosoi M, Sudo N, et al	心療内科	Association between chronic low back pain and regional brain atrophy in a Japanese older population: the Hisayama Study	Pain. 2022 Nov 1;163(11):2185-2193.	Original Article
66	Naoki Hirabayashi, Jun Hata, Yoshihiko Furuta, et al	心療内科	Association Between Diabetes and Gray Matter Atrophy Patterns in a General Older Japanese Population: The Hisayama Study	Diabetes Care. 2022 Jun 2;45(6):1364-1371.	Original Article
67	Tomoe Nishihara, Kazufumi Yoshihara, Ayako Ohashi, et al	心療内科	Occupational stress, psychological distress, physical symptoms, and their interrelationships among frontline nurses caring for COVID-19 patients in Japan	Medicine (Baltimore). 2022 Dec 2;101(48):e31687.	Original Article
68	Nishihara T, Ohashi A, Nakashima Y, et al.	心療内科	Compassion fatigue in a health care worker treating COVID-19 patients: a case report	Biopsychosoc Med. 2022 Apr 15;16(1):10.	Case report
69	Yamashita M, Kawai K, Toda K et al	心療内科	Cardiopulmonary exercise testing for patients with anorexia nervosa: a case-control study	Eat Weight Disord. 2022 Dec;27(8):3553-3560.	Original Article
70	Yokoyama H, Nozaki T, Nishihara T et al	心療内科	Factors associated with the improvement of body image dissatisfaction of female patients with overweight and obesity during cognitive behavioral therapy	Front Psychiatry. 2022 Oct 21;13:1025946.	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
71	Mukaino T, Uehara T, Yokohama J, et al.	脳神経内科	Atrophy of the hippocampal CA1 subfield relates to long-term forgetting in focal epilepsy	Epilepsia. 2022 Oct;63(10):2623-2636.	Original Article
72	Hashimoto Y, Yamasaki R, Ko S, et al.	脳神経内科	Connexin 30 Deficiency Ameliorates Disease Progression at the Early Phase in a Mouse Model of Amyotrophic Lateral Sclerosis by Suppressing Glial Inflammation	Int J Mol Sci. 2022 Dec 16;23(24):16046.	Original Article
73	Kobayakawa Y, Todaka K, Hashimoto Y, et al.	脳神経内科	A novel quantitative indicator for disease progression rate in amyotrophic lateral sclerosis	J Neurol Sci. 2022 Nov 15;442:120389.	Original Article
74	Okadome T, Yamaguchi T, Mukaino T, et al.	脳神経内科	The effect of interictal epileptic discharges and following spindles on motor sequence learning in epilepsy patients	Front Neurol. 2022 Nov 10;13:979333.	Original Article
75	Takeuchi H, Masaki K, Ogata H, et al.	脳神経内科	Teaching Video NeuroImage: Reversible Parkinsonism Caused by Lumboperitoneal Shunt Overdrainage	Neurology. 2022 Sep 13;99(11):486-488.	Case report
76	Okadome T, Takeuchi H, Yamaguchi T, et al.	脳神経内科	Shadowboxing-induced reflex seizures in a patient with focal epilepsy	Epilepsy Behav Rep. 2022 Apr 18;19:100543.	Case report
77	Enzan N, Matsushima S, Kaku H, et al.	循環器内科	Beneficial Effects of Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitors on Heart Failure With Preserved Ejection Fraction and Diabetes	JACC Asia. 2023 Jan 3;3(1):93-104.	Original Article
78	Enzan N, Matsushima S, Ide T, et al.	循環器内科	The use of angiotensin II receptor blocker is associated with greater recovery of cardiac function than angiotensin-converting enzyme inhibitor in dilated cardiomyopathy	ESC Heart Fail. 2022 Apr;9(2):1175-1185.	Original Article
79	Enzan N, Hiasa KI, Ichimura K, et al.	循環器内科	Delayed administration of epinephrine is associated with worse neurological outcomes in patients with out-of-hospital cardiac arrest and initial pulseless electrical activity: insight from the nationwide multicentre observational JAAM-OHCA (Japan Association for Acute Medicine) registry	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care. 2022 Jun 14;11(5):389-396.	Original Article
80	Tsutsui Y, Matsushima S, Enzan N	循環器内科	Nationwide Temporal Trends in Clinical Characteristics and Treatment of Dilated Cardiomyopathy From 2003 to 2013 in Japan - A Report From Clinical Personal Records	Circ J. 2023 Mar 24;87(4):500-507.	Original Article
81	Miyamoto DH, Ikeda M, Ide T	循環器内科	Iron Overload via Heme Degradation in the Endoplasmic Reticulum Triggers Ferroptosis in Myocardial Ischemia-Reperfusion Injury	JACC Basic Transl Sci. 2022 Jul 27;7(8):800-819.	Original Article
82	Ikeda S, Shinohara K, Enzan N	循環器内科	Serial measurement of B-type natriuretic peptide and future cardiovascular events in patients with type 2 diabetes mellitus without known cardiovascular disease	Int J Cardiol. 2022 Jun 1;356:98-104.	Original Article
83	Ryosuke Nakashima, Susumu Takase, Kazuo Sakamoto, et al.	循環器内科	Mexiletine effectively prevented refractory Torsades de Pointes and ventricular fibrillation in a patient with congenital type 2 long QT syndrome	J Cardiovasc Electrophysiol. 2022 Jul;33(7):1592-1595.	Case report
84	Ikeda M, Ide T, Matsushima S et al	循環器内科	Immunomodulatory Cell Therapy Using α GalCer-Pulsed Dendritic Cells Ameliorates Heart Failure in a Murine Dilated Cardiomyopathy Model	Circ Heart Fail. 2022 Dec;15(12):e009366. 15(12):e009366	Original Article

小計：14件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
85	Ikeda M, Ide T, Furusawa S et al	循環器内科	Heart Rate Reduction with Ivabradine Prevents Cardiac Rupture after Myocardial Infarction in Mice	Cardiovasc Drugs Ther. 2022 Apr;36(2):257-262.	Original Article
86	Yasuhiro Nakano	循環器内科	Association between Serum Oxysterols and Coronary Plaque Regression during Lipid-Lowering Therapy with Statin and Ezetimibe: Insights from the CuVIC Trial	J Atheroscler Thromb. 2022 Dec 1.	Original Article
87	Tsutsui, H.	循環器内科	Recent advances in the pharmacological therapy of chronic heart failure: Evidence and guidelines	Pharmacol Ther. 2022 Oct;238:108185.	Review
88	Shiraishi Y, Hakozaki T, Nomura S, et al.	呼吸器科	A Multicenter, Randomized Phase III Study Comparing Platinum Combination Chemotherapy Plus Pembrolizumab With Platinum Combination Chemotherapy Plus Nivolumab and Ipilimumab for Treatment-Naive Advanced Non-Small Cell Lung Cancer Without Driver Gene Alterations: JCOG2007 (NIPPON Study)	Clin Lung Cancer. 2022 Jun;23(4):e285-e288.	Others
89	Tsutsumi H, Iwama E, Ibusuki R et al.	呼吸器科	Mutant forms of EGFR promote HER2 trafficking through efficient formation of HER2-EGFR heterodimers through efficient formation of HER2-EGFR heterodimers.	Lung Cancer. 2023 Jan;175:101-111.	Original Article
90	Ibusuki R, Yoneshima Y, Hashisako M, et al.	呼吸器科	Association of thyroid transcription factor-1 (TTF-1) expression with efficacy of PD-1/PD-L1 inhibitors plus pemetrexed and platinum chemotherapy in advanced non-squamous non-small cell lung cancer	Transl Lung Cancer Res. 2022 Nov;11(11):2208-2215.	Original Article
91	Yoneshima Y, Morita S, Ando M, et al	呼吸器科	Nab-Paclitaxel for Previously Treated Advanced Non-Small Cell Lung Cancer: Analysis of Safety and Efficacy for Patients With Renal Impairment	Clin Lung Cancer. 2022 Nov;23(7):585-592.	Original Article
92	Shiraishi Y, Shimose T, Tsuchiya-Kawano Y, et al.	呼吸器科	Forthcoming Phase II Study of Durvalumab (MEDI4736) Plus Chemotherapy for Small Cell Lung Cancer with Brain Metastases	Cancer Manag Res. 2022 Dec 14;14:3449-3453.	Others
93	Shiraishi Y, Kishimoto J, Shimose T et al	呼吸器科	Phase II study of carboplatin/nab-paclitaxel/atezolizumab combination therapy for advanced nonsquamous non-small cell lung cancer patients with impaired renal function: RESTART trial	BMC Cancer. 2022 Sep 8;22(1):964.	Others
94	Okamura K, Inoue H, Tanaka K et al.	呼吸器科	Immunostimulatory oncolytic activity of coxsackievirus A11 in human malignant pleural mesothelioma	Cancer Sci. 2023 Mar;114(3):1095-1107.	Original Article
95	Tanaka K, Chamoto K, Saeki S et al.	呼吸器科	Combination bezafibrate and nivolumab treatment of patients with advanced non-small cell lung cancer	Sci Transl Med. 2022 Dec 14;14(675):eabq0021.	Original Article
96	Otsubo K, Kishimoto J, Ando M, et al.	呼吸器科	Nintedanib plus chemotherapy for nonsmall cell lung cancer with idiopathic pulmonary fibrosis: a randomised phase 3 trial	Eur Respir J. 2022 Dec 15;60(6):2200380.	Original Article
97	Hata K, Yanagihara T, Matsubara K, et al.	呼吸器科	Mass cytometry identifies characteristic immune cell subsets in bronchoalveolar lavage fluid from interstitial lung diseases	Front Immunol. 2023 Mar 6;14:1145814.	Case report
98	Washio Y, Sakata S, Fukuyama S et al.	呼吸器科	Risks of Mortality and Airflow Limitation in Japanese Individuals with Preserved Ratio Impaired Spirometry	Am J Respir Crit Care Med. 2022 Sep 1;206(5):563-572.	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
99	Yamashita S, Ikegame S, Keita Nakatomi, et al.	呼吸器科	Respiratory Virus Infections during the COVID-19 Pandemic Revealed by Multiplex PCR Testing in Japan	Microbiol Spectr. 2023 Feb 1;11(2):e0416222.	Original Article
100	Onuki M, Yamamoto K, Yahata H, et al	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	Human papillomavirus vaccine effectiveness by age at first vaccination among Japanese women	Cancer Sci. 2022 Apr;113(4):1428-1434.	Original Article
101	Okugawa K, Yahata H, Hachisuga K, et al	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	Evaluation of Clinical Significance of Lymphovascular Space Invasion in Stage IA Endometrial Cancer	Oncology . 100(4): 195-202, 2022.04	Original Article
102	Yahata H, Kodama K, Okugawa K, et al	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	Long-term follow up after sentinel node biopsy alone for early-stage cervical cancer	Gynecol Oncol. 2022 Apr;165(1):149-154.	Original Article
103	Yasunaga M, Yahata H, Okugawa K, et al	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	Prognostic impact of adding bevacizumab to carboplatin and paclitaxel for recurrent, persistent, or metastatic cervical cancer	Taiwan J Obstet Gynecol. 2022 Sep;61(5):818-822.	Original Article
104	Kukimoto I, Onuki M, Yamamoto K, et al	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	Regional differences in human papillomavirus type 52 prevalence among Japanese women with cervical intraepithelial neoplasia	Jpn J Clin Oncol. 2022 Oct 6;52(10):1242-1247.	Original Article
105	Asanoma K, Yahata H, Okugawa K, et al	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	Impact of obesity on robotic-assisted surgery in patients with stage IA endometrial cancer and a low risk of recurrence: An institutional study	J Obstet Gynaecol Res. 2022 Dec;48(12):3226-3232.	Original Article
106	Togami S, Tanimoto A, Yanazume S, et al	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	Evaluation of the one-step nucleic acid amplification assay for detecting lymph node metastasis in patients with cervical and endometrial cancer: A multicenter prospective study	Gynecol Oncol. 2023 Mar;170:70-76.	Original Article
107	Murakami K, Hamazaki N, Hamada N, et al	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	Generation of functional oocytes from male mice in vitro	Nature. 2023 Mar;615(7954):900-906.	Original Article
108	Shono M, Kishimoto K, Hikabe O, et al	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	Induction of primordial germ cell-like cells from common marmoset embryonic stem cells by inhibition of WNT and retinoic acid signaling	Sci Rep. 2023 Feb 23;13(1):3186.	Original Article
109	Nakahara K, Morokuma S, Maehara K, et al	産科婦人科・総合周産期母子医療センター(母性胎児)	Association of fetal eye movement density with sleeping and developmental problems in 1.5-year-old infants	Sci Rep. 2022 May 17;12(1):8236.	Original Article
110	Sonoda M, Ishimura M, Eguchi K, et al.	小児科・総合周産期母子医療センター(小児)	High-dose immunoglobulin therapy for steroid-resistant myositis in juvenile localized scleroderma	Pediatr Neonatol. 2022 Sep;63(5):542-544.	Case report
					小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
111	Oba U, Kohashi K, Sangatsuda Y, et al.	小児科・総合 周産期母子医療センター(小児)	An efficient procedure for the recovery of DNA from formalin-fixed paraffin-embedded tissue sections	Biol Methods Protoc. 2022 Jul 26;7(1):bpac014.	Original Article
112	Sakai Y, Okuzono S, Schaaf CP, et al.	小児科・総合 周産期母子医療センター(小児)	Translational pediatrics: clinical perspective for Phelan-McDermid syndrome and autism research	Pediatr Res. 2022 Aug;92(2):373-377.	Review
113	Yokoyama S, Koga Y, Anan T, et al.	小児科・総合 周産期母子医療センター(小児)	Pseudo-progressive bone lesion in an infant leukemia after chimeric antigen receptor-T cell therapy	Pediatr Int. 2023 Jan;65(1):e15399.	Case report
114	Sawano T, Kondo T, Ebihara G, et al.	小児科・総合 周産期母子医療センター(小児)	Lung to thorax transverse area ratio as a predictor of neurodevelopmental outcomes in fetuses with congenital diaphragmatic hernia	Early Hum Dev. 2022 Jul;170:105598.	Original Article
115	Inoue H, Sanefuji M, Sonoda Y, et al.	小児科・総合 周産期母子医療センター(小児)	No association between prenatal lead exposure and neurodevelopment during early childhood in the Japan Environment and Children's Study	Sci Rep. 2022 Sep 12;12(1):15305.	Original Article
116	Nishiyama K, Sanefuji M, Kurokawa M, et al.	小児科・総合 周産期母子医療センター(小児)	Maternal Chronic Disease and Congenital Anomalies of the Kidney and Urinary Tract in Offspring: A Japanese Cohort Study	Am J Kidney Dis. 2022 Nov;80(5):619-628.e1.	Original Article
117	Fukuoka S, Yamamura K, Nagata H, et al.	小児科・総合 周産期母子医療センター(小児)	Clinical outcomes of pulmonary agenesis: A systematic review of the literature	Pediatr Pulmonol. 2022 Dec;57(12):3060-3068.	Original Article
118	Chong PF, Torio M, Fujii F, et al.	小児科・総合 周産期母子医療センター(小児)	Critical vitamin deficiencies in autism spectrum disorder: Reversible and irreversible outcomes	Eur J Clin Nutr. 2022 Nov;76(11):1618-1621.	Case report
119	Tetsuhara K, Kaku N, Arimura K, et al.	小児科・総合 周産期母子医療センター(小児)	Quantitative indices for an intracranial aneurysm and subarachnoid hemorrhage in early childhood: a case report	BMC Neurol. 2022 Dec 19;22(1):488.	Case report
120	Yamamoto S, Nakao S, Inoue H, et al.	小児科・総合 周産期母子医療センター(小児)	A preterm newborn-onset juvenile myelomonocytic leukemia-like myeloproliferation with PTPN11 mutation	Pediatr Blood Cancer. 2023 Feb;70(2):e29915.	Case report
121	Takemori W, Yamamura K, Tomita Y, et al.	小児科・総合 周産期母子医療センター(小児)	Pediatric pulmonary veno-occlusive disease associated with a novel BMPR2 variant	Pediatr Pulmonol. 2022 May;57(5):1366-1369.	Case report
122	Akiko Shimazaki, Makoto Kubo, Kanako Kurata et al	第一外科	CCND1 Copy Number Variation in Circulating Tumor DNA from Luminal B Breast Cancer Patients	Anticancer Res. 2022 Aug;42(8):4071-4077.	Original Article
123	Hiroshi Noguchi, Yuta Matsukuma, Kaneyasu Nakagawa et al	第一外科	Treatment of chronic active T cell-mediated rejection after kidney transplantation: A retrospective cohort study of 37 transplants	Nephrology (Carlton). 2022 Jul;27(7):632-638.	Original Article
124	Jun Kawata, Yutaka Koga, Shoko Noguchi et al	第一外科	Clinicopathologic Features and Genetic Alterations in Mixed-Type Ampullary Carcinoma	Mod Pathol. 2023 Mar 31;36(8):100181. :2023Mar:36(8):100181	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
125	Keigo Ozono, Hideya Onishi, Naoya Iwamoto et al	第一外科	Tropomyosin-related Kinase B Is Potentially a Biomarker of Prognosis and Therapeutic Target for Malignant Thymic Epithelial Tumors	Anticancer Res. 2022 Aug;42(8):3779-3787.	Original Article
126	Keizo Kaku, Yasuhiro Okabe, Yu Sato et al	第一外科	Efficacy of Linear Stapler With Polyglycolic Acid Felt for Preventing Graft Duodenal Perforation After Pancreas Transplant	Exp Clin Transplant. 2022 Jun;20(6):595-601.	Original Article
127	Kohei Nakata, Masafumi Nakamura	第一外科	Spleen-Preserving Distal Pancreatectomy	The IASGO Textbook of Multi-Disciplinary Management of Hepato-Pancreato-Biliary Diseases:2022Jun:353-359	Original Article
128	Koji Tamura, Takashi Ueki, Hiromichi Nakayama et al	第一外科	Preoperative prediction of malignancy and surgical treatment strategy in appendiceal tumors: multicenter review of 51 consecutive cases	Langenbecks Arch Surg. 2023 Jan 17;408(1):36	Original Article
129	Masaya Kai, Makoto Kubo, Sawako Shikada et al	第一外科	A novel germline mutation of TP53 with breast cancer diagnosed as Li-Fraumeni syndrome	Surg Case Rep. 2022 Oct 11;8(1):197.	Case report
130	Naoki Ikenaga, Kohei Nakata, Masataka Hayashi et al	第一外科	Clinical Implications of FDG-PET in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Patients Treated with Neoadjuvant Therapy	J Gastrointest Surg. 2023 Feb;27(2):337-346.	Original Article
131	Naoki Ikenaga, Yoshihiro Miyasaka, Takao Ohtsuka et al	第一外科	A Prospective Multicenter Phase II Trial of Neoadjuvant Chemotherapy with Gemcitabine Plus Nab-Paclitaxel for Borderline Resectable Pancreatic Cancer with Arterial Involvement	Ann Surg Oncol. 2023 Jan;30(1):193-202.	Original Article
132	Naoki Ikenaga, Yoshihiro Miyasaka, Takao Ohtsuka et al	第一外科	ASO Author Reflections: Novel Evidence on Neoadjuvant Chemotherapy for Borderline Resectable Pancreatic Cancer with Arterial Involvement	Ann Surg Oncol. 2023 Jan;30(1):203-204.	Original Article
133	Naoki Ikenaga, Yoshihiro Miyasaka, Takao Ohtsuka et al	第一外科	ASO Visual Abstract: A Prospective, Multicenter, Phase II, Trial of Neoadjuvant Chemotherapy with Gemcitabine Plus Nab-Paclitaxel for Borderline Resectable Pancreatic Cancer with Arterial Involvement	Ann Surg Oncol. 2023 Jan;30(1):205-206.	Original Article
134	Saori Hayashi, Makoto Kubo, Sawako Matsuzaki et al	第一外科	Significance of the Multi-gene Panel myRisk in Japan	Anticancer Res. 2022 Aug;42(8):4097-4102.	Original Article
135	Shinjiro Nagao, Hideya Onishi, Makoto Kawamoto et al	第一外科	C4orf47 contributes to the dormancy of pancreatic cancer under hypoxic conditions	J Cancer. 2023 Jan 9;14(2):306-317.	Original Article
136	Sho Okuda, Kenoki Ohuchida, Koji Shindo et al	第一外科	Clinical impact of remnant lymphatic invasion on the recurrence of esophageal squamous cell carcinoma after esophagectomy with neoadjuvant chemotherapy	Oncol Lett. 2022 Aug 11;24(4):337.	Original Article
137	Sho Okuda, Kenoki Ohuchida, Shoichi Nakamura et al	第一外科	Neoadjuvant chemotherapy enhances anti-tumor immune response of tumor microenvironment in human esophageal squamous cell carcinoma	iScience. 2023 Mar 21;26(4):106480.	Original Article
138	Shoichi Nakamura, Kenoki Ohuchida, Yoshiki Ohtsubo et al	第一外科	Single-cell transcriptome analysis reveals functional changes in tumour-infiltrating B lymphocytes after chemotherapy in oesophageal squamous cell carcinoma	Clin Transl Med. 2023 Jan;13(1):e1181.	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
139	Takanori Mei, Hiroshi Noguchi, Ryutaro Kuraji et al	第一外科	Effects of periodontal pathogen-induced intestinal dysbiosis on transplant immunity in an allogenic skin graft model	Sci Rep. 2023 Jan 11;13(1):544.	Original Article
140	Tomohiko Shinkawa, Kenoki Ohuchida, Masafumi Nakamura	第一外科	Heterogeneity of Cancer-Associated Fibroblasts and the Tumor Immune Microenvironment in Pancreatic Cancer	Cancers (Basel). 2022 Aug 18;14(16):3994.	Review
141	Yusuke Mizuuchi, Yoshitaka Tanabe, Masafumi Sada et al	第一外科	Relationship between prognostic impact of N3 lymph node metastasis at the root of the feeding artery and location of colon cancer	Langenbecks Arch Surg. 2023 Jan 16;408(1):31.	Original Article
142	Yusuke Mizuuchi, Yoshitaka Tanabe, Masafumi Sada et al	第一外科	Cross-sectional area of psoas muscle as a predictive marker of anastomotic failure in male rectal cancer patients: Japanese single institutional retrospective observational study	Ann Coloproctol. 2022 Oct;38(5):353-361.	Original Article
143	Eiji Oki, Daisuke Kotani, Yoshiaki Nakamura, et al	第二外科	Molecular residual disease and efficacy of adjuvant chemotherapy in patients with colorectal cancer	Nat Med. 2023 Jan;29(1):127-134.	Original Article
144	Oki E	第二外科	Postoperative circulating tumor DNA could guide CRC adjuvant treatment	Nat Med. 2023 Jan;29(1):39-40.	Letter
145	Qingjiang Hu, Eiji Oki, Yoshiaki Fujimoto, et al	第二外科	Influence of Robotic Rectal Resection Versus Laparoscopic Rectal Resection on Postoperative Ileus: A Single-center Experience	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2022 Aug 1;32(4):425-430	Original Article
146	Yu Miyashita, Tetsuo Ikeda, Eiji Shinto, et al	第二外科	Three-dimensional imaging of intramural perineural invasion in colorectal cancer: Three-dimensional reconstruction approach with multiple immunohistochemically stained sections	Pathol Int. 2022 May;72(5):293-299.	Original Article
147	Shinji Itoh, Yoshihiro Nagao, Kazutoyo Morita, et al	第二外科	Association between Sarcopenia and Omega-3 Polyunsaturated Fatty Acid in Patients with Hepatocellular Carcinoma	JMA J. 2022 Apr 15;5(2):169-176.	Original Article
148	Shinji Itoh, Katsuya Toshida, Kazutoyo Morita, et al	第二外科	Clinical effectiveness of surgical treatment after lenvatinib administration for hepatocellular carcinoma	Int J Clin Oncol. 2022 Nov;27(11):1725-1732.	Original Article
149	Shinji Itoh, Masafumi Ikeda	第二外科	Atezolizumab plus bevacizumab for patients with Child-Pugh-B in hepatocellular carcinoma	Hepatobiliary Surg Nutr. 2022 Dec;11(6):876-878.	Letter
150	Tomonari Shimagaki, Keishi Sugimachi, Yohei Mano, et al	第二外科	Simple systemic index associated with oxaliplatin-induced liver damage can be a novel biomarker to predict prognosis after resection of colorectal liver metastasis	Ann Gastroenterol Surg. 2022 May 25;6(6):813-822.	Original Article
151	Tomonari Shimagaki, Tomoharu Yoshizumi, Shinji Itoh, et al	第二外科	The ratio of serum des-gamma-carboxy prothrombin to tumor volume as a new biomarker for early recurrence of resected hepatocellular carcinoma	Hepatol Res. 2022 Apr;52(4):381-389.	Original Article
152	Tomonari Shimagaki, Shinji Itoh, Katsuya Toshida, et al	第二外科	Prevention of bile duct injury using indocyanine green fluorescence in laparoscopic liver cyst fenestration for giant liver cyst: a case report	J Surg Case Rep. 2022 Oct 19;2022(10):rjac479.	Case Report

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
153	Tomonari Shimagaki, Keishi Sugimachi, Yohei Mano, et al	第二外科	Undifferentiated embryonal sarcoma of the liver occurring in an adolescent: a case report with genomic analysis	Surg Case Rep. 2022 Sep 15;8(1):170.	Original Article
154	Kyohei Yugawa, Takashi Maeda, Shigeyuki Nagata, et al	第二外科	Mac-2-Binding Protein Glycosylation Isomer as a Novel Predictor of Hepatocellular Carcinoma Recurrence in Patients with Hepatitis C Virus Eradication	Ann Surg Oncol. 2022 Apr;29(4):2711-2719.	Original Article
155	Kyohei Yugawa, Takashi Maeda, Shigeyuki Nagata, et al	第二外科	A novel combined prognostic nutritional index and aspartate aminotransferase-to-platelet ratio index-based score can predict the survival of patients with hepatocellular carcinoma who undergo hepatic resection	Surg Today. 2022 Jul;52(7):1096-1108.	Original Article
156	Kyohei Yugawa, Takashi Maeda, Shigeyuki Nagata, et al	第二外科	Impact of aspartate aminotransferase-to-platelet ratio index based score to assess posthepatectomy liver failure in patients with hepatocellular carcinoma	World J Surg Oncol. 2022 Aug 2;20(1):248.	Original Article
157	Norifumi Iseda, Shinji Itoh, Tomoharu Yoshizumi, et al	第二外科	Impact of Nuclear Factor Erythroid 2-Related Factor 2 in Hepatocellular Carcinoma: Cancer Metabolism and Immune Status	Hepatol Commun. 2022 Apr;6(4):665-678.	Original Article
158	Norifumi Iseda, Shinji Itoh, Katsuya Toshida, et al	第二外科	Ferroptosis is induced by lenvatinib through fibroblast growth factor receptor-4 inhibition in hepatocellular carcinoma	Cancer Sci. 2022 Jul;113(7):2272-2287.	Original Article
159	Norifumi Iseda, Tomohiro Iguchi, Kosuke Hirose, et al	第二外科	Prognostic Impact of Lymphocyte-to-C-Reactive Protein Ratio in Patients Who Underwent Surgical Resection for Pancreatic Cancer	Am Surg. 2022 Aug 3;31348221117034.	Original Article
160	Takahiro Tomiyama, Shinji Itoh, Katsuya Toshida, et al	第二外科	A rare case of unresectable, microsatellite instability-high hepatocellular carcinoma and an examination of the tumor microenvironment	Int Cancer Conf J. 2022 Nov 12;12(1):81-86.	Case Report
161	Katsuya Toshida, Shinji Itoh, Takahiro Tomiyama, et al	第二外科	Comparison of the prognostic effect of sarcopenia on atezolizumab plus bevacizumab and lenvatinib therapy in hepatocellular carcinoma patients	JGH Open. 2022 Jun 8;6(7):477-486.	Original Article
162	Tomoyoshi Takenaka, Tokujiro Yano, Koji Yamazaki, et al	第二外科	Survival after recurrence following surgical resected non-small cell lung cancer: A multicenter, prospective cohort study	JTCVS Open. 2022 Apr 4;10:370-381.	Original Article
163	Naoki Haratake, Mototsugu Shimokawa, Kazuki Takada, et al	第二外科	Combination Antiemetic Therapy for Chemotherapy-Induced Nausea and Vomiting in Patients with NSCLC Receiving Carboplatin-Based Chemotherapy	Cancer Manag Res. 2022 Sep 9;14:2673-2680.	Original Article
164	Naoki Haratake, Mototsugu Shimokawa, Takashi Seto, et al	第二外科	Survival benefit of using pemetrexed for EGFR mutation-positive advanced non-small-cell lung cancer in a randomized phase III study comparing gefitinib to cisplatin plus docetaxel (WJTOG3405)	Int J Clin Oncol. 2022 Sep;27(9):1404-1412.	Original Article
165	Naoki Haratake, Hidetoshi Hayashi, Mototsugu Shimokawa, et al	第二外科	Phase III Clinical Trial for the Combination of Erlotinib Plus Ramucirumab Compared With Osimertinib in Previously Untreated Advanced or Recurrent Non-Small Cell Lung Cancer Positive for the L858R Mutation of EGFR: REVOL858R (WJOG14420L)	Clin Lung Cancer. 2022 May;23(3):e257-e263.	Original Article
166	Kazuki Takada, Sebastiano Buti, Melissa Bersanelli, et al	第二外科	Antibiotic-dependent effect of probiotics in patients with non-small cell lung cancer treated with PD-1 checkpoint blockade	Eur J Cancer. 2022 Sep;172:199-208.	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
167	Kazuki Takada, Shinkichi Takamori	第二外科	Comments on "Lymphocyte-to-monocyte ratio is an independent prognostic factor in surgically treated small cell lung cancer: An international multicenter analysis"	Lung Cancer. 2023 Jan;175:154-155.	Original Article
168	Kazuki Takada, Mototsugu Shimokawa, Shinkichi Takamori, et al	第二外科	A propensity score-matched analysis of the impact of statin therapy on the outcomes of patients with non-small-cell lung cancer receiving anti-PD-1 monotherapy: a multicenter retrospective study	BMC Cancer. 2022 May 6;22(1):503.	Original Article
169	Kazuki Takada, Mototsugu Shimokawa, Fumitaka Mizuki, et al	第二外科	Association between sex and outcomes in patients with non-small-cell lung cancer receiving combination chemioimmunotherapy as a first-line therapy: a systematic review and meta-analysis of randomized clinical trials	Eur J Med Res. 2022 Aug 23;27(1):157.	Review
170	K Takada, S Takamori	第二外科	Comments on 'Biomarkers of systemic inflammation predict survival with first-line immune checkpoint inhibitors in non-small-cell lung cancer'	ESMO Open. 2022 Dec;7(6):100599.	Letter
171	Shinkichi Takamori, Takefumi Komiya, Emily Powell	第二外科	Clinical impact of number of lymph nodes dissected on postoperative survival in node-negative small cell lung cancer	Front Oncol. 2022 Nov 21;12:962282.	Original Article
172	Shinkichi Takamori, Takashi Seto, Masafumi Yamaguchi, et al	第二外科	Case report: Success of tepotinib therapy in overcoming resistance to osimertinib in a patient with EGFR-mutant lung adenocarcinoma with a potential acquired MET exon 14 skipping mutation	Front Oncol. 2022 Oct 13;12:965741.	Case Report
173	Kyoto Matsudo, Naoki Haratake, Yuki Ono, et al	第二外科	Robotic-assisted thoracoscopic thymectomy for thymic carcinoid: case report	AME Med J 2022 Jun;7:20 page 1-5	Case Report
174	Kyoto Matsudo, Naoki Haratake, Yuki Ono, et al	第二外科	Multiple systemic artery to pulmonary vessel fistulas (SAPVFs) completely resected by video-assisted thoracoscopic surgery: a case report	Surg Case Rep. 2022 Sep 28;8(1):184.	Case Report
175	Asato Hashinokuchi, Naoki Haratake, Tomoyoshi Takenaka, et al	第二外科	Clinical significance of the combination of preoperative SUVmax and CEA in patients with clinical stage IA lung adenocarcinoma	Thorac Cancer. 2022 Sep;13(18):2624-2632.	Original Article
176	Asato Hashinokuchi, Mikihiro Kohno, Keisuke Kosai, et al	第二外科	Surgical resection of a tuberculoma in the diaphragm: a case report	Surg Case Rep. 2022 Oct 14;8(1):198.	Original Article
177	Koichi Morisaki, Yutaka Matsubara, Shinichiro Yoshino, et al	第二外科	Validation of the GLASS Staging Systems in Patients With Chronic Limb-Threatening Ischemia Undergoing De Novo Infrainguinal Revascularization	Ann Vasc Surg. 2022 Apr;81:378-386.	Original Article
178	Koichi Morisaki, Yutaka Matsubara, Shun Kurose, et al	第二外科	Bypass Surgery Provides Better Outcomes Compared with Endovascular Therapy in the Composite Endpoint Comprising Relief from Rest Pain, Wound Healing, Limb Salvage, and Survival after Infra-inguinal Revascularisation in Patients with Chronic Limb Threatening Ischaemia	Eur J Vasc Endovasc Surg. 2022 Apr;63(4):588-593.	Original Article
179	Koichi Morisaki, Yutaka Matsubara, Shun Kurose, et al	第二外科	Effect of abdominal aortic aneurysm sac shrinkage after endovascular repair on long-term outcomes between favorable and hostile neck anatomy	J Vasc Surg. 2022 Oct;76(4):916-922.	Original Article

小計：13件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
180	Koichi Morisaki, Yutaka Matsubara, Shun Kurose, et al	第二外科	Evaluation of three nutritional indices as predictors of 2-year mortality and major amputation in patients with chronic limb-threatening ischemia	Vascular. 2022 May 18;17085381221102801.	Original Article
181	Koichi Morisaki, Daisuke Matsuda, Yutaka Matsubara, et al	第二外科	Global Limb Anatomic Staging System Inframalleolar Modifier Predicts Limb Salvage and Wound Healing in Patients with Chronic Limb Threatening Ischaemia Undergoing Endovascular Infrainguinal Revascularisation	Eur J Vasc Endovasc Surg. 2023 Mar;65(3):391-397.	Original Article
182	Yutaka Matsubara, Shogo Kawanami, Go Kinoshita, et al	第二外科	Perioperative therapeutic antibiotics are beneficial to prevent exacerbation of limb-associated infection after bypass surgery in patients with critical limb-threatening ischemia and foot infection score of ≥ 1	Vascular. 2023 Jan 31;17085381231154608.	Original Article
183	Ken Nakayama, Tadashi Furuyama, Yutaka Matsubara, et al	第二外科	Gut dysbiosis and bacterial translocation in the aneurysmal wall and blood in patients with abdominal aortic aneurysm	PLoS One. 2022 Dec 14;17(12):e0278995.	Original Article
184	Yoshino Shinichiro, Yutaka Matsubara, Tadashi Furuyama, et al	第二外科	Iliac Artery Aneurysms Expand in Quadratically Proportion to the Diameter	Ann Vasc Surg. 2022 May;82:258-264.	Original Article
185	Takeo Toshima, Noboru Harada, Shinji Itoh, et al	第二外科	Outcomes of living-donor liver transplantation for acute-on-chronic liver failure based on newly proposed criteria in Japan	Clin Transplant. 2022 Aug;36(8):e14739.	Original Article
186	Takashi Motomura, Lanuza A P Faccioli, Ricardo Diaz-Aragon, et al	第二外科	From a Single Cell to a Whole Human Liver: Disease Modeling and Transplantation	Semin Liver Dis. 2022 Nov;42(4):413-422.	Original Article
187	Takahiro Tomiyaama, Takuya Yamamoto, Shokichi Takahama, et al	第二外科	Up-regulated LRRN2 expression as a marker for graft quality in living donor liver transplantation	Hepatol Commun. 2022 Oct;6(10):2836-2849.	Original Article
188	Takahiro Tomiyaama, Masahiro Shimokawa, Noboru Harada, et al	第二外科	Low syntaxin 17 expression in donor liver is associated with poor graft prognosis in recipients of living donor liver transplantation	Hepatol Res. 2022 Oct;52(10):872-881.	Original Article
189	Takahiro Tomiyaama, Noboru Harada, Takeo Toshima, et al	第二外科	Donor Skeletal Muscle Quality Affects Graft Mortality After Living Donor Liver Transplantation- A Single Center, Retrospective Study	Transpl Int. 2022 Dec 9;35:10723.	Original Article
190	Katsuya Toshida, Takeo Toshima, Noboru Harada, et al	第二外科	Autoimmune Hepatitis in an Immunosuppression-Free Patient Who Underwent Living Donor Liver Transplantation From an Identical Twin: A Case Report	Transplant Proc. 2022 Dec;54(10):2791-2793.	Case report
191	Bekki H, Matsumoto Y, Yoshimoto , et al.	整形外科	The Expression of Insulin-Like Growth Factor II Messenger RNA-Binding Protein 3 Upregulated in Intradural Extramedullary Schwannomas	Spine Surg Relat Res. 2022 Aug 23;7(1):36-41.	Original Article

小計：12件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
192	Das BK, Wang L, Fujiwara T (cofirst), et. al	整形外科	Transferrin receptor 1-mediated iron uptake regulates bone mass in mice via osteoclast mitochondria and cytoskeleton	Elife. 2022 Jun 27;11:e73539.	Original Article
193	Endo M, Kataoka T, Fujiwara T, et al.	整形外科	Protocol for the 2ND-STEP study, Japan Clinical Oncology Group study JCOG1802: a randomized phase II trial of second-line treatment for advanced soft tissue sarcoma comparing trabectedin, eribulin and pazopanib	BMC Cancer. 2023 Mar 8;23(1):219.	Original Article
194	Endo M, Kawahara S, Sato T, et al.	整形外科	Protocol for the RETHINK study: a randomised, double-blind, parallel-group, non-inferiority clinical trial comparing acetaminophen and NSAIDs for treatment of chronic pain in elderly patients with osteoarthritis of the hip and knee	BMJ Open. 2023 Feb 10;13(2):e068220.	Original Article
195	Harada S, Hamai S, Ikebe S, et al.	整形外科	Elucidation of target implant orientations with the safety range of hip rotation with adduction or abduction during squatting: Simulation based on in vivo replaced hip kinematics	Front Bioeng Biotechnol. 2022 Nov 18;10:1023721. online	Original Article
196	Harada S, Hamai S, Shiimoto K, et al.	整形外科	Wear analysis of the first-generation cross-linked polyethylene at minimum 10 years follow-up after THA: no significant effect of sports participation	J Artif Organs. 2022 Jun;25(2):140-147.	Original Article
197	Harada T, Hamai S, Hara D, et al.	整形外科	Three-dimensional kinematics and kinetics of getting into and out of a car in patients after total hip arthroplasty	Gait Posture. 2022 Oct;98:305-312.	Original Article
198	Harada T, Hamai S, Shiimoto K, et al.	整形外科	A propensity score-matched comparison of patient satisfaction following periacetabular osteotomy or total hip arthroplasty for developmental dysplasia of the hip in an Asian cohort	Hip Int. 2022 Jul 24;11207000221114272.	Original Article
199	Harada T, Hamai S, Shiimoto K, et al.	整形外科	Analysis of Factors That Influence Patient Satisfaction After Periacetabular Osteotomy: An Asian Cohort Study	Orthopedics. 2022 Sep-Oct;45(5):297-303.	Original Article
200	Haruta Y, Kobayakawa K, Saiwai H	整形外科	Zinc chelator treatment in crush syndrome model mice attenuates ischemia-reperfusion-induced muscle injury due to suppressing of neutrophil infiltration	Sci Rep. 2022 Sep 16;12(1):15580. (オンライン)	Original Article
201	Hirose T, Kohsaka S, Yoshida A, et al.	整形外科	Comprehensive genetic analysis of a lipoblastoma-like tumor of the vulva	J Orthop Sci Case Reports:December 2022;1(2):20-24.	Case report
202	Hotta T, Kozono N, Takeuchi N, et al.	整形外科	Steroid-induced osteonecrosis of the humeral head in a 20-year-old man treated with an osteochondral autograft: A case report	Mod Rheumatol Case Rep. 2023 Jan 3;7(1):247-251.	Case report
203	Ikemura S, Motomura G, Hamai S, et al	整形外科	Tapered wedge stems decrease early postoperative subsidence following cementless total hip arthroplasty in Dorr type C femurs compared to fit-and-fill stems	J Orthop Surg Res. 2022 Apr 10;17(1):223. (オンライン)	Original Article
204	Ikemura S, Motomura G, Kawano K, et al	整形外科	The Discrepancy in the Posterior Boundary of Necrotic Lesion Between Axial and Oblique Axial Slices of MRI in Patients with Osteonecrosis of the Femoral Head	J Bone Joint Surg Am. 2022 Apr 6;104(Suppl 2):33-39.	Original Article
205	Ikemura S, Motomura G, Yamaguchi R, et al.	整形外科	The influence of bone marrow edema for the assessment of the boundaries of necrotic lesions in patients with osteonecrosis of the femoral head	Sci Rep. 2022 Nov 4;12(1):18649. online	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
206	Kai K, Fujiwara T (corresponding), Nagao Y, et. al	整形外科	Evaluation of bone density and skeletal muscle mass after sleeve gastrectomy using computed tomography method	Bone Rep. 2023 Feb 11;18:101661.	Original Article
207	Kawaguchi K, Kuwakado S, Otsuka H, et al	整形外科	Factors affecting short-term functional gain following total knee arthroplasty in patients aged from 75 years at a postacute rehabilitation setting	Int J Rehabil Res. 2022 Sep 1;45(3):260-266.	Original Article
208	Kawahara S, Hara D, Murakami K, et al.	整形外科	Smaller femoral neck anteversion in varus knees than in healthy and valgus knees	Clin Anat. 2022 Nov;35(8):1044-1050.	Original Article
209	Kawahara S, Mawatari T, Matsui G, et al.	整形外科	Improved surgical procedure of primary constrained total knee arthroplasty which enables use of the femoral diaphyseal straight extension stem	BMC Musculoskelet Disord. 2022 May 2;23(1):408. (オンライン)	Original Article
210	Kokubu Y, Fujiwara T (corresponding), Nakagawa K, et. Al	整形外科	Postoperative clinical and functional outcomes in patients with tumor and tumor-like lesion of foot and ankle	J Foot Ankle Res. 2022 Oct 14;15(1):75.	Original Article
211	Kokubu Y, Kawahara S, Hamai S, et al.	整形外科	Sagittal femoral bowing contributes to distal femoral valgus angle deviation in malrotated preoperative radiographs	BMC Musculoskelet Disord. 2022 Jun 15;23(1):579. (オンライン)	Original Article
212	Kawahara M, Akasaki Y, Goto N, et al.	整形外科	Fluvastatin promotes chondrogenic differentiation of adipose-derived mesenchymal stem cells by inducing bone morphogenetic protein 2	BMC Pharmacol Toxicol. 2022 Aug 9;23(1):61.	Original Article
213	Kuwakado S, Kawaguchi K, Otsuka H, et al	整形外科	Prevalence and Characteristics of Frailty at 6 months Following Total Hip and Knee Arthroplasty in Patients With End-Stage OA	Geriatr Orthop Surg Rehabil. 2022 Sep 23;13:21514593221126019.	Original Article
214	Miyama K, Bise R, Ikemura S, et al.	整形外科	Deep learning-based automatic-bone-destruction-evaluation system using contextual information from other joints	Arthritis Res Ther. 2022 Oct 3;24(1):227.	Original Article
215	Nakagawa M, Endo M, Susuki Y, et al	整形外科	Clinical, Radiological, and Histopathological Characteristics of Periosteal Chondrosarcoma with a Focus on the Frequency of Medullary Invasion	J Clin Med. 2022 Apr 6;11(7):2062.	Original Article
216	Nakashima Y, Hara D, Ohishi M, et al.	整形外科	Abductor recovery after muscle-sparing periacetabular osteotomy using a lateral approach	J Hip Preserv Surg. 2022 Dec 13;9(4):259-264.	Original Article
217	Oyama R, Iida K, Saiwai H et al.	整形外科	Destructive cervical spondylitis due to Cutibacterium acnes with synovitis, acne, pustulosis, hyperostosis, and osteitis (SAPHO) syndrome: A case report	Mod Rheumatol Case Rep. 2023 Jan 3;7(1):267-270.	Case report
218	Oyama R, Setsu N, Matsumoto Y, et al	整形外科	Efficacy and safety of tranexamic acid in patients undergoing surgery for bone and soft tissue tumors: a propensity score matching analysis	Jpn J Clin Oncol. 2022 Sep 18;52(9):1029-1038.	Original Article
219	Senju T, Takeuchi N, Kozono N, et al.	整形外科	Biomechanical Comparison of a Horizontal Mattress, Cross Suture and Vertical Mattress for Repair of a Tendon Weave in a Porcine Model	J Hand Surg Asian Pac Vol. 2022 Jun;27(3):439-446.	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
220	Shimada E, Matsumoto Y, Nakagawa M, et al	整形外科	Methylation-mediated silencing of protein kinase C zeta induces apoptosis avoidance through ATM/CHK2 inactivation in dedifferentiated chondrosarcoma	Br J Cancer. 2022 May;126(9):1289-1300.	Original Article
221	Shiomoto K, Hamai S, Hara D, et al.	整形外科	Objective Activity Levels and Patient-Reported Outcomes After Total Hip Arthroplasty and Periacetabular Osteotomy: Retrospective Matched Cohort Study at Mean 12-Year Follow-Up	J Arthroplasty. 2023 Feb;38(2):323-328.	Original Article
222	Tajimi T, Furuta Y, Hirabayashi N, et al	整形外科	Association of gait speed with regional brain volumes and risk of dementia in older Japanese: The Hisayama study	Arch Gerontol Geriatr. 2023 Mar;106:104883.	Original Article
223	Takakura K, Akasaki Y, Kuramoto T, et al.	整形外科	Angular accuracy of plain radiographic measurements in leg alignment: Teleoroentgenogram versus orthoroentgenogram	J Orthop Sci. 2022 May;27(3):642-647.	Original Article
224	Tamaru T, Kobayakawa K, Saiwai H	整形外科	Glial scar survives until the chronic phase by recruiting scar-forming astrocytes after spinal cord injury.	Exp Neurol. 2023 Jan;359:114264.	Original Article
225	Tashiro E, Takeuchi N, Kozono N, et al.	整形外科	Risk of penetration of the baseplate peg in reverse total shoulder arthroplasty for an Asian population	Int Orthop. 2022 May;46(5):1063-1071.	Original Article
226	Tsukushi S, Nishida Y, Hirose T, et al.	整形外科	Short-term clinical outcomes of Kyocera Modular Limb Salvage System designed cementless stems for the endoprosthesis reconstruction of lower extremities: a Japanese Musculoskeletal Oncology Group multi-institutional study	BMC Cancer. 2022 Jul 16;22(1):781.	Original Article
227	Utsunomiya T, Motomura G, Yamaguchi R, et al	整形外科	Effects of the location of both anterior and lateral boundaries of the necrotic lesion on collapse progression in osteonecrosis of the femoral head	J Orthop Sci. 2023 Feb 14;S0949-2658(23)00017-9.	Original Article
228	Xu M, Motomura G, Ikemura S, et al	整形外科	Posterior Pelvic Tilt in the Standing Position Might Be Associated with Collapse Progression in Post-Collapse Stage Osteonecrosis of the Femoral Head	Orthop Surg. 2022 Dec;14(12):3201-3208.	Original Article
229	Yamaguchi R, Nakamura T, Haruhisa Yanagida, et al	整形外科	Hip Prognosis in Patients With Congenital Diastasis of the Pubic Symphysis	J Pediatr Orthop. 2022 May-Jun;42(5):246-252.	Original Article
230	Yamate S, Hamai S, Kawahara S, et al.	整形外科	Multiple Imputation to Salvage Partial Respondents: Analysis of the Forgotten Joint Score-12 After Total Hip Arthroplasty	J Bone Joint Surg Am. 2022 Dec 21;104(24):2195-2203.	Original Article
231	Yin X, Kim K, Suetsugu H, et al	整形外科	Biological insights into systemic lupus erythematosus through an immune cell-specific transcriptome-wide association study	Ann Rheum Dis. 2022 May 24;81(9):1273-1280.	Original Article
232	Yasuharu Nakashima, Shojiro Ishibashi, Kenji Kitamura 他	整形外科	20-year hip survivorship and patient-reported outcome measures after transpositional osteotomy of the acetabulum for dysplastic hips	Bone Joint J. 2022 Jul;104-B(7):767-774.	Original Article
233	Kenji Miki, Mikako Yagi, Koji Yoshimoto, et al.	脳神経外科	Mitochondrial dysfunction and impaired growth of glioblastoma cell lines caused by antimicrobial agents inducing ferroptosis under glucose starvation	Oncogenesis. 2022 Oct 4;11(1):59.	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
234	Ryosuke Otsuji, Yutaka Fujioka, Nobuhiro Hata, et al.	脳神経外科	Liquid biopsy with multiplex ligation-dependent probe amplification targeting cell-free tumor DNA in cerebrospinal fluid from patients with adult diffuse glioma	Neurooncol Adv. 2022 Nov 25;5(1):vdac178.	Original Article
235	Yuhei Sangatsuda, Osamu Togao, Koji Yoshimoto	脳神経外科	[Central Nervous System Diseases That Are Difficult to Distinguish from Infection]	No Shinkei Geka. 2022 Sep;50(5):987-996.	Review
236	Nakamizo A, Amano T, Matsuo S, et al.	脳神経外科	Five-Year Changes in Cognitive Function and Their Predictor in Adult Moyamoya Disease	World Neurosurg. 2022 Sep;165:e346-e351.	Original Article
237	Nakamizo A, Miyamatsu Y, Hirose H, et al.	脳神経外科	Metabolic remodeling of pyrimidine synthesis pathway and serine synthesis pathway in human glioblastoma	Sci Rep. 2022 Sep 29;12(1):16277.	Original Article
238	Otsuji R, Amano T, Matsuo S, et al.	脳神経外科	Chronic Subdural Hematoma after Craniotomy with Preoperative Embolization of Middle Meningeal Artery: A Case Report	NMC Case Rep J. 2022 Jun 15;9:151-155.	Case report
239	Akiyama T, Imamura H, Goto M, et al.	脳神経外科	Pipeline flow diversion with adjunctive coil embolization for internal carotid artery aneurysms following an intradural component: results in 46 consecutive aneurysms from a Japanese single-center experience	Neurosurg Rev. 2022 Jun;45(3):2221-2230.	Original Article
240	Akiyama T, Hitotsumatsu T.	脳神経外科	First Bite Syndrome after Carotid Endarterectomy for High Carotid Bifurcation and Extensive Lesions: Two Case Reports and Literature Review	NMC Case Rep J. 2022 Aug 20;9:255-261.	Case report
241	Akiyama T, Okuda T, Inoha S.	脳神経外科	Lessons Learned from Mechanical Thrombectomy of an Acute Occlusion of a Duplicated Middle Cerebral Artery: A Case Report	Journal of Neuroendovascular Therapy. 2022 Jul; 16(10):510-514.(Online)	Case report
242	Akiyama T, Imamura H, Shigeyasu M, et al.	脳神経外科	PulseRider-assisted coil embolization for an unruptured internal carotid artery-persistent primitive trigeminal artery aneurysm	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2023 Feb;32(2):106876.	Case report
243	Ushijima T, Kimura S, Shiose A	心臓血管外科	Implantability of the MITRIS RESILIA Mitral Valve	Ann Thorac Surg. 2022 Apr;113(4):e295-e297.	Case report
244	Fujita S, Oda S, Ono T, et al	心臓血管外科	Double Valve Replacement After Ventricular Assist Device Implantation in a Fontan Patient	Ann Thorac Surg. 2022 Jun;113(6):e437-e439	Case report
245	Oda S, Fujita S, Tatewaki H, et al	心臓血管外科	Valve-Sparing Reimplantation for Right Coronary Artery Compression After Fontan Procedure	Ann Thorac Surg. 2022 Aug;114(2):e133-e135	Case report
246	Ushijima T, Tanoue Y, Sonoda H, et al	心臓血管外科	Potential of the EVAHEART 2 Double-Cuff Tipless Inflow Cannula for Prevention of Thromboembolic Events	ASAIO J. 2022 Oct 1;68(10):e168-e171.	Case report
247	Matsunaga S, Ushijima T, Sonoda H, et al	心臓血管外科	Redo Aortic Valve Replacement With Perceval Prosthesis via Minithoracotomy in a Patient With Permanent Tracheostoma and Tracheoesophageal Shunt	Innovations (Phila). 2022 Jul-Aug;17(4):352-354.	Case report

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
248	Hara J, Nitani C, Shichino H, et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター（小児外科）	Outcome of children with relapsed high-risk neuroblastoma in Japan and analysis of the role of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Jpn J Clin Oncol. 2022 May 5;52(5):486-492.	Original Article
249	Yoshimaru K, Tamaki A, Matsuura T, et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター（小児外科）	Palisading-like arrangement of immature ganglion cell in myenteric ganglia is a unique pathological feature of immaturity of ganglia	J Pediatr Surg. 2022 Jul;57(7):1269-1273. (オンライン)	Original Article
250	Yoshimaru K, Miyoshi K, Kinoshita Y, et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター（小児外科）	Immunohistochemistry reveals an increased number of ganglion cells in the normal-size plexus, as a pathological feature of immaturity of ganglia	Comparative Clinical Pathology, Online, 01 September 2022	Original Article
251	Sengoku Y, Higashi M, Nagayabu K, et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター（小児外科）	IL13 and periostin in active fibrogenic areas of the extrahepatic bile ducts in biliary atresia patients	Pediatr Surg Int. 2022 Dec;38(12):1847-1853.	Original Article
252	Kono J, Nagata K, Terui K, et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター（小児外科）	The efficacy of the postnatal nasogastric tube position as a prognostic marker of left-sided isolated congenital diaphragmatic hernia	Pediatr Surg Int. 2022 Dec;38(12):1873-1880. (オンライン)	Original Article
253	Omori A, Kawakubo N, Takemoto J, et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター（小児外科）	Effects of changes in skeletal muscle mass on the prognosis of pediatric malignant solid tumors	Pediatr Surg Int. 2022 Dec;38(12):1829-1838. (オンライン)	Original Article
254	Kondo K, Nagata K, Jimbo T, et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター（小児外科）	"A salvage technique using a fibrous sheath to avoid the loss of the central veins in cases of pediatric intestinal failure"	Pediatr Surg Int. 2022 Dec;38(12):1855-1860. (オンライン)	Original Article
255	Kambe K, Iguchi M, Higashi M, et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター（小児外科）	Development of minimally invasive cancer immunotherapy using anti-disialoganglioside GD2 antibody-producing mesenchymal stem cells for a neuroblastoma mouse model	Pediatr Surg Int. 2022 Dec 9;39(1):43.	Original Article
256	Kono J, Yoshimaru K, Kondo T, et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター（小児外科）	The Volume of Intestinal Decompression can Predict the Necessity of Surgical Intervention for Adhesive Small Bowel Obstruction	J Pediatr Surg. 2023 Feb 16;S0022-3468(23)00088-X. (オンライン)	Original Article

小計：9件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
257	Fukuta A, Nagata K, Tamaki A, et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター（小児外科）	Necrotizing enterocolitis associated with food protein-induced enterocolitis syndrome: A case report	Int J Surg Case Rep. 2023 Feb;103:107885.	Case report
258	Kono J, Yoshimaru K, Matsuura T, et al	小児外科、成育外科、小腸移植外科・総合周産期母子医療センター（小児外科）	COVID19 detection in appendix of acute appendicitis in a child: a case report and review of literature	Surg Case Rep. 2023 Mar 14;9(1):37.	Case report
259	Nakahara T, Izuhara K, Onozuka D, et al.	皮膚科・油症ダイオキシシン研究診療センター	Exploring biomarkers to predict clinical improvement of atopic dermatitis in patients treated with dupilumab (B-PAD study)	Clin Exp Allergy. 2023 Feb;53(2):233-238.	Original Article
260	Nakahara T, Takemoto S, Houzawa H, et al.	皮膚科・油症ダイオキシシン研究診療センター	Desire for Alternative Treatment Options in Patients with Atopic Dermatitis in Japan: Results of a Web-Based Cross-Sectional Study (AD-JOIN Study)	Dermatol Ther (Heidelb). 2022 Jun;12(6):1383-1396.	Original Article
261	Tsuji G, Hashimoto-Hachiya A, Matsuda-Taniguchi T, et al.	皮膚科・油症ダイオキシシン研究診療センター	Natural Compounds Tapinarof and Galactomyces Ferment Filtrate Downregulate IL-33 Expression via the AHR/IL-37 Axis in Human Keratinocytes	Front Immunol. 2022 May 19;13:745997.	Original Article
262	Ito T, Hashimoto H, Tanaka Y, Tanegashima K, et al.	皮膚科・油症ダイオキシシン研究診療センター	NECTIN4 expression in sebaceous and sweat gland carcinoma	Eur J Dermatol. 2022 Apr 1;32(2):181-186.	Original Article
263	Takei I, Ito T, Mori T, et al.	皮膚科・油症ダイオキシシン研究診療センター	Subcutaneous Thyroid Tissue Implantation after Thyroidectomy: A Mimic of Benign Cutaneous Tumours	Acta Derm Venereol. 2023 Jan 5;103:adv00842.	Original Article
264	Honda R, Suenaga A, Nakahara T, et al.	皮膚科・油症ダイオキシシン研究診療センター	Atopic dermatitis refractory to dupilumab but markedly responsive to baricitinib	Eur J Dermatol. 2022 Sep 1;32(5):649-650.	Original Article
265	Ulzii D, Nakahara T, Furue M, et al.	皮膚科・油症ダイオキシシン研究診療センター	Severity strata of patient-oriented eczema measure scores in patients with atopic dermatitis in Mongolia	Int J Dermatol. 2022 Dec;61(12):e469-e472.	Letter
266	Yamamura K, Nakahara T.	皮膚科・油症ダイオキシシン研究診療センター	The Dawn of a New Era in Atopic Dermatitis Treatment	J Clin Med. 2022 Oct 18;11(20):6145.	Review
267	Yan X, Tsuji G, Hashimoto-Hachiya A, et al.	皮膚科・油症ダイオキシシン研究診療センター	Galactomyces Ferment Filtrate Potentiates an Anti-Inflammatory System in Keratinocytes	J Clin Med. 2022 Oct 27;11(21):6338.	Review
268	Hashimoto H, Tanaka Y, Murata M, et al.	皮膚科・油症ダイオキシシン研究診療センター	Nectin-4: a Novel Therapeutic Target for Skin Cancers	Curr Treat Options Oncol. 2022 Apr;23(4):578-593.	Review
269	Hashimoto H, Ito T.	皮膚科・油症ダイオキシシン研究診療センター	Current Management and Treatment of Extramammary Paget's Disease	Curr Treat Options Oncol. 2022 Jun;23(6):818-830.	Review

小計：13件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
270	Blas L, Shiota M, Nakamura M, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	External Validation of a Prognostic Model Predicting Metastatic Castration-Resistant Prostate Cancer Survival in Patients Receiving Post-Docetaxel Second-Line Chemotherapy	JMA J. 2022 Apr 15;5(2):224-229.	Original Article
271	Blas L, Shiota M, Nagakawa S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Validation of models predicting lymph node involvement probability in patients with prostate cancer	Int J Urol. 2022 May;29(5):428-434.	Original Article
272	Tsukahara S, Shiota M, Takamatsu D, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Cancer genomic profiling identified dihydropyrimidine dehydrogenase deficiency in bladder cancer promotes sensitivity to gemcitabine	Sci Rep. 2022 May 20;12(1):8535.	Original Article
273	Ushijima M, Shiota M, Matsumoto T, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	An oral first-in-class small molecule RSK inhibitor suppresses AR variants and tumor growth in prostate cancer	Cancer Sci. 2022 May;113(5):1731-1738.	Original Article
274	Mutaguchi J, Morooka K, Kobayashi S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Artificial Intelligence for Segmentation of Bladder Tumor Cystoscopic Images Performed by U-Net with Dilated Convolution	J Endourol. 2022 Jun;36(6):827-834.	Original Article
275	Shiota M, Takamatsu D, Kimura T, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Radiotherapy plus androgen deprivation therapy for prostate-specific antigen persistence in lymph node-positive prostate cancer	Cancer Sci. 2022 Jul;113(7):2386-2396.	Original Article
276	Shiota M, De Moor R, Koroki Y, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Assessing the correlation between second progression-free survival (PFS2) and overall survival (OS) in advanced prostate cancer patients using medical data vision (MDV) claims database in Japan	Curr Med Res Opin. 2022 Aug;38(8):1351-1359.	Original Article
277	Kashiwagi E, Shiota M, Lee K, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Psoas Muscle Volume Is a Predictive Marker of Fatigue and Anorexia in Prostate Cancer Patients Treated with Enzalutamide	JMA J. 2022 Oct 17;5(4):491-497.	Original Article
278	Kashiwagi E, Shiota M, Naganuma H, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Testosterone level in seminal vesicle fluid is a better indicator of erectile function than serum testosterone in patients with prostate cancer	Int J Urol. 2022 Oct;29(10):1155-1162.	Original Article
279	Lee K, Takahashi R, Imada K, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Initial experience with vibegron for the treatment of neurogenic lower urinary tract storage dysfunction in patients with spinal cord injury	Continence 4:2022 Dec; 100516.	Original Article
280	Blas L, Shiota M, Takamatsu D, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Novel nomogram to predict biochemical recurrence-free survival after radical prostatectomy	World J Urol. 2023 Jan;41(1):43-50.	Original Article
281	Blas L, Shiota M, Nagakawa S, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Validation of user-friendly models predicting extracapsular extension in prostate cancer patients	Asian J Urol. 2023 Jan;10(1):81-88.	Original Article
282	Kaitsumaru M, Shiota M, Takamatsu D, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Interstitial pneumonia after regression by olaparib for neuroendocrine prostate cancer with BRCA1 mutation: a case report	Int Cancer Conf J. 2023 Jan 3;12(2):131-136.	Case report
283	Matsumoto T, Hori Y, Shiota M, et al.	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	Effectiveness and safety of radium-223 dichloride in patients with castration-resistant prostate cancer and bone metastases in real-world practice: A multi-institutional study	Int J Urol. 2023 Feb;30(2):139-146.	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
284	WI,NS,FY et al	眼科	Persistence of vascular empty sleeves in choroidal neovascularization after VEGF therapy in both animal models and humans	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2023 Mar 4.	Original Article
285	YS,HE,AT et al.	眼科	Long-term outcomes of infliximab in patients with Behçet's disease-associated uveitis	Int Ophthalmol. 2023 Mar;43(3):937-944.	Original Article
286	HS,YM,KF et al.	眼科	Secular trends in the prevalence, incidence, and progression of diabetic retinopathy: the Hisayama Study	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2023 Mar;261(3):641-649.	Original Article
287	FY,AM,MY et al.	眼科	Rhodopsin-positive cell production by intravitreal injection of small molecule compounds in mouse models of retinal degeneration	PLoS One. 2023 Feb 23;18(2):e0282174.	Original Article
288	AM,SS,TA et al.	眼科	Genome-wide association study reveals BET1L associated with survival time in the 137,693 Japanese individuals	Commun Biol. 2023 Feb 3;6(1):143.	Original Article
289	YM,NS,WI et al.	眼科	Identifying Hyperreflective Foci in Diabetic Retinopathy via VEGF-Induced Local Self-Renewal of CX3CR1+ Vitreous Resident Macrophages	Diabetes. 2022 Dec 1;71(12):2685-2701.	Original Article
290	FT,IK,SS et al.	眼科	Spatial pattern of retinal pigment epithelium tear development and progression after anti-vascular endothelial growth factor therapy for neovascular age-related macular degeneration	Retin Cases Brief Rep. 2022 Nov 28.	Case report
291	FK,YM,HJ et al.	眼科	Prevalence of Glaucoma and Its Systemic Risk Factors in a General Japanese Population: The Hisayama Study	Transl Vis Sci Technol. 2022 Nov 1;11(11):11.	Original Article
292	SY,KY,WJ et al.	眼科	Likely pathogenic structural variants in genetically unsolved patients with retinitis pigmentosa revealed by long-read sequencing	J Med Genet. 2022 Nov;59(11):1133-1138.	Original Article
293	FY,NS,KY et al.	眼科	Morphology and fluorescein leakage in diabetic retinal microaneurysms: a study using multiple en face OCT angiography image averaging	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2022 Nov;260(11):3517-3523.	Original Article
294	SM,YN,MD et al.	眼科	Intraocular human cytomegaloviruses of ocular diseases are distinct from those of viremia and are capable of escaping from innate and adaptive immunity by exploiting HLA-E-mediated peripheral and central tolerance	Front Immunol. 2022 Oct 19;13:1008220.	Original Article
295	WI,NS,AM et al	眼科	Hyperreflective Membrane at the Vitreoretinal Interface in Diabetic Macular Edema: A Finding in Ultra-High-Resolution Optical Coherence Tomography	Transl Vis Sci Technol. 2022 Sep 1;11(9):21.	Original Article
296	TA,ST,YA et al.	眼科	Panuveitis induced by donor-derived CD8+ T cells after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for adult T-cell leukemia	Am J Ophthalmol Case Rep. 2022 Aug 5;27:101673.	Case report
297	MK,IK,FY et al.	眼科	TNFRSF10A downregulation induces retinal pigment epithelium degeneration during the pathogenesis of age-related macular degeneration and central serous chorioretinopathy	Hum Mol Genet. 2022 Jul 7;31(13):2194-2206.	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
298	UE,FK,HS et al.	眼科	Association of Inner Retinal Thickness with Prevalent Dementia and Brain Atrophy in a General Older Population: The Hisayama Study	Ophthalmol Sci. 2022 Apr 19;2(2):100157.	Original Article
299	NS,FK,YN et al.	眼科	Long-term Outcomes of Cataract Surgery in Patients with Retinitis Pigmentosa	Ophthalmol Retina. 2022 Apr;6(4):268-272.	Original Article
300	M.N,N.T,N.T et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Orientation of the Cochlea From a Surgeon's Perspective	Otology & Neurotology Open. 2(3):e017, 2022 Sep	Original Article
301	M.M,H.K,J.R et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Inflammation-based Prognostic Score as a Prognostic Biomarker in Patients With Recurrent and/or Metastatic Head and Neck Squamous Cell Carcinoma Treated With Nivolumab Therapy	In Vivo. 2022 Mar-Apr;36(2):907-917.	Original Article
302	M.M,H.K,J.R et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Five-year Follow-up of Patients With Head and Neck Cancer Treated With Nivolumab and Long-term Responders for Over Two Years.	In Vivo. 2022 Jul-Aug;36(4):1881-1886.	Original Article
303	K.R,K.N,N.T et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Individualized circulating tumor DNA monitoring in head and neck squamous cell carcinoma	Cancer Med. 2022 Nov;11(21):3960-3968.	Original Article
304	J.R,H.T,H.K et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	A clinical analysis of oropharyngeal squamous cell carcinoma: a single-institution's experience	Eur Arch Otorhinolaryngol. 2022 Jul;279(7):3717-3725.	Original Article
305	J.R,N.T	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Advanced Nasopharyngeal Carcinoma: Current and Emerging Treatment Options	Cancer Manag Res. 2022 Sep 12;14:2681-2689.	Review
306	M.M,H.K,J.R et al	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Delayed pharyngocutaneous fistula caused by molecular targeted therapy: a case report	J Med Case Rep. 2022 Oct 22;16(1):383.	Case report
307	Kikuchi Y, Togao O, Kikuchi K, et al.	放射線科	A deep convolutional neural network-based automatic detection of brain metastases with and without blood vessel suppression	Eur Radiol. 2022 May;32(5):2998-3005.	Original Article
308	Takase H, Togao O, Kikuchi K, et al.	放射線科	Gamma distribution model of diffusion MRI for evaluating the isocitrate dehydrogenase mutation status of glioblastomas	Br J Radiol. 2022 May 1;95(1133):20210392.	Original Article
309	Kikuchi K, Togao O, Yamashita K, et al.	放射線科	Quantitative relaxometry using synthetic MRI could be better than T2-FLAIR mismatch sign for differentiation of IDH-mutant gliomas: a pilot study	Sci Rep. 2022 Jun 2;12(1):9197.	Original Article
310	Hino T, Tsunomori A, Fukumoto T, et al.	放射線科	Vector-Field dynamic X-ray (VF-DXR) using Optical Flow Method	Br J Radiol. 2022 Apr 1;95(1132):20201210.	Original Article
311	Yamasaki Y, Moriyama S, Tatsumoto R, et al.	放射線科	Chronic thromboembolic pulmonary hypertension after acute pulmonary thromboembolism revealed by dynamic chest radiography	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2022 Jun 1;23(6):e264-e265.	Case report

小計：14件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
312	Wakiyama H, Furusawa A, Okada R, et al.	放射線科	Opening up new VISTAs: V-domain immunoglobulin suppressor of T cell activation (VISTA) targeted near-infrared photoimmunotherapy (NIR-PIT) for enhancing host immunity against cancers	Cancer Immunol Immunother. 2022 Dec;71(12):2869–2879.	Original Article
313	Yamashita K, Kamei R, Sugimori H, et al.	放射線科	Interobserver Reliability on Intravoxel Incoherent Motion Imaging in Patients with Acute Ischemic Stroke	AJNR Am J Neuroradiol. 2022 May;43(5):696–700.	Original Article
314	Yamashita K, Wada N, Shin S, et al.	放射線科	Right adrenal vein identification using unenhanced magnetic resonance imaging	Pol J Radiol. 2022 Nov 2;87:e592–e596.	Original Article
315	Kusunoki M, Nakayama T, Nishie A, et al.	放射線科	A deep learning-based approach for the diagnosis of adrenal adenoma: a new trial using CT	Br J Radiol. 2022 Jul 1;95(1135):20211066.	Original Article
316	Togao O, Obara M, Yamashita K, et al.	放射線科	Assessment of cerebral perfusion in moyamoya disease with dynamic pseudo-continuous arterial spin labeling using a variable repetition time scheme with optimized background suppression	Neuroradiology. 2023 Mar;65(3):529–538.	Original Article
317	Yamashita K, Sugimori H, Nakamizo A, et al.	放射線科	Different hemodynamics of basal ganglia between moyamoya and non-moyamoya diseases using intravoxel incoherent motion imaging and single-photon emission computed tomography	Acta Radiol. 2023 Feb;64(2):769–775.	Original Article
318	Yamasaki Y, Hosokawa K, Abe K, et al.	放射線科	Dynamic Chest Radiography of Acute Pulmonary Thromboembolism	Radiol Cardiothorac Imaging. 2022 Jul 28;4(4):e220086.	Original Article
319	Yamasaki Y, Abe K, Kamitani T, et al.	放射線科	Efficacy of Dynamic Chest Radiography for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension	Radiology. 2023 Mar;306(3):e220908.	Original Article
320	Shirozu K, Nobukuni K, Tsumura S, et al.	麻酔科蘇生科・手術部	Neurological sedative indicators during general anesthesia with remimazolam	J Anesth. 2022 Apr;36(2):194–200.	Original Article
321	Mizuta Y, Akahoshi T, Eto H, et al.	麻酔科蘇生科・手術部	Noninvasive Diagnosis of the Mitochondrial Function of Doxorubicin-Induced Cardiomyopathy Using In Vivo Dynamic Nuclear Polarization-Magnetic Resonance Imaging	Antioxidants (Basel). 2022 Jul 26;11(8):1454.	Original Article
322	Umehara K, Karashima Y, Yoshizumi T, et al.	麻酔科蘇生科・手術部	Factors Associated With Postreperfusion Syndrome in Living Donor Liver Transplantation: A Retrospective Study	Anesth Analg. 2022 Aug 1;135(2):354–361.	Original Article
323	Ishibashi T, Sueto D, Yoshikawa Y, et al.	麻酔科蘇生科・手術部	Identification of Spinal Inhibitory Interneurons Required for Attenuating Effect of Duloxetine on Neuropathic Allodynia-like Signs in Rats	Cells. 2022 Dec 14;11(24):4051.	Original Article
324	Ishibashi T, Yoshikawa Y, Sueto D, et al.	麻酔科蘇生科・手術部	Selective Involvement of a Subset of Spinal Dorsal Horn Neurons Operated by a Prodynorphin Promoter in a β Fiber-Mediated Neuropathic Allodynia-Like Behavioral Responses in Rats	Front Mol Neurosci. 2022 Jun 23;15:911122.	Original Article
325	Shirozu K, Yamaura K	麻酔科蘇生科・手術部	The relationship between EMG and processed EEG	J Anesth. 2022 Jun;36(3):445–446.	Letter

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
326	Matsushita H, Fujiyoshi T, Yoshimaru K, et al	麻酔科蘇生 科・手術部	Anesthesia management in living-donor liver transplantation in a patient with carbamoyl phosphate synthetase deficiency: a case report	JA Clin Rep. 2022 Sep 7;8(1):71.	Case report
327	Chikama Y, Maeda A, Tanaka R, et al	麻酔科蘇生 科・手術部	Cervical selective nerve root injection alleviates chronic refractory pain after brachial plexus avulsion: a case report	JA Clin Rep. 2022 Oct 12;8(1):84.	Case report
328	Sumie M, Kameyama N, Akasaka T, et al	麻酔科蘇生 科・手術部	Anesthetic management of hepatectomy for the patient with Fontan circulation: a case series	JA Clin Rep. 2022 Dec 9;8(1):94.	Case report
329	Ernst J Schaefer *, Hiroaki Ikezaki *, Margaret R Diffenderfer, et al.* joint first authorship	総合診療科	Atherosclerotic cardiovascular disease risk and small dense low-density lipoprotein cholesterol in men, women, African Americans and non-African Americans: The pooling project	Atherosclerosis. 2023 Feb;367:15-23.	Original Article
330	Hiroaki Ikezaki, Hideyuki Nomura, Nobuyuki Shimono.	総合診療科	Dynamics of anti-spike IgG antibody after a third BNT162b2 COVID-19 vaccination in Japanese health care workers	Heliyon. 2022 Dec;8(12):e12125.	Original Article
331	Sasaki K, Murata M, Nakamura K, et al	総合診療科	A case of severe COVID-19 with pulmonary thromboembolism related to heparin-induced thrombocytopenia during prophylactic anticoagulation therapy	J Infect Chemother. 2022 Aug;28(8):1208- 1211.	Case report
332	Ogawa E, Nakamuta M, Koyanagi T, et al	総合診療科	Sequential HBV treatment with tenofovir alafenamide for patients with chronic hepatitis B: week 96 results from a real-world, multicenter cohort study	Hepatol Int. 2022 Apr;16(2):282-293.	Original Article
333	Ogawa E, Nakamuta M, Koyanagi T, et al	総合診療科	Switching to tenofovir alafenamide for nucleos(t)ide analogue-experienced patients with chronic hepatitis B: week 144 results from a real-world, multi-centre cohort study	Aliment Pharmacol Ther. 2022 Aug;56(4):713- 722.	Original Article
334	Ogawa E	総合診療科	Editorial: switching to tenofovir alafenamide monotherapy is effective and safe for other nucleos(t)ide analogues- treated patients with chronic hepatitis B - author's reply	Aliment Pharmacol Ther. 2022 Sep;56(6):1092- 1093.	Letter
335	Ogawa E, Chien N, Kam L, et al	総合診療科	Association of Direct-Acting Antiviral Therapy With Liver and Nonliver Complications and Long-term Mortality in Patients With Chronic Hepatitis C	JAMA Intern Med. 2023 Feb 1;183(2):97-105.	Original Article
336	Ohta A, Ogawa E, Murata M, et al	総合診療科	Impact of the PNPLA3 genotype on the risk of hepatocellular carcinoma after hepatitis C virus eradication	J Med Virol. 2022 Oct;94(10):5007-5014.	Original Article
337	Kadota H,Shimamoto R, Fukushima S,他	形成外科	Videofluorographic Analysis of Swallowing Function after Total Glossectomy	Plast Reconstr Surg. 2022 Nov 1;150(5):1057e-1061e.	Original Article
338	Kadota H,Yoshida T	形成外科	Infrayoid myofascial flap transfer for the prevention of concave deformity and gustatory sweating after parotidectomy	Auris Nasus Larynx. 2022 Jun;49(3):484-494.	Original Article
339	Watanabe E, Mukae N, Sakata A, et al	検査部	High frequency oscillation analysis of intracranial 14 and 6 Hz-positive spikes and interictal epileptiform discharges in a patient with occipital lobe epilepsy	Epilepsy & Seizure. 14. 10-16. 2022/04/20	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
340	Setoyama D, Lee HY, Moon JS, et al	検査部	Immunometabolic signatures predict recovery from thyrotoxic myopathy in patients with Graves' disease	J Cachexia Sarcopenia Muscle. 13. 355-367. 2022	Original Article
341	Tsukasa Kojima, Takashi Shirasaka, Yuzo Yamasaki, et al.	放射線部	Importance of the heart rate in ultra-high-resolution coronary CT angiography with 0.35 s gantry rotation time	Jpn J Radiol. 2022 Aug;40(8):781-790.	Original Article
342	Daisuke Nishigake, Yuzo Yamasaki, Kenichiro Yamamura, et al.	放射線部	High-resolution systolic T1 mapping with compressed sensing for the evaluation of the right ventricle: a phantom and volunteer study	The international journal of cardiovascular imaging;2022 Apr;38:2219-2225	Original Article
343	Hiroshi Yoshitani, Toshioh Fujibuchi, Choirul Anam	放射線部	Visualization of dose distribution and basic study of dose estimation using plastic scintillator and digital camera	Biomed Phys Eng Express. 2022 Jul 13;8(5).	Original Article
344	Koji Oura, Noriaki Ikeda, Yongsu Yoon, et al.	放射線部	Potential for personal identification using the volume of the mastoid air cells extracted from postmortem computed tomographic images	Leg Med (Tokyo). 2022 Sep;58:102060.	Original Article
345	Chiaki Tokunaga, Tatsuhiko Wada, Osamu Togao, et al.	放射線部	Effect of Saturation Pulse Duration and Power on pH-weighted Amide Proton Transfer Imaging: A Phantom Study	Magn Reson Med Sci. 2022 Sep 1. (Online)	Original Article
346	Tatsuhiko Wada, Chiaki Tokunaga, Osamu Togao, et al.	放射線部	Three-dimensional chemical exchange saturation transfer imaging using compressed SENSE for full z-spectrum acquisition	Magn Reson Imaging. 2022 Oct;92:58-66.	Original Article
347	Yuki Sakai, Tomoyuki Hida, Yuko Matsuura, et al.	放射線部	Impact of a new deep-learning-based reconstruction algorithm on image quality in ultra-high-resolution CT: clinical observational and phantom studies	Br J Radiol. 2023 Jan 1;96(1141):20220731.	Original Article
348	Jun-ichi Fukunaga, Mikoto Tamura, Yoshihiro Ueda, et al.	放射線部	Multi-institution model (big model) versus single-institution model of knowledge-based volumetric modulated arc therapy (VMAT) planning for prostate cancer	Sci Rep. 2022 Sep 10;12(1):15282.	Original Article
349	Tatsuhiko Wada, Osamu Togao, Chiaki Tokunaga, et al.	放射線部	Grading of gliomas using 3D CEST imaging with compressed sensing and sensitivity encoding	Eur J Radiol. 2023 Jan;158:110654.	Original Article
350	Yui Kanzaki, Taku Kuramoto, Shinya Takarabe, et al.	放射線部	Effect of high- and low-energy entrance surface dose allocation ratio for two-shot dual-energy subtraction imaging on low-contrast resolution	Radiography (Lond). 2023 Jan;29(1):240-246.	Original Article
351	Yuna Katsuyama, Tsukasa Kojima, Takashi Shirasaka, et al.	放射線部	Characteristics of the deep learning-based virtual monochromatic image with fast kilovolt-switching CT: a phantom study	Radiol Phys Technol. 2023 Mar;16(1):77-84.	Original Article
352	Maki J, Sumie M, Ide T. et al	救命救急センター・集中治療部	A pressure-resistant peripherally inserted central catheter is as useful as a central venous catheter for rapid fluid infusion: an in vitro study	BMC Anesthesiol. 2022 Jul 4;22(1):205.	Original Article
353	Tomohiko Akahoshi, Noriyuki Kaku, Yuji Shono, et al.	救命救急センター・集中治療部	Impact of Antithrombin Activity Levels Following Recombinant Antithrombin Gamma Therapy in Patients with Sepsis-Induced Disseminated Intravascular Coagulation	Clin Appl Thromb Hemost. 2022 Jan-Dec;28:10760296221135790	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
354	Nishihara M, Hiasa K, Enzan N, et al.	救命救急センター・集中治療部	Hyperoxemia is Associated With Poor Neurological Outcomes in Patients With Out-of-Hospital Cardiac Arrest Rescued by Extracorporeal Cardiopulmonary Resuscitation: Insight From the Nationwide Multicenter Observational JAAM-OHCA (Japan Association for Acute Medicine) Registry	J Emerg Med. 2022 Aug;63(2):221-231.	Original Article
355	Hongo T, Yamamoto H, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	High-risk HPV-related Squamous Cell Carcinoma in the Conjunctiva and Lacrimal sac: Clinicopathologic Characteristics and Diagnostic Utility of p16 and Rb Immunohistochemistry	Am J Surg Pathol. 2022 Jul 1;46(7):977-987.	Original Article
356	Ishihara S, Yamamoto H, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Histological and immunohistochemical features and genetic alterations in the malignant progression of giant cell tumor of bone: a possible association with TP53 mutation and loss of H3K27 trimethylation	Mod Pathol. 2022 May;35(5):640-648.	Original Article
357	Kiyozawa D, Kohashi K, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Approach for reclassification of collecting duct carcinoma and comparative histopathological analysis with SMARCB1/INI1-deficient renal cell carcinoma and fumarate hydratase-deficient renal cell carcinoma	Hum Pathol. 2022 Jun;124:36-44.	Review
358	Magarifuchi N, Yamada Y, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Neuroectodermal Rosettes in Immature Teratomas Are Not the Counterpart of Embryonal Tumours With Multilayered Rosettes	Anticancer Res. 2022 Sep;42(9):4337-4344.	Original Article
359	Sakihama K, Koga Y, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	RNF43 as a predictor of malignant transformation of pancreatic mucinous cystic neoplasm	Virchows Arch. 2022 Jun;480(6):1189-1199.	Original Article
360	Sasaki T, Kohashi K, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Tumor progression by epithelial-mesenchymal transition in ARID1A- and SMARCA4-aberrant solid-type poorly differentiated gastric adenocarcinoma	Virchows Arch. 2022 May;480(5):1063-1075.	Original Article
361	Yamada Y, Kinoshita I, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Myxoid type and non-myxoid type of intimal sarcoma in large vessels and heart: review of histological and genetic profiles of 20 cases	Virchows Arch. 2022 Apr;480(4):919-925.	Original Article
362	Yamada Y, Kohashi K, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Histological background of dedifferentiated solitary fibrous tumour	J Clin Pathol. 2022 Jun;75(6):397-403.	Original Article
363	Yamamoto T, Kohashi K, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Relationship between cellular morphology and abnormality of SWI/SNF complex subunits in pancreatic undifferentiated carcinoma	J Cancer Res Clin Oncol. 2022 Nov;148(11):2945-2957.	Original Article
364	Takamatsu D, Kohashi K, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	TFE3-immunopositive papillary renal cell carcinoma: A clinicopathological, immunohistochemical, and genetic study	Pathol Res Pract. 2023 Feb;242:154313.	Review
365	Toda Y, Yamamoto H, Oda Y, et al.	病理診断科・病理部	Expression of SATB2, RUNX2, and SOX9 and possible osteoblastic and chondroblastic differentiation in chondroblastoma	Pathol Res Pract. 2023 Jan;241:154239.	Original Article
366	Hasegawa K, Fujii S, Kurppa KJ et al	病理診断科・病理部	Clear cell squamous cell carcinoma of the tongue exhibits characteristics as an undifferentiated squamous cell carcinoma	Pathol Res Pract. 2022 Jul;235:153909.	Case report
367	Fujii S, Fujimoto T, Hasegawa K et al	病理診断科・病理部	The Semaphorin 3A-AKT axis-mediated cell proliferation in salivary gland morphogenesis and adenoid cystic carcinoma pathogenesis	Pathol Res Pract. 2022 Aug;236:153991.	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
368	Nagano R, Fujii S, Hasegawa K et al	病理診断科・病理部	Wnt signaling promotes tooth germ development through YAP1-TGF- β signaling	Biochem Biophys Res Commun. 2022 Nov 19;630:64-70.	Original Article
369	Nagano R, Fujii S, Wada H et al	病理診断科・病理部	Lipomatous mixed tumor of the skin with cystic formation affecting the upper lip: A case report	Exp Ther Med. 2022 Sep 7;24(5):664.	Case report
370	Honda H, Yoshimura M, Arahata H et al.	病理診断科・病理部	Mutated FUS in familial amyotrophic lateral sclerosis involves multiple hnRNPs in the formation of neuronal cytoplasmic inclusions	J Neuropathol Exp Neurol. 2023 Feb 21;82(3):231-241.	Original Article
371	Hamasaki H, Maeda N, Sasagasaki N et al.	病理診断科・病理部	Neuropathology of classic myotonic dystrophy type 1 is characterized by both early initiation of primary age-related tauopathy of the hippocampus and unique 3-repeat tauopathy of the brainstem	J Neuropathol Exp Neurol. 2022 Dec 19;82(1):29-37.	Original Article
372	Kikushige Y, Miyamoto T, Kochi Y, et al	遺伝子・細胞療法部	Human acute leukemia utilizes branched-chain amino acid catabolism to maintain stemness through regulating PRC2 function	Blood Adv. 2022 Aug 31;bloodadvances.202208242. (オンライン)	Original Article
373	Tasuku Okui, Yoko Sato, et, al.	メディカル・インフォメーションセンター	Association of maternal nationality with preterm birth and low birth weight rates: analysis of nationwide data in Japan from 2016 to 2020	Matern Health Neonatol Perinatol. 2023 Mar 8;9(1):3.	Others
374	Tasuku Okui, Naoki Nakashima	メディカル・インフォメーションセンター	Analysis of association between low birth weight and socioeconomic deprivation level in Japan: an ecological study using nationwide municipal data	Matern Health Neonatol Perinatol. 2022 Oct 6;8(1):8.	Others
375	Akie Hirata, Shin Ishikane, Fumi Takahashi-Yanaga, et, al.	メディカル・インフォメーションセンター	Increased risk of metastasis in patients with incidental use of renin-angiotensin system inhibitors: a retrospective analysis for multiple types of cancer based on electronic medical records	Hypertens Res. 2022 Dec;45(12):1869-1881.	Original Article
376	Rafiqul Islam Maruf, Ashir Ahmed, Fumihiko Yokota, et, al.	メディカル・インフォメーションセンター	Bangladesh: eHealth and Telemedicine	Nursing Informatics:2022Jul;689-707.	Original Article
377	Tasuku Okui, Tetsuya Matoba, Naoki Nakashima	メディカル・インフォメーションセンター	The association between the socioeconomic deprivation level and ischemic heart disease mortality in Japan: an analysis using municipality-specific data	Epidemiol Health. 2022 Jul;44:e2022059.	Others
378	Rafiqul Islam, Fumihiko Yokota, Kimiyo Kikuchi, et, al.	メディカル・インフォメーションセンター	Standardization of Personal Health Records in the Portable Health Clinic System	Stud Health Technol Inform. 2022 Jun 6;290:163-167.	Original Article
379	Rafiqul Islam, Fumihiko Yokota, Mariko Nishikitani, et, al.	メディカル・インフォメーションセンター	Portable health clinic COVID-19 system for remote patient follow-up ensuring clinical safety	Comput Methods Programs Biomed Update. 2022 Jun;2:100061.	Original Article
380	Tasuku Okui, Akie Hirata, Naoki Nakashima	メディカル・インフォメーションセンター	Association of Esophageal Cancer Mortality with Municipal Socioeconomic Deprivation Level in Japan, 2013-2017: An Ecological Study Using Nationwide Data	Int J Environ Res Public Health. 2022 Apr 30;19(9):5483.	Others
381	Toshida K, Itoh S, Harada N, et al	光学医療診療部	Cancer-associated fibroblasts promote tumor cell growth via miR-493-5p in intrahepatic cholangiocarcinoma	Cancer Sci. 2023 Mar;114(3):937-947.	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
382	Morioka H, Ohge H, Nagao M, et al.	グローバル感染症センター	Appropriateness of surgical antimicrobial prophylaxis in Japanese university hospitals	J Hosp Infect. 2022 Nov;129:189-197.	Original Article
383	Kayama S, Yu L, Kawakami S, et al.	グローバル感染症センター	Emergence of blaNDM-5-Carrying Klebsiella aerogenes in Japan	Microbiol Spectr. 2022 Jun 29;10(3):e0222221.	Original Article
384	Oka K, Matsumoto A, Tetsuka N, et al.	グローバル感染症センター	Clinical characteristics and treatment outcomes of carbapenem-resistant Enterobacterales infections in Japan	J Glob Antimicrob Resist. 2022 Jun;29:247-252	Original Article
385	Nonami A, Matsuo R, Funakoshi K, et al.	先端分子・細胞治療科	Prospective study of adoptive activated $\alpha\beta$ T lymphocyte immunotherapy for refractory cancers: development and validation of a response scoring system	Cytotherapy. 2023 Jan;25(1):76-81.	Original Article
386	Uehara T, Watanabe S, Yamaguchi S, et al.	先端分子・細胞治療科	Translocation of nuclear chromatin distribution to the periphery reflects dephosphorylated threonine-821/826 of the retinoblastoma protein (pRb) in T24 cells treated with Bacillus Calmette-Guérin	Cytotechnology. 2023 Feb;75(1):49-62.	Original Article
387	Zhang M, Tajima S, Shigematsu T, et al.	薬剤部	Development and Validation of A Liquid Chromatography-Tandem Mass Spectrometry Method to Simultaneously Measure Tacrolimus and Everolimus Concentrations in Kidney Allograft Biopsies After Kidney Transplantation	Ther Drug Monit. 2022 Apr 1;44(2):275-281.	Original Article
388	Yamada T, Soda M, Nishida R, et al.	薬剤部	Simplified daptomycin dosing regimen for adult patients with methicillin-resistant Staphylococcus aureus infections based on population pharmacokinetic analysis	Drug Metab Pharmacokinet. 2022 Jun;44:100444.	Original Article
389	Yamada T, Emoto C, Fukuda T, et al.	薬剤部	Optimal Teicoplanin Dosing Regimen in Neonates and Children Developed by Leveraging Real-World Clinical Information	Ther Drug Monit. 2022 Jun 1;44(3):404-413.	Original Article
390	Matsukane R, Suetsugu K, Hirota T, et al.	薬剤部	Clinical Pharmacokinetics and Pharmacodynamics of Fostamatinib and Its Active Moiety R406	Clin Pharmacokinet. 2022 Jul;61(7):955-972.	Review
391	Zhang M, Tajima S, Suetsugu K, et al.	薬剤部	Development and Validation of an LC-MS/MS Method to Quantify Gilteritinib and Its Clinical Application in Patients With FLT3 Mutation-Positive Acute Myelogenous Leukemia	Ther Drug Monit. 2022 Aug 1;44(4):592-596.	Original Article
392	Zhang W, Matsukane R, Egashira N, et al.	薬剤部	Neuroprotective effects of ibudilast against tacrolimus induced neurotoxicity	Toxicol Appl Pharmacol. 2022 Aug 15;449:116112.	Original Article
393	Tsuji T, Nagata K, Sasaki K, et al.	薬剤部	Analysis of the thinking process of pharmacists in response to changes in the dispensing environment using the eye-tracking method	J Pharm Health Care Sci. 2022 Sep 1;8(1):23. (オンライン)	Original Article
394	Kudo K, Kudo T, Ueda S, et al.	国際医療部	The administrative burden on physicians and technicians for organizing international telemedicine conferences: utility of a shared program management system in an international telemedicine network	Heliyon. 2022 Nov;8(11):e11297. (オンライン)	Original Article
395	Yamada A, Yoshizaki K, Saito K, et al.	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	GSK3beta inhibitor-induced dental mesenchymal stem cells regulate ameloblast differentiation	J Oral Biosci. 2022 Dec;64(4):400-409.	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
396	Tadano M, Nakamura T, Hoshikawa S, et al	小児歯科・スペシアルニーズ歯科	The Retention Effect of Resin-Based Desensitizing Agents on Hypersensitivity-A Randomized Controlled Trial	Materials (Basel). 2022 Jul 26;15(15):5172.	Original Article
397	Sun X, Dong S, Kato H, et al	小児歯科・スペシアルニーズ歯科	Mitochondrial Calcium-Triggered Oxidative Stress and Developmental Defects in Dopaminergic Neurons Differentiated from Deciduous Teeth-Derived Dental Pulp Stem Cells with MFF Insufficiency	Antioxidants (Basel). 2022 Jul 13;11(7):1361.	Original Article
398	Yang Y, Zhu J, Chiba Y, et al	小児歯科・スペシアルニーズ歯科	Enamel defects of Axenfeld-Rieger syndrome and the role of PITX2 in its pathogenesis	Oral Dis. 2022 Jul 14.	Original Article
399	Sun X, Kato H, Sato H, et al	小児歯科・スペシアルニーズ歯科	Dopamine-related oxidative stress and mitochondrial dysfunction in dopaminergic neurons differentiated from deciduous teeth-derived stem cells of children with Down syndrome	FASEB Bioadv. 2022 Apr 8;4(7):454-467.	Original Article
400	Sonoda S, Murata S, Yamaza H, et al	小児歯科・スペシアルニーズ歯科	Targeting hepatic oxidative stress rescues bone loss in liver fibrosis	Mol Metab. 2022 Dec;66:101599.	Original Article
401	Sonoda S, Yamaza H, Yoshimaru K, et al	小児歯科・スペシアルニーズ歯科	Protocol to generate xenogeneic-free/serum-free human dental pulp stem cells	STAR Protoc. 2022 May 13;3(2):101386.	Original Article
402	Minamidate T, Haruyama N, Inoue A, et al.	矯正歯科	Quality of life in preadolescent orthodontic patients before and after secondary alveolar bone grafting	Am J Orthod Dentofacial Orthop. 2022 Sep 16;S0889-5406(22)00537-6.	Original Article
403	Yuta T, Tian T, Chiba Y, et al.	矯正歯科	Development of a novel ex vivo organ culture system to improve preservation methods of regenerative tissues	Sci Rep. 2023 Feb 27;13(1):3354.	Original Article
404	Toriya T, Kitahara T, Hyakutake H, et al.	矯正歯科	Analysis for Predictors of Failure of Orthodontic Mini-implant Using Patient-Specific Finite Element Models	Ann Biomed Eng. 2023 Mar;51(3):594-603.	Original Article
405	Watanabe Yukari, Fukuda Takao, Hayashi Chikako et al	歯周病科	Extracellular vesicles derived from GMSCs stimulated with TNF- α and IFN- α promote M2 macrophage polarization via enhanced CD73 and CD5L expression	Sci Rep. 2022 Aug 3;12(1):13344.	Original Article
406	Nishimura Yuki, Iwashita Misaki, Hayashi Masato, et al.	歯周病科	XAF1 overexpression exacerbates diabetes by promoting pancreatic β -cell apoptosis	Acta Diabetol. 2022 Oct;59(10):1275-1286.	Original Article
407	Hayashi Chikako, Fukuda Takao, Kawakami Kentaro et al	歯周病科	miR-1260b inhibits periodontal bone loss by targeting ATF6 β mediated regulation of ER stress	Front Cell Dev Biol. 2022 Nov 30;10:1061216.	Original Article
408	Matsunaka K, Imai M, Sanda K et al	義歯補綴科	Therapeutic Effect of Benidipine on Medication-Related Osteonecrosis of the Jaw	Pharmaceuticals (Basel) . 2022 Aug 18;15(8):1020	Original Article
409	Imai M, Ogino Y, Tanaka H et al	義歯補綴科	Primary stability of different implant macrodesigns in a sinus floor elevation simulated model: an ex vivo study	BMC Oral Health. 2022 Aug 8;22(1):332. (オンライン)	Original Article

小計：14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
410	Takahashi R, Atsuta I, Narimatsu I et al	義歯補綴科	Evaluation of carbonate apatite as a bone substitute in rat extraction sockets from the perspective of mesenchymal stem cells	Dent Mater J. 2023 Mar 30;42(2):282-290.	Original Article
411	Atsuta I, Mizokami T, Jinno Y et al	義歯補綴科	Synergistic Effect of Carbonate Apatite and Autogenous Bone on Osteogenesis	Materials (Basel). 2022 Nov 16;15(22):8100.	Original Article
412	Jinno Y, Stoccherio M, Toia M et al	義歯補綴科	Impact of salivary contamination during implant placement with different surface characteristics in native and augmented bone: An in vivo study in sheep calvaria model	Clin Oral Implants Res. 2023 Mar;34(3):254- 262.	Original Article
413	Naoki Kaneko, Junsei Samesima, Shintaro Kawano et al	顎口腔外科	Comparison of computed tomography findings between odontogenic keratocyst and ameloblastoma in the mandible: Criteria for differential diagnosis	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology Volume 35, Issue 1, January 2023, Pages 15- 22	Original Article
414	Ryusuke Munemura, Takashi Maehara, Yuka Murakami et al	顎口腔外科	Distinct disease-specific Tfh cell populations in 2 different fibrotic diseases: IgG4-related disease and Kimura disease.	J Allergy Clin Immunol. 2022 Aug;150(2):440- 455.e17.	Original Article
415	Chinju A, Moriyama M (corresponding author), Kakizoe- Ishiguro N et al	顎口腔外科	CD163+ M2 Macrophages Promote Fibrosis in IgG4- Related Disease Via Toll-like Receptor 7/Interleukin-1 Receptor-Associated Kinase 4/NF- κ B Signaling	Arthritis Rheumatol. 2022 May;74(5):892- 901.	Original Article
416	Ogata K, Moriyama M, Matsumura- Kawashima M et al	顎口腔外科	The Therapeutic Potential of Secreted Factors from Dental Pulp Stem Cells for Various Diseases	Biomedicines. 2022 May 2;10(5):1049.	Review
417	Koki Nagano, Tomohiro Yamada, Takahiro Fujinaga, et al	顔面口腔外科	A case of AIDS-associated Kaposi's sarcoma occurring in the oral cavity and systemic lymph nodes	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology:2022 July;34(4):536-541	Case report
418	Yanai Y, Kori Y, Fujimoto T, et al.	顔面口腔外科	Dipeptidyl peptidase-4 inhibitor-related bullous pemphigoid diagnosed by oral manifestation	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, Available online 24 March 2023	Case report
419	Yanai Y, Kubota Y, Kitsuki T, et al.	顔面口腔外科	Spindle cell lipoma of the floor of mouth	Radiol Case Rep. 2023 Feb 26;18(5):1662- 1665.	Case report
420	Kami, Y., T. Chikui, O. Togao, et al.	口腔画像診断 科	Usefulness of reconstructed images of Gd-enhanced 3D gradient echo sequences with compressed sensing for mandibular cancer diagnosis: comparison with CT images and histopathological findings	Eur Radiol. 2023 Feb;33(2):845-853.	Original Article
421	Mizutani S, Matsuzaki H, Iyota K, et al.	高齢者歯科・ 全身管理歯科	Changes of Oral and Physical Functions in Older Japanese Who Participated in Keyboard Harmonica and Exercise Classes during COVID-19-Related Movement Restrictions	Int J Environ Res Public Health. 2023 Feb 19;20(4):3700.	Original Article
422	Kiyomi Iyota, Shinsuke Mizutani,	高齢者歯科・ 全身管理歯科	Deterioration of Oral Functions and Nutrition in Older Individuals.	Curr Oral Health Rep .02 May 2022	Original Article

小計：13件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
423	Yamazoe J, Naito H.	高齢者歯科・ 全身管理歯科	Roles of Dental Care in Disaster Medicine in Japan	Curr Oral Health Rep. 2022;9(3):111-118. Epub 2022 Jun 25.	Original Article
424	Tani A, Mizutani S, Oku S,	高齢者歯科・ 全身管理歯科	Association between oral function and physical pre- frailty in community-dwelling older people: a cross- sectional study	BMC Geriatr. 2022 Sep 2;22(1):726.	Original Article
425	Tani A, Mizutani S, Kishimoto H,	高齢者歯科・ 全身管理歯科	The Impact of Nutrition and Oral Function Exercise on among Community-Dwelling Older People	Nutrients. 2023 Mar 26;15(7):1607.	Original Article

小計：3件

合計:425件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
1	安野 広三、須藤 信行、細井 昌子	心療内科	Chronic Pain Acceptance Questionnaire 日本語 版(CPAQ-J)の作成と信頼性・妥当性の検討	慢性疼痛 第41巻 第1 号 別刷P83-90 2022年 12月15日	Original Article
2	吉原 一文	心療内科	身体症状症と心身症	精神科 40(4) 507-513 2022年4月	Review
3	永江 悠子、高倉 修、富岡 光直 他	心療内科	公認心理師による拡大版認知行動療法 (CBT- E) が強迫性に著効した神経性過食症の1症例	日本心療内科学会誌: 2022 Oct.26(3): 147- 151.	Case report
4	瀧井 正人、岸本 淳司、遠山 岳詩 他	心療内科	医療刑務所における神経性やせ症女性患者に 関する研究—第一報:特徴的な諸群への分類—	精神神経学雑誌: 2022 Sep 25;124(9):601— 622.	Original Article
5	永吉 絹子、三洲 晴香、渡邊 欽 その他	第一外科	脾弯曲部結腸癌に対する空腸曲外側からの背 側授動先行アプローチによる定型化手技	日本大腸肛門病学会雑 誌:2022Jul;75(8):379- 386	Original Article
6	山本 真大、当 間 宏樹、三浦 敬史 その他	第一外科	TEP法により修復した水腎症を伴った鼠径部尿 管ヘルニアの1例	日本内視鏡外科学会雑 誌:2022May;27(3):128- 134	Case report
7	山本 真大、井手 野 昇、阿部 俊 也 その他	第一外科	臍頭十二指腸切除術後の腹腔動脈起始部狭窄 の増悪に対し緊急正中弓状靱帯切開術を施行 した1例	日本消化器外科学会雑 誌:2022Nov;55(11):684- 691	Case report
8	孫 起和、金岡 祐次、前田 敦行 その他	第一外科	大腸穿孔における縫合不全のリスク因子の検討	日本腹部救急医学会雑 誌:2022Jul;42(5):567- 572	Original Article
9	島田 有貴、大内 田 研宙、松本 昂 その他	第一外科	転移性肝腫瘍との鑑別が困難で手術適応の判 断に影響した胆管過誤腫併存食道胃接合部癌 の1例	日本消化器外科学会雑 誌:2022May;55(5):311- 316	Case report
10	坂野 慎哉、文野 誠久、加藤 充 純,et al	小児外科、成 育外科、小腸 移植外科・総 合周産期母子 医療センター (小児外科)	経カテーテル動脈塞栓術を施行した肝芽腫破 裂 3 例の検討	日小外会誌, 59(1):51- 55, 2023/02/20.	Original Article
11	TA,YH,NM et al.	眼科	硝子体中にTリンパ球の単クローン性増殖を伴っ た肺原発転移性脈絡膜腫瘍の1例	日本眼科学会雑誌 127:92-99, 2023/02	Case report
12	S.T,I.T,M.N 他	耳鼻咽喉・頭 頸部外科	高位迷走神経麻痺を伴う Ramsay Hunt 症候群 に対する音声嚥下改善手術の意義	耳鼻と臨床68(3): 182- 189, 2022.05.	Original Article
13	U.R,Y.T,O.M 他	耳鼻咽喉・頭 頸部外科	ANCA関連血管炎性中耳炎10例の臨床的検討	耳鼻68(4):235-242, 2022.7	Original Article
14	S.T,U.T,I.T 他	耳鼻咽喉・頭 頸部外科	気管内挿管の晩期合併症として生じた喉頭気管 狭窄の診断および外科的治療について	日耳鼻 125(7):1104- 1109, 2022.7	Original Article

小計:14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
15	山浦 健	麻酔科蘇生科・手術部	抗血栓療法ガイドライン	最新主要文献とガイドラインでみる 麻酔科学レビュー 総合医学社(東京)2022(6):147-252	Others
16	辛島 裕士	麻酔科蘇生科・手術部	経口強心薬	手術患者の術前使用薬コントロール 克誠堂出版(東京)2022(6)	Others
17	水田 幸恵、山浦 健	麻酔科蘇生科・手術部	第7章16 神経筋疾患の麻酔	神経麻酔と神経集中治療の基礎と実践 日本医事新報社(東京)2022(6):269-271	Others
18	山浦 健	麻酔科蘇生科・手術部	7章7. 6 ペースメーカ・ICD植え込み患者の麻酔	臨床麻酔科学書 中山書店(東京)2022(7):645-654	Others
19	辛島 裕士	麻酔科蘇生科・手術部	冠攣縮	麻酔 2022 71(5):480-486	Others
20	松下 克之、山浦 健	麻酔科蘇生科・手術部	周術期肝臓保護と麻酔	麻酔 2022 71(7):748-755	Others
21	前田 愛子	麻酔科蘇生科・手術部	痛みから読み解くメッセージ～疲労困憊した心の叫びが溢流して～	LiSA(別冊)2022(4):99-102	Others
22	徳田 賢太郎	麻酔科蘇生科・手術部	HFNC(流量鼻カニユラ酸素療法)とNPPV(非侵襲的陽圧換気)の適応がわかる!	レジデントノート増刊号2022 24(8):1280-1287	Others
23	浅田 雅子, 崎村 正太郎, 山浦 健	麻酔科蘇生科・手術部	塞栓症	臨床婦人科産科 77(1):187-192,2023	Others
24	Kadota H	形成外科	私の心に残る1症例	形成外科 第65巻第6号(2022年6月)	Original Article
25	Kadota H	形成外科	陰圧閉鎖療法を応用した頭頸部手術後瘻孔の最新治療	日本喉頭科学会雑誌 2022 年12月 34 巻 2 号 p. 81-87	Original Article
26	Kadota H	形成外科	マイクロサージャリーの近未来像ー外視鏡および血管吻合専用ロボットの可能性ー	日本マイクロサージャリー学会会誌 2022/09/26 35 巻 3 号 p. 74-81	Original Article
27	Kadota H, Fukushima S, Ikemura K他	形成外科	内視鏡とナビゲーションシステム, 3Dモデルを駆使した高精度な眼窩再建術	日本頭蓋顎顔面外科学会誌 2022/12/25 38 巻 4 号 p. 113-120	Original Article
28	Kadota H	形成外科	「進行喉頭癌治療の有害事象とその対策」陰圧閉鎖療法を応用した頭頸部手術後瘻孔の最新治療	日本喉頭科学会雑誌 2022 年12月 34 巻 2 号 p. 81-87	Original Article

小計:14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
29	瀬戸山 大樹	検査部	「メンタルヘルスの臨床検査」に向けた血液バイオマーカー探索	臨床化学. 51. 161-168. 2022年7月29日	Original Article
30	石垣 卓也	検査部	LABOSPECR 008 (日立ハイテク) のユーザー視点より	医療検査と自動化. 47. 115-117. 2022年4月	Review
31	木部 泰志, 清祐麻紀子, 堀田 多恵子, 他	検査部	Clostridioides difficile コロニーを用いたC. DIFF QUIK CHEK コンプリートにおける最適なCDトキシン検査条件	日本臨床微生物学会雑誌. 32. 229-233. 2022年9月25日	Original Article
32	川満 紀子	検査部	臨床検査Q&A 尿沈渣における,異型細胞とウイルス感染細胞の区別のポイントを教えてください	Medical Technology. 50. 908-909. 2022/08/15	Others
33	瀬戸山 大樹	検査部	ミトコンドリア代謝を知るためのメタボロミクス	生化学94巻2号. 165-168. 2022年4月25日	Review
34	堀田 多恵子	検査部	総論 MID-NETで見えた医療情報連携における臨床検査の課題 ～臨床検査データの利活用のために検査室ができること～	医療検査と自動化. 47. 527-533. 2022年	Review
35	清祐 麻紀子, 木部 泰志, 口広智一, 他	検査部	Diagnostic Stewardship:DSの実践ガイド	日本臨床微生物学雑誌. 32. 5-14. 2022年6月25日	Others
36	渡邊 恵利子, 酒田 あゆみ, 迎伸孝, 他	検査部	臨床検査技師から医師へのメッセージ	臨床神経生理学. 51(1). 7-13. 2023/02/03	Others
37	藤野 恵子, 山口恭子, 榎本 麻里, 他	検査部	COVID-19パンデミック第一波での診療制限が輸血製剤使用量に与えた影響	日本輸血細胞治療学会誌. 69(1). 20-26. 2023/03/14	Original Article
38	岩崎 健, 山元 範昭, 小田 義直	病理診断科・病理部	がんの分子病理学(各論)臓器がん 骨軟部腫瘍	病理と臨床. 2022 Apr;40(臨時増刊号):317-324	Review
39	藤原 美奈子, 川床 慎一郎, 小田 義直 他	病理診断科・病理部	予後不良な早期消化管癌の病理組織学的特徴食道癌	胃と腸. 2022 Apr 57(4):355-363	Review
40	永田健一郎, 村岡香代子, 中村 昂洋, 他	薬剤部	医療用医薬品PTPシートのGS1データベース表示に関する調査～調剤時の円滑な薬品照合の実現に向けた課題～	医療薬学 48(4): 154-160, 2022.4.10	Original Article
41	Kudo K, Tomimatsu S, Hayata M, et al	国際医療部	アジア発展途上国を対象とした遠隔医療教育技術に関するオンライン研修と現地評価	日本遠隔医療学会雑誌: 2022 Oct; 18(2): 108-111	Original Article
42	Ueda S, Kudo K, Hisada Y, et al	国際医療部	低侵襲手術に関するオンライン症例検討会に必要な画質	日本遠隔医療学会雑誌: 2022 Oct; 18(2): 131-134	Original Article

小計:14件

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	所属診療科	題 名	雑誌名	論文種別
43	Tomimatsu S, Kudo K, Ueda S, et al	国際医療部	遠隔会議を用いた内視鏡ライブ配信への技術支援の評価	日本遠隔医療学会雑誌: 2022 Oct; 18(2): 151-154	Original Article
44	Hisada Y, Kudo K, Tomimatsu S, et al	国際医療部	医学博士取得のためのオンライン予備審査の実施と評価	日本遠隔医療学会雑誌: 2022 Oct; 18(2): 116-118	Original Article
45	矢内 雄太, 窪田泰孝, 藤永 貴大, 他	顔面口腔外科	舌に発生した嚢胞腺腫の1例	日本口腔外科学会雑誌:2022 May; 68(5): 233-236	Case report
46	Maho Goto, Masanori Tsukamoto, Kazuhiro hano et al	歯科麻酔科	脳肝型ミトコンドリアDNA枯渇症候群患者の歯科治療に対する全身麻酔経験	日本歯科麻酔学会雑誌:2023 Jan;51(1):1-3.	Case report
47	Takashi Hitosugi, Ryo sasaki, Masanori Tsukamoto et al	歯科麻酔科	小児歯科治療における局所麻酔薬の最大推奨用量への 新提案「HC/6 ルール」	日本歯科麻酔学会雑誌:2023 Jan;51(1):19-23.	Original Article
48	Takashi Hitosugi, Izumi Kameyama, Shiori Taura et al	歯科麻酔科	唇顎口蓋裂患児の術後帰室時に生じた鼻腔口腔内分泌物による窒息の1症例	麻酔:2022 Oct;71(10):1104-1107.	Case report
49	Miyu Shida, Hiromi Mitarai, Naohisa Wada	口腔総合診療科	患者情報やコミュニケーション技法を積極的に活用し歯科治療が可能となった 1 症例	日本総合歯科学会雑誌: 2022 Oct; 14: 39-46	Case report
50	Ryo Yonamine, Hiromi Mitarai, Naohisa Wada	口腔総合診療科	咬合挙上を行い歯冠補綴空隙を確保した1症例	日本総合歯科学会雑誌: 2022 Oct; 14: 30-38	Case report
					小計:8件

合計:50件

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有
・ 手順書の主な内容 目的、適用範囲、設置、役割・責務、構成、委員長及び副委員長、守秘義務、審査、審査結果、実施状況報告、迅速審査、情報公開、記録の保存、事務	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 11 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有
・ 規定の主な内容 目的、定義、対象者、対象事象、委員会、審議事項、ガイドライン、自己申告、審議・勧告等の手続、関係機関との連携、啓発運動、相談受付、守秘義務、情報公開、事務	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 11 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 8 回
・ 研修の主な内容 「出口としての臨床研究～留意点とAROの活用法～」、「臨床研究の立案から遂行まで」、 「企業主導治験の適正な遂行」、認定試験	

「臨床研究とPIの責務」、「医師主導治験」、「研究倫理」、「試験デザイン」、
「プロジェクト管理」、「データマネジメントとは」、「モニタリングと監査」、
「安全性情報管理」、認定試験

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

別紙のとおり

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	770 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
赤司 浩一	血液・腫瘍・心血管内科 免疫・膠原病・感染症内科	診療科長	29年	
北園 孝成	消化管内科 腎・高血圧・脳血管内科	診療科長	39年	
小川 佳宏	内分泌代謝・糖尿病内科 肝臓・膵臓・胆道内科	診療科長	36年	
須藤 信行	心療内科	診療科長	35年	
磯部 紀子	脳神経内科	診療科長	19年	
筒井 裕之	循環器内科	診療科長	41年	
岡本 勇	呼吸器科	診療科長	20年	
加藤 聖子	産科婦人科	診療科長	36年	
大賀 正一	小児科	診療科長	39年	
久保 真	第一外科	副診療科長	32年	
吉住 朋晴	第二外科	診療科長	30年	
中島 康晴	整形外科 リハビリテーション科	診療科長	33年	
吉本 幸司	脳神経外科	診療科長	27年	
塩瀬 明	心臓血管外科	診療科長	28年	
田尻 達郎	小児外科、成育外科、小腸移植外科	診療科長	34年	
中原 剛士	皮膚科	診療科長	23年	
江藤 正俊	泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科	診療科長	38年	
中尾 智博	精神科神経科	診療科長	28年	
園田 康平	眼科	診療科長	33年	
中川 尚志	耳鼻咽喉・頭頸部外科	診療科長	34年	
石神 康生	放射線科	診療科長	29年	
山浦 健	麻酔科蘇生科	診療科長	31年	
下野 信行	総合診療科	診療科長	37年	
門田 英輝	形成外科	診療科長	26年	
水野 晋一	先端分子・細胞治療科	診療科長	34年	
小田 義直	病理診断科・病理部	診療科長	37年	
赤星 朋比古	救急科	診療科長	29年	
福本 敏	小児歯科・スペシャルニーズ歯科	診療科長	29年	
高橋 一郎	矯正歯科	診療科長	34年	
前田 英史	歯内治療科	診療科長	33年	

西村 英紀	歯周病科	診療科長	38年	
鮎川 保則	義歯補綴科 咬合補綴科	診療科長	29年	
中村 誠司	顎口腔外科	診療科長	40年	
山田 朋弘	顔面口腔外科	副診療科長	33年	
横山 武志	歯科麻酔科	診療科長	37年	
吉浦 一紀	口腔画像診断科	診療科長	40年	
和田 尚久	口腔総合診療科	診療科長	26年	
柏崎 晴彦	高齢者歯科・全身管理歯科	診療科長	33年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

高度の医療に関する臨床研修

別紙

No	診療科（部）名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数	2021		2020		2019	
	第一内科（血液・腫瘍内科）	九州大学病院内科専門研修プログラム	17	12	1	1	29	26	0	0
		浜の町病院内科専門研修プログラム	2	2			1	1	0	0
		福岡東医療センター内科専門研修プログラム	1	1	1	1	2	2	0	0
		広島赤十字・原爆病院内科専門研修プログラム	2	2						
		県立宮崎病院内科専門研修プログラム	1	1						
		九州中央病院内科専門研修プログラム	1	1						
		東医療センター内科専門研修プログラム	1	1						
		血液専門医コース					28	2	37	8
		腫瘍専門医コース					24	2	28	4
		循環器専門医コース					21	1	22	2
	第一内科（血液・腫瘍・心血管内科）	浜の町病院内科専門研修プログラム			2	2				
		東医療センター内科専門研修プログラム			1	1				
		広島赤十字・原爆病院内科専門研修プログラム			2	2				
		九州大学病院内科専門研修プログラム			11	11				
		九州中央病院内科専門研修プログラム			1	1				
		県立宮崎病院内科専門研修プログラム			1	1				
	第一内科（免疫・膠原病・感染症内科）	飯塚病院内科専門研修プログラム	1		1	0				
		九州大学病院内科専門研修プログラム	19	12	14	12				
		駒込病院内科専門研修プログラム	1		1	0				
		福岡赤十字病院内科専門研修プログラム	1	1	1	1				
		県立宮崎病院内科専門研修プログラム	1	1	1	1				
		感染症専門医コース					17	1	20	6
		リウマチ専門医コース					29	2	36	10
		総合診療プログラム					2	1	3	1
	第二内科（消化管内科）	消化管内科専門医コース	19	17	15	10	29	19	36	15
		消化管治療習熟コース	10	10	8	6	7	6	8	5
	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓専門医・透析専門医コース	7	7	12	10	13	8	19	11
		腎臓内科・医学博士取得コース	36	33	32	22	24	15	23	10
		消化管内科専門医コース	1	1	2	2				
		脳卒中専門医コース1	6	5	6	5	6	6	4	4
		脳卒中専門医コース2	2	2	2	2	5	4	6	4
		糖尿病専門医コース	10	8	12	8	13	4	20	5
		高血圧専門医・臨床コース	1	1	2	2	4	2	5	2
		高血圧専門医・大学院コース					0	0	3	1

高度の医療に関する臨床研修

別紙

No	診療科（部）名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数	2021		2020		2019	
	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	32	32	31	1	52	6	57	5
		内分泌代謝・糖尿病・消化器総合コース	1	1	1	1	1	1	0	0
1		血液・腫瘍総合コース	3	3	3	1				
	第三内科(肝臓・膵臓・内科)	消化管総合コース（消化管・肝臓・膵臓・胆道）	31	31	29	5	47	5	36	7
1		血液・腫瘍総合コース					7	1	8	6
	心療内科	心療内科臨床研修コース	26	26	12	5	15	5	16	7
	神経内科	神経内科専門医コース	14	14	31	8	24	7	22	2
		神経内科専門医大学院コース	1	1	2	2	2	2	2	0
		てんかん専門神経内科コース					0	0	0	1
		認知症専門神経内科コース			1	1	1	1	1	0
		脳卒中専門神経内科コース					0	0	0	0
	循環器内科	循環器内科専門医・大学重点コース					0	0	0	0
		循環器内科専門医・大学院進学コース					0	0	0	0
		循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	34	34	38	1	27	2	29	3
		循環器内科専門医・地域医療重点コース					0	0	4	2
	呼吸器科	クリティカルケアコース					27	2	45	4
		新内科専門医 1 年目	7	7	7	1	5	1	0	0
		新内科専門医 2 年目	6	6	6	1	7	1	0	0
		新内科専門医 3 年目	5	5	5	1	8	1	0	0
		新内科専門医 4 年目			7	1				
		新内科専門医5年目			1	1				
	産科婦人科	産婦人科専門医コース	39	39			36	1	29	1
		周産期研究者コース					0	0	0	0
		内視鏡専門医養成コース					0	0	0	0
		生殖医学専門医コース					0	0	0	0
		腫瘍専門医養成コース					0	0	0	0
		形態病理専門医養成コース					0	0	0	0
		形態病理専門医養成コース					0	0	0	0
		産婦人科専門医コース			39	1				
	小児科	小児科専門医コース1（大学重点）					0	0	0	0
		小児科専門医コース2（大学重点）					0	0	0	0
		小児科専門医コース2（地域重点）	28	28	28	1	47	1	26	1
		小児科専門医コース3（地域重点）					0	0	0	0
		小児科専門医・大学院進学コース					0	0	0	0

高度の医療に関する臨床研修

別紙

No	診療科（部）名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数	2021		2020		2019	
	第一外科	外科専門医コース	34	34	39	4	32	3	28	2
		消化器外科専門医取得コース			2	1	2	1	6	2
		肝胆膵外科専門医コース					0	0	1	1
		内視鏡外科専門医コース			1	1	1	1	1	1
	第二外科	（外科専攻医）	39	39	26	6	21	1	0	0
		外科専門医コース					5	2	5	2
		消化器外科専門医コース					18	2	18	2
		呼吸器外科専門医コース					5	1	5	1
		心臓血管外科専門医コース					6	1	6	1
		ゲノム基盤先端臨床腫瘍学コース					12	1	12	1
		がん専門医養成コース	12	12			13	2	12	2
		乳腺外科専門医コース					0	0	0	0
	整形外科	整形外科専門医コースA					0	0	87	9
		整形外科専門医コースB					0	0	80	9
		整形外科専門医コース	78	78	143	9	124	9	0	0
	脳神経外科	臨床コース	18	17	17	13	12	12	22	16
	心臓血管外科	心臓血管外科専門医コース	7	7	15	4	16	3	21	4
	小児外科	一般小児外科重点コース	4	4	5	2				
		一般小児外科重点コース（1）	3	3	3	3	12	3	12	4
		一般小児外科重点コース（2）	1	1	2	2				
		小児腫瘍外科重点コース			1	1	3	2	3	2
		新生児外科重点コース（1）	1	1	2	2	6	3	5	1
		新生児外科重点コース（2）			2	2				
	皮膚科	皮膚科専門医養成＋美容皮膚科実践コース	4	4	6	2	6	2	10	3
		皮膚科専門医養成＋褥瘡・プライマリケアコース	3	3	7	3	9	4	11	5
		皮膚科専門医養成＋皮膚科レーザー治療実践コース	3	3	3	2	2	1	5	3
		皮膚科専門医養成＋皮膚病理強化学習コース	6	6	9	5	7	4	8	4
		皮膚科専門医養成＋形成外科強化学習コース	3	3	4	2	2	2	5	3
		皮膚科専門医養成＋小児皮膚科コース					0	0	2	2
		皮膚科専門医養成＋熱傷・皮膚科救急プライマリケアコース	7	7	11	4	9	3	14	6
	泌尿器科	泌尿器科研究医師育成コース					0	0	4	2
		泌尿器科臨床研究医師育成コース					0	0	5	3
		臨床指導医育成コース					0	0	4	3
		九州大学泌尿器科専門研修プログラム	22	22	22	8	12	7	0	0

高度の医療に関する臨床研修

別紙

No	診療科（部）名	主な研修内容	研修受講者数	研修指導医数	2021		2020		2019	
	精神科神経科	日本精神神経学会専門医取得コース			37	13	50	14	62	14
		新専門医制度	37	37	49	15	28	11	0	0
	眼科	眼科総合習得コース	14	14	26	2	21	1	19	1
		角膜専門医養成コース	2	2	9	1	8	1	7	1
		網膜専門医育成コース	4	4	15	1	13	1	10	1
		黄斑疾患専門医育成コース	4	4	15	1	13	2	10	2
		臨床研究医コース	1	1	1	1				
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	23	23	42	6	37	6	30	5
		耳鼻咽喉科専門医・大学院コース			2	2	2	2	5	3
	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	17	17	32	13	35	12	42	15
		放射線診断専門医養成コース			1	1	3	3	3	3
		放射線治療専門医ならびに学位取得コース			7	7	9	5	7	4
		放射線治療専門医養成コース			1	1	1	1	2	4
	総合診療科	病院総合診療医重点コース			1	1	3	2	4	2
		病院総合診療医・臨床研究コース			1	1	1	1	2	1
		病院総合診療医・大学院進学コース			1	1	1	1	1	1
		九州大学病院総合診療専門研修プログラム	4	4	4	1	1	1	0	0
		九州大学病院総合診療専門研修プログラム→ 九州大学病院内科専門研修プログラム			1	1				
		日本病院総合診療専門研修プログラム			1	1				
	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	37	37	64	30	56	24	59	17
	病理診断科・病理部	臨床コース	9	9	12	1	9	6	14	10
		大学院コース	1	1	4	1	2	1	2	2
	形成外科	美ら海形成外科研修プログラム	1	1	2	1	1	1	0	0
		福岡大学形成外科研修プログラム			1	1	1	1	0	0
		大分大学形成外科研修プログラム	1	1	1	1				
		九州大学形成外科研修プログラム	3	3	3	1				
					1	1				
		形成外科コース					3	1	5	1

高度の医療に関する臨床研修

no	診療科名	コース名	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
1	第一内科(血液・腫瘍内科)	浜の町病院内科専門研修プログラム	衛藤 徹也	久原 千愛	九州大学病院	12
2	第一内科(血液・腫瘍内科)	浜の町病院内科専門研修プログラム	草場 仁志	草野 亘	九州大学病院	12
3	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム		今嶋 堯志	九州大学病院	12
4	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム		熊野 志保	九州大学病院	12
5	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム		妙中 隆大朗	九州大学病院	12
6	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム		大津 雅広	九州大学病院	12
7	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	菊繁吉謙	川野 玄太郎	九州大学病院	12
8	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム		光山由祐	九州大学病院	12
9	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	衛藤 徹也	内海 紗江	九州大学病院	12
10	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	深田 光敏	山部 雄亮	九州大学病院	12
11	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	吉本 五一	大賀 慎太郎	九州大学病院	12
12	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	山内 拓司	西原 博英	九州大学病院	12
13	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	河野 徳明	瀧川 健	九州大学病院	12
14	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	小川 亮介	平畑 実乃理	九州大学病院	12
15	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	土橋 賢司	北園 貴文	九州大学病院	12
16	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	在田 修二	瀧川 彩	九州大学病院	12
17	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	伊東 守	西依 慧	九州大学病院	12
18	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	上村 智彦	松尾 知恵	九州大学病院	12
19	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	江崎 泰斗	松村 尚	九州大学病院	12
20	第一内科(血液・腫瘍内科)	東医療センター内科専門研修プログラム	郷原 誠一郎	山口 純子	九州大学病院	12
21	第一内科(血液・腫瘍内科)	広島赤十字・原爆病院内科専門研修プログラム	陳之内 文昭	山口 晃平	九州大学病院	12
22	第一内科(血液・腫瘍内科)	広島赤十字・原爆病院内科専門研修プログラム	牟田 毅	池田 理一郎	九州大学病院	12
23	第一内科(血液・腫瘍内科)	福岡東医療センター内科専門研修プログラム	郷原 誠一郎	進藤 周一郎	九州大学病院	12
24	第一内科(血液・腫瘍内科)	九州中央病院内科専門研修プログラム	横山 拓	調 宗一郎	九州大学病院	12
25	第一内科(血液・腫瘍内科)	県立宮崎病院内科専門研修プログラム	下川 穂積	井手 宏二	九州大学病院	12
26	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	飯塚病院内科専門研修プログラム		中尾 賢一	九州大学病院	12
27	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム		西田 知也	九州大学病院	12
28	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム		木村 光一	九州大学病院	12
29	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	石丸 敏之	藤吉 直子	九州大学病院	12
30	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム		石田 利央子	九州大学病院	12
31	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム		称宜田絵美	九州大学病院	12
32	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム		渡部 遥	九州大学病院	12
33	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム		横山貴士	九州大学病院	12
34	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	内野 愛弓	才木 智尋	九州大学病院	12
35	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	肥山 和俊	松尾 将人	九州大学病院	12
36	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	隅田 幸佑	深町 由香子	九州大学病院	12
37	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	原田 由紀子	芳野 秀治	九州大学病院	12
38	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム		古川 佳那美	九州大学病院	12
39	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	森 唯史	佐藤 智則	九州大学病院	12
40	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	山中 篤志	内藤 宏	九州大学病院	12
41	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	江里口 芳裕	中村 綸杜	九州大学病院	12
42	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	有信 洋二郎	神川 壮太	九州大学病院	12
43	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	田村 真吾	楠本 洋太	九州大学病院	12
44	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	木本 泰孝	兒島 祐希	九州大学病院	12
45	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	九州大学病院内科専門研修プログラム	三嶋 耕司	辻 知宗	九州大学病院	12
46	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	駒込病院内科専門研修プログラム		富永 晃輝	九州大学病院	12
47	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	福岡赤十字病院内科専門研修プログラム	石丸 敏之	大石 涼	九州大学病院	12
48	第一内科(免疫・膠原病・感染症内科)	県立宮崎病院内科専門研修プログラム	上田 尚靖	高月 健作	九州大学病院	12
49	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	鳥巢 剛弘	田中(吉村) 悠花	九州大学病院	12
50	第二内科(消化管内科)	消化管治療習熟コース	鳥巢 剛弘	谷口 義章	九州大学病院	12
51	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	冬野 雄太	横領司(西) 祐貴子	九州大学病院	12
52	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	小林 広幸	吉原 崇正	九州大学病院	12
53	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース		森 麻里母	九州大学病院	12
54	第二内科(消化管内科)	消化管治療習熟コース	保利 喜史	大草 響	九州大学病院	12
55	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース		杉野 絢子	九州大学病院	12
56	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	消化管内科専門医コース	水政 透	石松 由季子	九州大学病院	12
57	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	中野 敏昭	岡本 悠史	九州大学病院	12
58	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	松尾 大	杉町 和紀	九州大学病院	12
59	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	藤崎 毅一郎	竹内 実芳	九州大学病院	12
60	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓専門医・透析専門医コース	山田 俊輔	竹迫 真那子	九州大学病院	12
61	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース		田中 和可子	九州大学病院	12
62	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓専門医・透析専門医コース	柳田 太平	永井 涼人	九州大学病院	12
63	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓専門医・透析専門医コース	東 治道	矢田 知隆	九州大学病院	12
64	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	脳卒中専門医コース1		安部 大介	九州大学病院	12
65	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	脳卒中専門医コース2	福田 賢治	新田 朋彦	九州大学病院	12
66	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	蔵原 晃一	江頭 信二郎	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

no	診療科名	コース名	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
67	第二内科(消化管内科)	消化管治療習熟コース	保利 喜史	加来 寿光	九州大学病院	12
68	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	鳥巢 剛弘	才木 琢登	九州大学病院	12
69	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	河内 修司	西田 美沙子	九州大学病院	12
70	第二内科(消化管内科)	消化管治療習熟コース	井浦 登志実	岡村 活揮	九州大学病院	12
71	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	鳥巢 剛弘	宮園 智至	九州大学病院	12
72	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓専門医・透析専門医コース	江里口 理恵子	園田 有理	九州大学病院	12
73	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	柳田 太平	吉住 瑛理子	九州大学病院	12
74	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓専門医・透析専門医コース	大仲 正太郎	久永 哲也	九州大学病院	12
75	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	藤崎 毅一郎	松本 英展	九州大学病院	12
76	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	脳卒中専門医コース2	杉森 宏	今村 裕佑	九州大学病院	12
77	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	脳卒中専門医コース1	脇坂 義信	水戸 大樹	九州大学病院	12
78	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓専門医・透析専門医コース	金井 英俊	中垣 仁博	九州大学病院	12
79	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース		武井 悠里	九州大学病院	12
80	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓専門医・透析専門医コース	柳田 太平	大塚 美香	九州大学病院	12
81	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	有村 美英	友岡 知加	九州大学病院	12
82	第二内科(消化管内科)	消化管治療習熟コース	蔵原 晃一	水江 龍太郎	九州大学病院	12
83	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	原田 英	鍛冶 屋祐	九州大学病院	12
84	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	永田 豊	佐藤 大晃	九州大学病院	12
85	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	冬野 雄太	内海 聡志	九州大学病院	12
86	第二内科(消化管内科)	消化管治療習熟コース	金本 孝樹	井本 尚徳	九州大学病院	12
87	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	平野 直史	遠矢 遥	九州大学病院	12
88	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース		山岡 奈央	九州大学病院	12
89	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	大仲 正太郎	菰田 有佑	九州大学病院	12
90	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	東 治道	佐藤 克樹	九州大学病院	12
91	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	脳卒中専門医コース1	福田 賢治	池内 泰仁	九州大学病院	12
92	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	脳卒中専門医コース1	荒川 修治	丸山 貴子	九州大学病院	12
93	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	脳卒中専門医コース1	有廣 昇司	脇坂 祐毅	九州大学病院	12
94	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	岡 英明	上原 景大郎	九州大学病院	12
95	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	田村 恭久	上野 雄貴	九州大学病院	12
96	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	藤崎 毅一郎	西田 明弘	九州大学病院	12
97	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	中井 健太郎	水戸 実希	九州大学病院	12
98	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	糖尿病専門医コース	五島 大祐	大村 一華	九州大学病院	12
99	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	糖尿病専門医コース	中村 宇大	原 規子	九州大学病院	12
100	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	高血圧専門医・臨床コース	古賀 徳之	中原 美友紀	九州大学病院	12
101	第二内科(消化管内科)	消化管治療習熟コース	田畑 寿彦	伊藤 隆成	九州大学病院	12
102	第二内科(消化管内科)	消化管治療習熟コース	原田 英	岩武 史朗	九州大学病院	12
103	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	梅野 淳嗣	南川 容子	九州大学病院	12
104	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	岡本 康治	山本 翔太	九州大学病院	12
105	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	山田 俊輔	安藤 翔太	九州大学病院	12
106	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	山田 俊輔	井形 美紀	九州大学病院	12
107	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	有田 ゆい	大田 修	九州大学病院	12
108	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	岡 英明	岡留 淳	九州大学病院	12
109	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	東 治道	林 佐保	九州大学病院	12
110	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	山田 俊輔	東 和樹	九州大学病院	12
111	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	有田 ゆい	松島 怜央	九州大学病院	12
112	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	山田 俊輔	南 優希	九州大学病院	12
113	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	有田 ゆい	吉澤 尚吾	九州大学病院	12
114	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	脳卒中専門医コース1	杉森 宏	尾崎 雄一	九州大学病院	12
115	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	糖尿病専門医コース	内菌 祐二	坂本 知子	九州大学病院	12
116	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	糖尿病専門医コース		池内 千明	九州大学病院	12
117	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	糖尿病専門医コース	岩瀬 正典	堀内 俊輔	九州大学病院	12
118	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	糖尿病専門医コース	原田 英	牟田 大毅	九州大学病院	12
119	第二内科(消化管内科)	消化管治療習熟コース	梅野 淳嗣	飯田 篤	九州大学病院	12
120	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	梅野 淳嗣	太田 佳奈美	九州大学病院	12
121	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	梅野 淳嗣	田中 健太郎	九州大学病院	12
122	第二内科(消化管内科)	消化管治療習熟コース	蔵原 晃一	田中 雄志	九州大学病院	12
123	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	矢田 親一朗	唐 千曉	九州大学病院	12
124	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	平川 克哉	中尾 凜	九州大学病院	12
125	第二内科(消化管内科)	消化管内科専門医コース	鳥巢 剛弘	長友 寿朗	九州大学病院	12
126	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	糖尿病専門医コース	大隈 俊明	青谷 領一郎	九州大学病院	12
127	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	糖尿病専門医コース		川野 聡子	九州大学病院	12
128	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	糖尿病専門医コース	佐々木 伸浩	東木 孝太	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

no	診療科名	コース名	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
129	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	糖尿病専門医コース	中村 宇大	濱小路 美貴	九州大学病院	12
130	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	中山 勝	井上 真凜	九州大学病院	12
131	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	長嶋 昭憲	岩田 寛子	九州大学病院	12
132	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	吉田 鉄彦	落合 由佳	九州大学病院	12
133	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	金井 英俊	木村 駿太	九州大学病院	12
134	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	中野 敏昭	園田 慎一郎	九州大学病院	12
135	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	中野 敏昭	中尾 能理子	九州大学病院	12
136	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	岡 英明	中村 昌平	九州大学病院	12
137	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	山田 俊輔	橋本 諒司	九州大学病院	12
138	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	有村 美英	濱小路 隆史	九州大学病院	12
139	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	池田 裕史	原 裕一郎	九州大学病院	12
140	第二内科(腎・高血圧・脳血管内科)	腎臓内科・医学博士取得コース	岡 英明	渡邊 菜穂子	九州大学病院	12
141	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	荻野 治栄	前原 浩亮	九州大学病院	12
142	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	野殿 光貴	九州大学病院	12
143	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	内田 尚宏	九州大学病院	12
144	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	徳島 礼実	九州大学病院	12
145	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	血液・腫瘍総合コース	中嶋 康博	宇都宮 渉	九州大学病院	12
146	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	甲斐田 実里	九州大学病院	12
147	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	永井 博史	九州大学病院	12
148	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	伊原 栄吉	奈須 峻之	九州大学病院	12
149	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	国府島 庸之	東 夕喜	九州大学病院	12
150	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	伊原 栄吉	稲田 泰亮	九州大学病院	12
151	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	国府島 庸之	大野 あかり	九州大学病院	12
152	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	伊原 栄吉	将口 佳久	九州大学病院	12
153	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	藤森 尚	梯 祥太郎	九州大学病院	12
154	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	藤森 尚	津田 桂	九州大学病院	12
155	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	藤森 尚	上田 孝洋	九州大学病院	12
156	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	田中 正剛	豊田 優貴	九州大学病院	12
157	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	国府島 庸之	堀内 敦史	九州大学病院	12
158	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	藤森 尚	小森 康寛	九州大学病院	12
159	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	伊原 栄吉	鈴木 祐輔	九州大学病院	12
160	第三内科	内分泌代謝・糖尿病・消化器総合コース	坂本 竜一	押領司 虞子	九州大学病院	12
161	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	澤田 英明	九州大学病院	12
162	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	伊原 栄吉	武内 翼	九州大学病院	12
163	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	血液・腫瘍総合コース	土師 正二郎	野中 貴史	九州大学病院	12
164	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	村上 龍之介	九州大学病院	12
165	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	坂本 竜一	原 真児登	九州大学病院	12
166	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	白石 弘樹	九州大学病院	12
167	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	伊原 栄吉	平山 雄大	九州大学病院	12
168	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	伊原 栄吉	本間 仁	九州大学病院	12
169	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	伊原 栄吉	今村 直人	九州大学病院	12
170	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	伊原 栄吉	今村 壮志	九州大学病院	12
171	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	坂本 竜一	末永 顕彦	九州大学病院	12
172	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	後藤 瞳	九州大学病院	12
173	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	伊原 栄吉	吉武 千香子	九州大学病院	12
174	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	小林 宏正	九州大学病院	12
175	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	船津 美奈	九州大学病院	12
176	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	長尾 倫子	九州大学病院	12
177	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	伊藤 寛治	九州大学病院	12
178	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	田中 康平	九州大学病院	12
179	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	島内 英	九州大学病院	12
180	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	北村 雄哉	九州大学病院	12
181	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	藤森 尚	平島 啓介	九州大学病院	12
182	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	伊原 栄吉	藤澤 愛	九州大学病院	12
183	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	伊原 栄吉	濱田 夢佳	九州大学病院	12
184	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	井上 禎子	九州大学病院	12
185	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	京 志穂子	九州大学病院	12
186	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	小笠原 諒	九州大学病院	12
187	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	今菌 直博	九州大学病院	12
188	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道	伊原 栄吉	清水 俊吾	九州大学病院	12
189	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	血液・腫瘍総合コース	土師 正二郎	吉玉 健人	九州大学病院	12
190	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	麻生 皆人	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

no	診療科名	コース名	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
191	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	有馬 直樹	九州大学病院	12
192	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	井形 公一	九州大学病院	12
193	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	池田 純香	九州大学病院	12
194	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道)	田中 正剛	伊地知 嵩治	九州大学病院	12
195	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	岡本 菜奈	九州大学病院	12
196	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	落合 弘樹	九州大学病院	12
197	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道)	田中 正剛	黒坂 一輝	九州大学病院	12
198	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道)	伊原 栄吉	近藤 悠樹	九州大学病院	12
199	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道)	田中 正剛	坂口 恵亮	九州大学病院	12
200	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道)	伊原 栄吉	篠原 大毅	九州大学病院	12
201	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	中野 嵩士	九州大学病院	12
202	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	鍋島 公喜	九州大学病院	12
203	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	西川 奈那	九州大学病院	12
204	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	藤城 隆志	九州大学病院	12
205	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	二見 貴人	九州大学病院	12
206	第三内科(肝臓・脾臓・内科)	消化管総合コース(消化管・肝臓・脾臓・胆道)	田中 正剛	宮崎 絵美里	九州大学病院	12
207	第三内科(内分泌・糖尿病内科)	内分泌代謝・糖尿病コース	坂本 竜一	吉田 萌	九州大学病院	12
208	心療内科	心療内科臨床研修コース	吉原 一文	江藤 紗奈美	九州大学病院	12
209	心療内科	心療内科臨床研修コース	高倉 修	増野 智章	九州大学病院	12
210	心療内科	心療内科臨床研修コース	安野 広三	田中 佑	九州大学病院	12
211	心療内科	心療内科臨床研修コース	細井 昌子	森崎 悠紀子	九州大学病院	12
212	心療内科	心療内科臨床研修コース	高倉 修	戸田 健太	九州大学病院	12
213	心療内科	心療内科臨床研修コース	波多 伴和	阿武 雅子	九州大学病院	12
214	心療内科	心療内科臨床研修コース	細井 昌子	藤本 晃嗣	九州大学病院	12
215	心療内科	心療内科臨床研修コース	吉原 一文	田縁 洋子	九州大学病院	12
216	心療内科	心療内科臨床研修コース	安野 広三	村上 匡史	九州大学病院	12
217	心療内科	心療内科臨床研修コース	安野 広三	伊津野 巧	九州大学病院	12
218	心療内科	心療内科臨床研修コース	高倉 修	末松 孝文	九州大学病院	12
219	心療内科	心療内科臨床研修コース	波多 伴和	内田 翔子	九州大学病院	12
220	心療内科	心療内科臨床研修コース	吉原 一文	大杉 康司	九州大学病院	12
221	心療内科	心療内科臨床研修コース	安野 広三	田中 貫平	九州大学病院	12
222	心療内科	心療内科臨床研修コース	波多 伴和	平 加奈子	九州大学病院	12
223	心療内科	心療内科臨床研修コース	吉原 一文	鶴田 伸代	九州大学病院	12
224	心療内科	心療内科臨床研修コース	山下 真	雨宮 光男	九州大学病院	12
225	心療内科	心療内科臨床研修コース	安野 広三	高野 惇	九州大学病院	12
226	心療内科	心療内科臨床研修コース	高倉 修	畠中 駿幸	九州大学病院	12
227	心療内科	心療内科臨床研修コース	吉原 一文	中村 拓也	九州大学病院	12
228	心療内科	心療内科臨床研修コース	波多 伴和	井上 彩	九州大学病院	12
229	心療内科	心療内科臨床研修コース	権藤元治	白石 有希雄	九州大学病院	12
230	心療内科	心療内科臨床研修コース	安野 広三	松崎 洸史	九州大学病院	12
231	心療内科	心療内科臨床研修コース	波多 伴和	坂井 亮介	九州大学病院	12
232	心療内科	心療内科臨床研修コース	宮田典幸	石原 稜己	九州大学病院	12
233	心療内科	心療内科臨床研修コース	乙成 淳	長谷川遥菜	九州大学病院	12
234	神経内科	神経内科専門医大学院コース	山下 謙一郎	野上健一郎	九州大学病院	12
235	神経内科	神経内科専門医コース	松瀬 大	岩尾和紀	九州大学病院	12
236	神経内科	神経内科専門医コース	松瀬 大	佐藤真依	九州大学病院	12
237	神経内科	神経内科専門医コース	松瀬 大	津村 周	九州大学病院	12
238	神経内科	神経内科専門医コース	眞崎 勝久	林田 仁志	九州大学病院	12
239	神経内科	神経内科専門医コース	渡邊 充	倉沢 亮	九州大学病院	12
240	神経内科	神経内科専門医コース	緒方 英紀	宮崎 哲	九州大学病院	12
241	神経内科	神経内科専門医コース	松下拓也	松吉 彩乃	九州大学病院	12
242	神経内科	神経内科専門医コース	松瀬 大	竹内 創	九州大学病院	12
243	神経内科	神経内科専門医コース	松下拓也	稲森 有貴子	九州大学病院	12
244	神経内科	神経内科専門医コース	松瀬 大	芹野 南美	九州大学病院	12
245	神経内科	神経内科専門医コース	眞崎勝久	本河 悠太	九州大学病院	12
246	神経内科	神経内科専門医コース	渡邊 充	宮崎 愛理	九州大学病院	12
247	神経内科	神経内科専門医コース	緒方英紀	内和田 英人	九州大学病院	12
248	神経内科	神経内科専門医コース	松下拓也	大津 朋之	九州大学病院	12
249	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	日浅 謙一	大鶴 亘	九州大学病院	12
250	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	日浅 謙一	渡部 僚	九州大学病院	12
251	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	日浅 謙一	加藤 あさひ	九州大学病院	12
252	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	日浅 謙一	吉武 智亮	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

no	診療科名	コース名	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
253	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	日浅 謙一	日野 立誠	九州大学病院	12
254	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	日浅 謙一	諫山 孔一	九州大学病院	12
255	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	日浅 謙一	塩入 慧亮	九州大学病院	12
256	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	日浅 謙一	中島 光香	九州大学病院	12
257	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	日浅 謙一	宮本 燎平	九州大学病院	12
258	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	日浅 謙一	和泉 遼	九州大学病院	12
259	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	田渕 拓也	九州大学病院	12
260	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	田中 雄大	九州大学病院	12
261	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	山本 優太	九州大学病院	12
262	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	浅川 宗俊	九州大学病院	12
263	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	児玉 泰樹	九州大学病院	12
264	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	木佐貫 洋志	九州大学病院	12
265	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	生田 圭	九州大学病院	12
266	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	内海 杏香	九州大学病院	12
267	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	渋谷 優介	九州大学病院	12
268	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	徳本 真弘	九州大学病院	12
269	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	郡山 遥平	九州大学病院	12
270	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	原 彩乃	九州大学病院	12
271	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	富士本 悠吾	九州大学病院	12
272	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	野間 彬仁	九州大学病院	12
273	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	岸田 峻	九州大学病院	12
274	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	徳本 秀哉	九州大学病院	12
275	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	糸長 潤平	九州大学病院	12
276	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	古賀 瑛一	九州大学病院	12
277	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	新宮 直人	九州大学病院	12
278	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	長友 隆寛	九州大学病院	12
279	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	青木 良平	九州大学病院	12
280	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	神殿 幸	九州大学病院	12
281	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	溝上 玄龍	九州大学病院	12
282	循環器内科	循環器内科専門医・心血管インターベンション重点コース	細川 和也	谷口 弦太郎	九州大学病院	12
283	呼吸器科	新内科専門医3年目	鈴木 邦裕	武田 恵介	九州大学病院	12
284	呼吸器科	新内科専門医3年目	鈴木 邦裕	森内 祐樹	九州大学病院	12
285	呼吸器科	新内科専門医3年目	鈴木 邦裕	中島 紀将	九州大学病院	12
286	呼吸器科	新内科専門医3年目	鈴木 邦裕	城 暁大	九州大学病院	12
287	呼吸器科	新内科専門医3年目	鈴木 邦裕	江頭 礼華	九州大学病院	12
288	呼吸器科	新内科専門医2年目	鈴木 邦裕	秋山 元太	九州大学病院	12
289	呼吸器科	新内科専門医2年目	鈴木 邦裕	山本 凱大	九州大学病院	12
290	呼吸器科	新内科専門医2年目	鈴木 邦裕	宮崎 由依	九州大学病院	12
291	呼吸器科	新内科専門医2年目	鈴木 邦裕	中原 聡志	九州大学病院	12
292	呼吸器科	新内科専門医2年目	鈴木 邦裕	首藤 広恵	九州大学病院	12
293	呼吸器科	新内科専門医2年目	鈴木 邦裕	長瀬 智信	九州大学病院	12
294	呼吸器科	新内科専門医1年目	鈴木 邦裕	秋山 優里(旧姓中村)	九州大学病院	12
295	呼吸器科	新内科専門医1年目	鈴木 邦裕	中島 和輝	九州大学病院	12
296	呼吸器科	新内科専門医1年目	鈴木 邦裕	牧 ひとみ	九州大学病院	12
297	呼吸器科	新内科専門医1年目	鈴木 邦裕	小池 愛	九州大学病院	12
298	呼吸器科	新内科専門医1年目	鈴木 邦裕	岸川 泰之	九州大学病院	12
299	呼吸器科	新内科専門医1年目	鈴木 邦裕	萩原 拓貴	九州大学病院	12
300	呼吸器科	新内科専門医1年目	鈴木 邦裕	伊佐 康平	九州大学病院	12
301	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	高山 芽	九州大学病院	12
302	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	田北 美香子	九州大学病院	12
303	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	池田 隆史	九州大学病院	12
304	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	久富 恵理香	九州大学病院	12
305	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	岩下 早紀	九州大学病院	12
306	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	田中 桜子	九州大学病院	12
307	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	中島 奈津実	九州大学病院	12
308	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	多田 有紀子	九州大学病院	12
309	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	田中 大貴	九州大学病院	12
310	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	守口 文花	九州大学病院	12
311	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	蒼 綾乃	九州大学病院	12
312	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	大塚 裕一郎	九州大学病院	12
313	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	川野 道子	九州大学病院	12
314	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	中村 恭子	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

no	診療科名	コース名	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
315	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	上杉 翔	九州大学病院	12
316	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	脇山 英	九州大学病院	12
317	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	里見 雪音	九州大学病院	12
318	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	藤 玄一郎	九州大学病院	12
319	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	中島 寛康	九州大学病院	12
320	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	進本 かれん	九州大学病院	12
321	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	広瀬 奈津子	九州大学病院	12
322	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	宋 威延	九州大学病院	12
323	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	溝口 景子	九州大学病院	12
324	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	中溝 めぐみ	九州大学病院	12
325	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	江崎 高明	九州大学病院	12
326	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	鐘江 愛	九州大学病院	12
327	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	金子 夏生	九州大学病院	12
328	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	竹内 優	九州大学病院	12
329	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	田中 愛理佳	九州大学病院	12
330	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	得居 広葉	九州大学病院	12
331	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	中野 幸太	九州大学病院	12
332	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	野田 貴美子	九州大学病院	12
333	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	東元 孔志	九州大学病院	12
334	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	蒔田 真也香	九州大学病院	12
335	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	松崎 聖司	九州大学病院	12
336	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	村田 結実子	九州大学病院	12
337	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	本村 真由子	九州大学病院	12
338	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	森下 佳登	九州大学病院	12
339	産科婦人科	産婦人科専門医コース	加藤 聖子	山本 洋	九州大学病院	12
340	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	宮内 雄太	九州大学病院	12
341	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	山喜多 悠一	九州大学病院	12
342	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	石倉 稔也	九州大学病院	12
343	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	畑井 恵理子	九州大学病院	12
344	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	佐藤 理絵	九州大学病院	12
345	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	田代 直子	九州大学病院	12
346	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	中島 佑	九州大学病院	12
347	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	大賀 慎也	九州大学病院	12
348	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	樋口 龍之介	九州大学病院	12
349	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	木村 翔	九州大学病院	12
350	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	坂倉 光	九州大学病院	12
351	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	井形優平	九州大学病院	12
352	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	明 祐也	九州大学病院	12
353	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	高松 絢	九州大学病院	12
354	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	出羽 航大	九州大学病院	12
355	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	泊 由里子	九州大学病院	12
356	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	松本 崇雅	九州大学病院	12
357	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	増田 景子	九州大学病院	12
358	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	藤川 諒太	九州大学病院	12
359	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	中島 彩	九州大学病院	12
360	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	谷口 法隆	九州大学病院	12
361	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	詫間 青葉	九州大学病院	12
362	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	山本 圭亮	九州大学病院	12
363	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	塚田 寛子	九州大学病院	12
364	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	三窪 亮二	九州大学病院	12
365	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	山下 もも	九州大学病院	12
366	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	野中 裕文	九州大学病院	12
367	小児科	小児科専門医コース2(地域重点)	大賀 正一	鈴木智也	九州大学病院	12
368	第一外科	外科専門医コース	岡部 安博	溝口 公久	九州大学病院	12
369	第一外科	外科専門医コース	岡部 安博	片山 直樹	九州大学病院	12
370	第一外科	外科専門医コース	岡部 安博	太田 耕二	九州大学病院	12
371	第一外科	外科専門医コース	岡部 安博	藤元 静太郎	九州大学病院	12
372	第一外科	外科専門医コース	藤田 逸人	森崎 隆史	九州大学病院	12
373	第一外科	外科専門医コース	藤田 逸人	廣高 健斗	九州大学病院	12
374	第一外科	外科専門医コース	藤田 逸人	松本 昂	九州大学病院	12
375	第一外科	外科専門医コース	藤田 逸人	松吉 隆仁	九州大学病院	12
376	第一外科	外科専門医コース	藤田 逸人	荒木 大幸	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

no	診療科名	コース名	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
377	第一外科	外科専門医コース	藤田 逸人	大河原 一真	九州大学病院	12
378	第一外科	外科専門医コース	藤田 逸人	小佐井 孝彰	九州大学病院	12
379	第一外科	外科専門医コース	藤田 逸人	木幡 亮	九州大学病院	12
380	第一外科	外科専門医コース	藤田 逸人	佐藤 瑤	九州大学病院	12
381	第一外科	外科専門医コース	藤田 逸人	黒木 瑠美	九州大学病院	12
382	第一外科	外科専門医コース	進藤 幸治	今村 柁樹	九州大学病院	12
383	第一外科	外科専門医コース	進藤 幸治	重松 慶一	九州大学病院	12
384	第一外科	外科専門医コース	進藤 幸治	新垣 滉大	九州大学病院	12
385	第一外科	外科専門医コース	進藤 幸治	畑井 三四郎	九州大学病院	12
386	第一外科	外科専門医コース	進藤 幸治	中西 芳之	九州大学病院	12
387	第一外科	外科専門医コース	進藤 幸治	富原 一貴	九州大学病院	12
388	第一外科	外科専門医コース	進藤 幸治	三淵 晴香	九州大学病院	12
389	第一外科	外科専門医コース	進藤 幸治	渡邊 欽	九州大学病院	12
390	第一外科	外科専門医コース	井手野 昇	武田 和樹	九州大学病院	12
391	第一外科	外科専門医コース	井手野 昇	奈良 司	九州大学病院	12
392	第一外科	外科専門医コース	井手野 昇	清水 透	九州大学病院	12
393	第一外科	外科専門医コース	井手野 昇	松本 大	九州大学病院	12
394	第一外科	外科専門医コース	井手野 昇	田中 星羽	九州大学病院	12
395	第一外科	外科専門医コース	井手野 昇	溝口 聖貴	九州大学病院	12
396	第一外科	外科専門医コース	井手野 昇	脇園 敦士	九州大学病院	12
397	第一外科	外科専門医コース	井手野 昇	古賀 艶可	九州大学病院	12
398	第一外科	外科専門医コース	井手野 昇	田中 佑一	九州大学病院	12
399	第一外科	外科専門医コース	井手野 昇	岡田 祐汰	九州大学病院	12
400	第一外科	外科専門医コース	井手野 昇	王 佳雄	九州大学病院	12
401	第一外科	外科専門医コース	井手野 昇	池田 彩華	九州大学病院	12
402	第二外科	がん専門医養成コース	森 正樹	松枝 花奈	九州大学病院	12
403	第二外科	がん専門医養成コース	森 正樹	利田 賢哉	九州大学病院	12
404	第二外科	がん専門医養成コース	森 正樹	豊田 怜	九州大学病院	12
405	第二外科	がん専門医養成コース	森 正樹	渡部 健二	九州大学病院	12
406	第二外科	がん専門医養成コース	森 正樹	田中 康	九州大学病院	12
407	第二外科	がん専門医養成コース	森 正樹	奥 結華	九州大学病院	12
408	第二外科	がん専門医養成コース	森 正樹	小齊 啓祐	九州大学病院	12
409	第二外科	がん専門医養成コース	森 正樹	佐野 瑛貴	九州大学病院	12
410	第二外科	がん専門医養成コース	森 正樹	筒井 由梨子	九州大学病院	12
411	第二外科	がん専門医養成コース	森 正樹	蓮田 博文	九州大学病院	12
412	第二外科	がん専門医養成コース	森 正樹	長野 太智	九州大学病院	12
413	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	河波 政吾	九州大学病院	12
414	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	木下 豪	九州大学病院	12
415	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	松堂 響人	九州大学病院	12
416	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	橋之口 朝仁	九州大学病院	12
417	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	中山 湧貴	九州大学病院	12
418	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	吉山 貴之	九州大学病院	12
419	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	洪田 祥平	九州大学病院	12
420	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	大森 幸恵	九州大学病院	12
421	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	池田 真一郎	九州大学病院	12
422	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	夏越 啓多	九州大学病院	12
423	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	小野 裕也	九州大学病院	12
424	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	播磨 朋哉	九州大学病院	12
425	第二外科	がん専門医養成コース	森 正樹	安東 由貴	九州大学病院	12
426	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	江端 由穂	九州大学病院	12
427	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	中國 謙介	九州大学病院	12
428	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	龍神 圭一郎	九州大学病院	12
429	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	白石 仁	九州大学病院	12
430	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	石川 琢磨	九州大学病院	12
431	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	豊原 絢子	九州大学病院	12
432	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	青柳 竹彦	九州大学病院	12
433	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	河田 古都	九州大学病院	12
434	第二外科	(外科専攻医)	森 正樹	斎藤 駿一	九州大学病院	12
435	第二外科	(外科専攻医)	中村 雅史	溝田 和弘	九州大学病院	12
436	第二外科	(外科専攻医)	中村 雅史	上野 晃平	九州大学病院	12
437	第二外科	(外科専攻医)	足立 英輔	佐藤 昇太	九州大学病院	12
438	第二外科	(外科専攻医)	中村 雅史	三田 純也	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

no	診療科名	コース名	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
439	第二外科	(外科専攻医)	池尻 公二	徳永 貴之	九州大学病院	12
440	第二外科	(外科専攻医)	古賀 聡	岩崎 恒	九州大学病院	12
441	第二外科	(外科専攻医)	中村雅史	吉田 百合絵	九州大学病院	12
442	第二外科	(外科専攻医)	足立 英輔	池田 俊司	九州大学病院	12
443	第二外科	(外科専攻医)	内山 秀昭	南 祐	九州大学病院	12
444	第二外科	(外科専攻医)	中村 雅史	隈部 充	九州大学病院	12
445	第二外科	(外科専攻医)	吉住 朋晴	伊藤 大地	九州大学病院	12
446	第二外科	(外科専攻医)	吉住 朋晴	藤川 乱麻	九州大学病院	12
447	第二外科	(外科専攻医)	吉住 朋晴	宗村 岳人	九州大学病院	12
448	第二外科	(外科専攻医)	吉住 朋晴	松田 真和	九州大学病院	12
449	第二外科	(外科専攻医)	吉住 朋晴	高階 悠	九州大学病院	12
450	第二外科	(外科専攻医)	吉住 朋晴	中西 充	九州大学病院	12
451	第二外科	(外科専攻医)	吉住 朋晴	舟越 弘樹	九州大学病院	12
452	第二外科	(外科専攻医)	吉住 朋晴	于 明洋	九州大学病院	12
453	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	青木 勇樹	九州大学病院	12
454	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	江口 大介	九州大学病院	12
455	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	金江 剛	九州大学病院	12
456	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	加峯 亮佑	九州大学病院	12
457	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	岸川 準	九州大学病院	12
458	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	木下 英士	九州大学病院	12
459	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	木原 大護	九州大学病院	12
460	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	倉員 太志	九州大学病院	12
461	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	黒石 聖	九州大学病院	12
462	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	上妻 隆太郎	九州大学病院	12
463	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	境 真未子	九州大学病院	12
464	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	白崎 圭伍	九州大学病院	12
465	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	杉田 敏明	九州大学病院	12
466	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	竹内 龍平	九州大学病院	12
467	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	徳永 修	九州大学病院	12
468	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	泊 健太	九州大学病院	12
469	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	名取 孝弘	九州大学病院	12
470	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	眞島 新	九州大学病院	12
471	整形外科	整形外科専門医コース	水内 秀城	柳田 隆宏	九州大学病院	12
472	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	安達 淳貴	九州大学病院	12
473	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	鮎川 周平	九州大学病院	12
474	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	伊田 修陸	九州大学病院	12
475	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	井上 隆広	九州大学病院	12
476	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	上原 航	九州大学病院	12
477	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	北 拓海	九州大学病院	12
478	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	松尾(木戸) 麻理子	九州大学病院	12
479	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	倉本 孝文	九州大学病院	12
480	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	河野 通仁	九州大学病院	12
481	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	坂井 崇一郎	九州大学病院	12
482	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	菅野 真未	九州大学病院	12
483	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	鈴木 真由佳	九州大学病院	12
484	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	鶴 翔平	九州大学病院	12
485	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	藤澤 徳仁	九州大学病院	12
486	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	矢部 恵士	九州大学病院	12
487	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	山本 瑛裕	九州大学病院	12
488	整形外科	整形外科専門医コース	遠藤 誠	吉本 将和	九州大学病院	12
489	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	有菌 奨	九州大学病院	12
490	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	井上 逸人	九州大学病院	12
491	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	今井 稜	九州大学病院	12
492	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	衛藤 凱	九州大学病院	12
493	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	江藤 聡一	九州大学病院	12
494	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	加藤 考喜	九州大学病院	12
495	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	河村 正太郎	九州大学病院	12
496	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	木村 太一	九州大学病院	12
497	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	古賀 源基	九州大学病院	12
498	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	笹栗 慎太郎	九州大学病院	12
499	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	陳林 秀紀	九州大学病院	12
500	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	鈴木 湧貴	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

no	診療科名	コース名	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
501	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	田中 一成	九州大学病院	12
502	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	土居 雄太	九州大学病院	12
503	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	縄田 知也	九州大学病院	12
504	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	原野 理沙	九州大学病院	12
505	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	古谷 武大	九州大学病院	12
506	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	星子 圭介	九州大学病院	12
507	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	宮房 玲奈	九州大学病院	12
508	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	八木 宏樹	九州大学病院	12
509	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	山下 道永	九州大学病院	12
510	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	山本 雅俊	九州大学病院	12
511	整形外科	整形外科専門医コース	濱井 敏	山本 卓司	九州大学病院	12
512	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	安部 健吾	九州大学病院	12
513	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	伊藤 輝	九州大学病院	12
514	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	江崎 克広	九州大学病院	12
515	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	兼田 慎太郎	九州大学病院	12
516	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	釘本 裕三	九州大学病院	12
517	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	久保田 聡	九州大学病院	12
518	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	黒木 陽介	九州大学病院	12
519	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	駒井 傑	九州大学病院	12
520	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	酒井 鴻	九州大学病院	12
521	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	佐々木 良	九州大学病院	12
522	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	高村 優希	九州大学病院	12
523	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	藤 良倫	九州大学病院	12
524	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	西田 悟	九州大学病院	12
525	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	橋詰 惇	九州大学病院	12
526	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	濱 大輝	九州大学病院	12
527	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	松本 洋太	九州大学病院	12
528	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	宮近 信至	九州大学病院	12
529	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	矢野 裕大	九州大学病院	12
530	整形外科	整形外科専門医コース	池村 聡	山田 尚平	九州大学病院	12
531	脳神経外科	臨床コース	庄野 禎久	長嶋孝昭	九州大学病院	12
532	脳神経外科	臨床コース	名取 良弘	安部啓介	九州大学病院	12
533	脳神経外科	臨床コース	馬場 武彦	小野光太郎	九州大学病院	12
534	脳神経外科	臨床コース	長嶺 知明	藤井 裕太郎	九州大学病院	12
535	脳神経外科	臨床コース	濱田 康宏	山下 壮二朗	九州大学病院	12
536	脳神経外科	臨床コース	鈴木 聡	岸崎 穂高	九州大学病院	12
537	脳神経外科	臨床コース	伊野波 論	麦田 史仁	九州大学病院	12
538	脳神経外科	臨床コース	中村 隆治	田代 洸太	九州大学病院	12
539	脳神経外科	臨床コース	今本 尚之	入江 耕介	九州大学病院	12
540	脳神経外科	臨床コース	芳賀 整	原田 亜由美	九州大学病院	12
541	脳神経外科	臨床コース	名取 良弘	要名本 あゆみ	九州大学病院	12
542	脳神経外科	臨床コース		末廣 貴史	九州大学病院	12
543	脳神経外科	臨床コース	宮園 正之	宮崎 貴大	九州大学病院	12
544	脳神経外科	臨床コース	一ツ松 勤	香野 草太	九州大学病院	12
545	脳神経外科	臨床コース	溝口 昌弘	福田 峻一	九州大学病院	12
546	脳神経外科	臨床コース	松本 健一	柳田 暢志	九州大学病院	12
547	脳神経外科	臨床コース	佐山 徹郎	外園 まりや	九州大学病院	12
548	脳神経外科	臨床コース	藤本 康裕	三宅 涼太	九州大学病院	12
549	心臓血管外科	心臓血管外科専門医コース	園田 拓道	岡本 光司	九州大学病院	12
550	心臓血管外科	心臓血管外科専門医コース	園田 拓道	橋積 優紀	九州大学病院	12
551	心臓血管外科	心臓血管外科専門医コース	園田 拓道	松尾 彰信	九州大学病院	12
552	心臓血管外科	心臓血管外科専門医コース	木村 聡	岩橋 啓介	九州大学病院	12
553	心臓血管外科	心臓血管外科専門医コース	神尾 明君	島田 尚慈	九州大学病院	12
554	心臓血管外科	心臓血管外科専門医コース	神尾 明君	弘中 裕士	九州大学病院	12
555	心臓血管外科	心臓血管外科専門医コース	神尾 明君	鹿子島 成充	九州大学病院	12
556	小児外科	一般小児外科重点コース(1)	伊崎 智子	鴨打 周	九州大学病院	12
557	小児外科	一般小児外科重点コース(2)	伊崎 智子	宮寄 航	九州大学病院	12
558	小児外科	一般小児外科重点コース(1)	伊崎 智子	植田(深水) 倫子	九州大学病院	12
559	小児外科	一般小児外科重点コース	伊崎 智子	古賀 翔馬	九州大学病院	12
560	小児外科	一般小児外科重点コース(1)	松浦 俊治	亀井 一輝	九州大学病院	12
561	小児外科	新生児外科重点コース(1)	松浦 俊治	山口 修輝	九州大学病院	12
562	小児外科	一般小児外科重点コース	松浦 俊治	松岡 史生	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

no	診療科名	コース名	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
563	小児外科	一般小児外科重点コース	松浦 俊治	山田 覚史	九州大学病院	12
564	小児外科	一般小児外科重点コース	松浦 俊治	田中 悠一朗	九州大学病院	12
565	皮膚科	皮膚科専門医養成＋熱傷・皮膚科救急ブライマリアコース	中原 剛士	今村 桜子	九州大学病院	12
566	皮膚科	皮膚科専門医養成＋褥瘡・ブライマリアコース	伊東 孝通	藤原 夏季	九州大学病院	12
567	皮膚科	皮膚科専門医養成＋皮膚病理強化学習コース	中原 剛士	今嶋 真緒	九州大学病院	12
568	皮膚科	皮膚科専門医養成＋熱傷・皮膚科救急ブライマリアコース	中原 剛士	塩道 泰子	九州大学病院	12
569	皮膚科	皮膚科専門医養成＋美容皮膚科実践コース	中原 剛士	永井 貴子	九州大学病院	12
570	皮膚科	皮膚科専門医養成＋熱傷・皮膚科救急ブライマリアコース	中原 剛士	藤井 晴香	九州大学病院	12
571	皮膚科	皮膚科専門医養成＋皮膚病理強化学習コース	中原 剛士	高森 温子	九州大学病院	12
572	皮膚科	皮膚科専門医養成＋美容皮膚科実践コース	中原 真希子	平野 早希子	九州大学病院	12
573	皮膚科	皮膚科専門医養成＋皮膚病理強化学習コース	伊東 孝通	加藤 美和	九州大学病院	12
574	皮膚科	皮膚科専門医養成＋皮膚科レーザー治療実践コース	中原 真希子	水野 亜美	九州大学病院	12
575	皮膚科	皮膚科専門医養成＋形成外科強化学習コース	辻 学	橋本 弘規	九州大学病院	12
576	皮膚科	皮膚科専門医養成＋熱傷・皮膚科救急ブライマリアコース	伊東 孝通	松永 琢磨	九州大学病院	12
577	皮膚科	皮膚科専門医養成＋皮膚病理強化学習コース	辻 学	井上 慶一	九州大学病院	12
578	皮膚科	皮膚科専門医養成＋褥瘡・ブライマリアコース	伊東 孝通	芥 茉実	九州大学病院	12
579	皮膚科	皮膚科専門医養成＋熱傷・皮膚科救急ブライマリアコース	中原 剛士	諫山 加奈	九州大学病院	12
580	皮膚科	皮膚科専門医養成＋皮膚病理強化学習コース	伊東 孝通	王 黎亜	九州大学病院	12
581	皮膚科	皮膚科専門医養成＋形成外科強化学習コース	伊東 孝通	川口 晃三	九州大学病院	12
582	皮膚科	皮膚科専門医養成＋熱傷・皮膚科救急ブライマリアコース	中原 剛士	杉 悠太	九州大学病院	12
583	皮膚科	皮膚科専門医養成＋美容皮膚科実践コース	中原 真希子	増田 遥	九州大学病院	12
584	皮膚科	皮膚科専門医養成＋皮膚科レーザー治療実践コース	中原 真希子	松本 紗也加	九州大学病院	12
585	皮膚科	皮膚科専門医養成＋美容皮膚科実践コース	中原 剛士	一口 真由美	九州大学病院	12
586	皮膚科	皮膚科専門医養成＋皮膚病理強化学習コース	中原 真希子	黒木 千晶	九州大学病院	12
587	皮膚科	皮膚科専門医養成＋熱傷・皮膚科救急ブライマリアコース	中原 真希子	田中 宏治	九州大学病院	12
588	皮膚科	皮膚科専門医養成＋形成外科強化学習コース	辻 学	利谷 理沙子	九州大学病院	12
589	皮膚科	皮膚科専門医養成＋褥瘡・ブライマリアコース	伊東 孝通	難波 実那子	九州大学病院	12
590	皮膚科	皮膚科専門医養成＋皮膚科レーザー治療実践コース	辻 学	西村 美紅	九州大学病院	12
591	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	李 賢	澄川 涼太	九州大学病院	12
592	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	猪口 淳一	近松 惣太郎	九州大学病院	12
593	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	塩田 真己	中村 暢孝	九州大学病院	12
594	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	武内 在雄	児浦 未季史	九州大学病院	12
595	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	李 賢	高山 梓	九州大学病院	12
596	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	猪口 淳一	古森 広輝	九州大学病院	12
597	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	塩田 真己	佐藤 嘉晃	九州大学病院	12
598	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	武内 在雄	柳井 建二	九州大学病院	12
599	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	柏木 英志	城戸 啓伍	九州大学病院	12
600	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	門司 恵介	宮崎 有沙	九州大学病院	12
601	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	阿部 立郎	小林 裕貴	九州大学病院	12
602	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	長沼 英和	貝通丸 雅士	九州大学病院	12
603	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	李 賢	空閑 正樹	九州大学病院	12
604	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	門司 恵介	児島 偉人	九州大学病院	12
605	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	柏木 英志	原口 裕介	九州大学病院	12
606	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	武内 在雄	三好 諒	九州大学病院	12
607	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	塩田 真己	持田 学	九州大学病院	12
608	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	猪口 淳一	森原 楓	九州大学病院	12
609	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	長沼 英和	和田 大和	九州大学病院	12
610	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	柏木 英志	貴島 惇博	九州大学病院	12
611	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	門司 恵介	古賀 俊暉	九州大学病院	12
612	泌尿器科	九州大学泌尿器科専門研修プログラム	李 賢	武富 映典	九州大学病院	12
613	精神科神経科	新専門医制度	平野 昭吾	浅田 茉以	九州大学病院	12
614	精神科神経科	新専門医制度	上野雄文	大石 誠	九州大学病院	12
615	精神科神経科	新専門医制度	加藤 隆弘	落合 正樹	九州大学病院	12
616	精神科神経科	新専門医制度	平野 羊嗣	甲斐 直路	九州大学病院	12
617	精神科神経科	新専門医制度	加藤 隆弘	神尾 拓郎	九州大学病院	12
618	精神科神経科	新専門医制度	石川 謙介	近藤 萌	九州大学病院	12
619	精神科神経科	新専門医制度	福治康秀	酒井 健一郎	九州大学病院	12
620	精神科神経科	新専門医制度	平野 昭吾	高畠 海志	九州大学病院	12
621	精神科神経科	新専門医制度	林 道彦	月形 遼	九州大学病院	12
622	精神科神経科	新専門医制度	石川 謙介	西岡 慧	九州大学病院	12
623	精神科神経科	新専門医制度	上野雄文	野村 愛	九州大学病院	12
624	精神科神経科	新専門医制度	上野雄文	村塚 秀輔	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

no	診療科名	コース名	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
625	精神科神経科	新専門医制度	光安博志	孟 祥音	九州大学病院	12
626	精神科神経科	新専門医制度	小原尚利	山田 亮	九州大学病院	12
627	精神科神経科	新専門医制度	平野 昭吾	井上 竣介	九州大学病院	12
628	精神科神経科	新専門医制度	平野 羊嗣	大坪 駿介	九州大学病院	12
629	精神科神経科	新専門医制度	平野 昭吾	川人 慎	九州大学病院	12
630	精神科神経科	新専門医制度	加藤 隆弘	住吉 孝久	九州大学病院	12
631	精神科神経科	新専門医制度	松原敏郎	武井 光	九州大学病院	12
632	精神科神経科	新専門医制度	磯村 周一	野内 友三郎	九州大学病院	12
633	精神科神経科	新専門医制度	磯村 周一	野内 侑季	九州大学病院	12
634	精神科神経科	新専門医制度	加藤 隆弘	堀内 結乃	九州大学病院	12
635	精神科神経科	新専門医制度	石川 謙介	横山 龍三	九州大学病院	12
636	精神科神経科	新専門医制度	平野 羊嗣	両林 美保里	九州大学病院	12
637	精神科神経科	新専門医制度	豊見山 泰史	今村 汐里	九州大学病院	12
638	精神科神経科	新専門医制度	上野雄文	今村 要介	九州大学病院	12
639	精神科神経科	新専門医制度	小原尚利	江夏 真一郎	九州大学病院	12
640	精神科神経科	新専門医制度	上野雄文	岡 桜子	九州大学病院	12
641	精神科神経科	新専門医制度	磯村 周一	角田 芳奈	九州大学病院	12
642	精神科神経科	新専門医制度	畑部 暢三	中山 立慈	九州大学病院	12
643	精神科神経科	新専門医制度	上野雄文	平方 秀典	九州大学病院	12
644	精神科神経科	新専門医制度	山本 宙	平野 才人	九州大学病院	12
645	精神科神経科	新専門医制度	畑部 暢三	廣田 真央	九州大学病院	12
646	精神科神経科	新専門医制度	石川 謙介	丸山 大輝	九州大学病院	12
647	精神科神経科	新専門医制度	豊見山 泰史	森口 浩史	九州大学病院	12
648	精神科神経科	新専門医制度	平野 昭吾	矢野 智子	九州大学病院	12
649	精神科神経科	新専門医制度	磯村 周一	山田 理史	九州大学病院	12
650	眼科	眼科総合習得コース	武田 篤信	下川 桜子	九州大学病院	12
651	眼科	眼科総合習得コース	武田 篤信	永田 健	九州大学病院	12
652	眼科	眼科総合習得コース	武田 篤信	永吉 美月	九州大学病院	12
653	眼科	眼科総合習得コース	武田 篤信	福井 卓磨	九州大学病院	12
654	眼科	眼科総合習得コース	武田 篤信	福田 洋輔	九州大学病院	12
655	眼科	眼科総合習得コース	武田 篤信	天野 佑理	九州大学病院	12
656	眼科	眼科総合習得コース	武田 篤信	高木 宣典	九州大学病院	12
657	眼科	網膜専門医育成コース	石川 桂二郎	浅原 健一郎	九州大学病院	12
658	眼科	眼科総合習得コース	武田 篤信	西田 崇	九州大学病院	12
659	眼科	網膜専門医育成コース	石川 桂二郎	津田 祐希	九州大学病院	12
660	眼科	黄斑疾患専門医育成コース	塩瀬 聡美	永田 純也	九州大学病院	12
661	眼科	眼科総合習得コース	武田 篤信	福山 文里	九州大学病院	12
662	眼科	黄斑疾患専門医育成コース	塩瀬 聡美	前原 祐亮	九州大学病院	12
663	眼科	角膜専門医養成コース	田邊 美香	孟 彩英	九州大学病院	12
664	眼科	眼科総合習得コース	武田 篤信	奥平 景子	九州大学病院	12
665	眼科	眼科総合習得コース	武田 篤信	清原 鴻平	九州大学病院	12
666	眼科	網膜専門医育成コース	石川 桂二郎	筒井 紘樹	九州大学病院	12
667	眼科	眼科総合習得コース	武田 篤信	姫野 夏季	九州大学病院	12
668	眼科	黄斑疾患専門医育成コース	塩瀬 聡美	秋山 実美	九州大学病院	12
669	眼科	網膜専門医育成コース	石川 桂二郎	弓削 昂大	九州大学病院	12
670	眼科	角膜専門医養成コース	田邊 美香	篠田 昌宏	九州大学病院	12
671	眼科	眼科総合習得コース	武田 篤信	村上 裕一	九州大学病院	12
672	眼科	眼科総合習得コース	石川 桂二郎	山本 夏帆	九州大学病院	12
673	眼科	黄斑疾患専門医育成コース	塩瀬 聡美	徳永 文音	九州大学病院	12
674	眼科	臨床研究医コース	塩瀬 聡美	村田 史織	九州大学病院	12
675	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	松本 希	碓 絵馬	九州大学病院	12
676	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	松本 希	高良 佳江	九州大学病院	12
677	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	村上 大輔	西平 啓太	九州大学病院	12
678	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	村上 大輔	原 香織	九州大学病院	12
679	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	若崎 高裕	犬塚 杏子	九州大学病院	12
680	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	若崎 高裕	浦辺 大志	九州大学病院	12
681	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	若崎 高裕	田中 康隆	九州大学病院	12
682	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	若崎 高裕	小出 彩佳	九州大学病院	12
683	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	若崎 高裕	斉藤 あゆみ	九州大学病院	12
684	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	若崎 高裕	本多 勇輔	九州大学病院	12
685	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	若崎 高裕	平野 雄介	九州大学病院	12
686	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	若崎 高裕	藤原 義宣	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

no	診療科名	コース名	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
687	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	若崎 高裕	宮崎 真優	九州大学病院	12
688	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	若崎 高裕	原田 里佳	九州大学病院	12
689	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	若崎 高裕	山田 衣未	九州大学病院	12
690	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	若崎 高裕	木田 裕太郎	九州大学病院	12
691	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	若崎 高裕	嬉野 悠太	九州大学病院	12
692	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	松尾 美央子	渡邊 真理	九州大学病院	12
693	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	松尾 美央子	近藤 玲未	九州大学病院	12
694	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	松尾 美央子	北川 理奈	九州大学病院	12
695	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	松尾 美央子	守谷 聡一朗	九州大学病院	12
696	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	松尾 美央子	浦本 怜奈	九州大学病院	12
697	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科専門医コース	松尾 美央子	樽谷 勇	九州大学病院	12
698	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	神谷 武志	西村 俊輔	九州大学病院	12
699	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	吉武 忠正	深澤 和憲	九州大学病院	12
700	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	鶴丸 大介	豊田 広之	九州大学病院	12
701	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	高山 幸久	西原 新也	九州大学病院	12
702	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	牛島 泰宏	浅田 大地	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

no	診療科名	コース名	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
703	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	神谷 武志	浅野 優美愛	九州大学病院	12
704	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	吉武 忠正	安部 時子	九州大学病院	12
705	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	鶴丸 大介	大塚 徹	九州大学病院	12
706	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	梅尾 理	廣瀬 華子	九州大学病院	12
707	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	牛島 泰宏	奈須 光佑	九州大学病院	12
708	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	神谷 武志	山崎 修司	九州大学病院	12
709	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	吉武 忠正	田嶋 創	九州大学病院	12
710	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	鶴丸 大介	黒木 翔太	九州大学病院	12
711	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	梅尾 理	佐野 淳徳	九州大学病院	12
712	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	磯田 拓郎	足達 咲紀	九州大学病院	12
713	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	山下 孝二	古賀 夕貴子	九州大学病院	12
714	放射線科	放射線診断専門医ならびに学位取得コース	岡本 大佑	平田 真之	九州大学病院	12
715	総合診療科	九州大学病院総合診療専門研修プログラム	村田昌之	佐々木 康作	九州大学病院	12
716	総合診療科	九州大学病院総合診療専門研修プログラム	村田昌之	加野 哲平	九州大学病院	12
717	総合診療科	九州大学病院総合診療専門研修プログラム	村田昌之	坂井 亮介	九州大学病院	12
718	総合診療科	九州大学病院総合診療専門研修プログラム	村田昌之	松崎 洸史	九州大学病院	12
719	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	杉部 清佳	江里 朋香	九州大学病院	12
720	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	梅原 薫	大屋 皆既	九州大学病院	12
721	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	松下 克之	上村 裕一郎	九州大学病院	12
722	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	藤田 愛	田中 隆堂	九州大学病院	12
723	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	前田 愛子	谷口 純彬	九州大学病院	12
724	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	中垣 俊明	渡部 直美	九州大学病院	12
725	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	中山 徹三	秋田 俊実	九州大学病院	12
726	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	瀬戸口 秀一	坂田 いつか	九州大学病院	12
727	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	住江 誠	赤坂 泰希	九州大学病院	12
728	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	白水 和宏	橋本 卓磨	九州大学病院	12
729	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	藤吉 哲宏	牧嶋 啓	九州大学病院	12
730	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	中山 昌子	濱地 良輔	九州大学病院	12
731	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	杉部 清佳	小佐々 翔子	九州大学病院	12
732	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	松下 克之	牧嶋 永莉	九州大学病院	12
733	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	藤田 愛	井村 一也	九州大学病院	12
734	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	前田 愛子	津村 星汰	九州大学病院	12
735	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	中垣 俊明	牟田 穂波	九州大学病院	12
736	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	中山 徹三	徳永 真柚	九州大学病院	12
737	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	木村 真実	佐々木 誉詩子	九州大学病院	12
738	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	中山 昌子	戴 佳恵	九州大学病院	12
739	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	梅原 薫	梯 光太郎	九州大学病院	12
740	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	山本 美佐紀	野黒美 正信	九州大学病院	12
741	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	信國 桂子	村上 智子	九州大学病院	12
742	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	土井 浩義	久富 修	九州大学病院	12
743	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	水田 幸恵	白木 亮太郎	九州大学病院	12
744	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	中川 拓	亀山 希	九州大学病院	12
745	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	佐々木 翔一	川崎 莉佳	九州大学病院	12
746	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	東 みどり子	船津 康孝	九州大学病院	12
747	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	住江 誠	野口 晃太郎	九州大学病院	12
748	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	白水 和宏	中野 友貴	九州大学病院	12
749	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	前田 愛子	後藤 萌葉	九州大学病院	12
750	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	松下 克之	柳橋 遼	九州大学病院	12
751	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	十時 崇彰	岩崎 哲也	九州大学病院	12
752	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	辛島 裕士	古川 愛菜	九州大学病院	12
753	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	山本 美佐紀	中嶋 章博	九州大学病院	12
754	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	梅原 薫	國崎 真智子	九州大学病院	12
755	麻酔科蘇生科	麻酔科専門医養成コース	土井 浩義	平本 琢也	九州大学病院	12
756	病理診断科・病理部	臨床コース	小田義直	柿木園 歩美	九州大学病院	12
757	病理診断科・病理部	臨床コース	小田義直	宮崎 佳子	九州大学病院	12
758	病理診断科・病理部	臨床コース	小田義直	谷口 緑	九州大学病院	12
759	病理診断科・病理部	臨床コース	小田義直	赤嶺 舜	九州大学病院	12
760	病理診断科・病理部	臨床コース	小田義直	檜原 直起	九州大学病院	12
761	病理診断科・病理部	臨床コース	小田義直	大石 智恵美	九州大学病院	12
762	病理診断科・病理部	臨床コース	小田義直	間 敬邦	九州大学病院	12
763	病理診断科・病理部	臨床コース	小田義直	宮本 拓海	九州大学病院	12
764	病理診断科・病理部	大学院コース	小田義直	松本 崇雅	九州大学病院	12

高度の医療に関する臨床研修

no	診療科名	コース名	指導医氏名	研修医氏名	勤務病院	研修期間 (月)
765	病理診断科・病理部	臨床コース	小田義直	太田 かおり	九州大学病院	12
766	形成外科	九州大学形成外科研修プログラム	吉田 聖	阿南 健太郎	九州大学病院	12
767	形成外科	九州大学形成外科研修プログラム	吉田 聖	武田 愛理	九州大学病院	12
768	形成外科	九州大学形成外科研修プログラム	吉田 聖	畠山 頌章	九州大学病院	12
769	形成外科	美ら海形成外科研修プログラム	吉田 聖	入江 香里	九州大学病院	12
770	形成外科	大分大学形成外科研修プログラム	吉田 聖	坂井 倫子	九州大学病院	12

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
別紙「令和4年度 看護部教育プログラム」のとおり
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容：新任副看護師長研修、新任看護師長研修 看護管理者研修1（副看護師長）、看護管理者研修2（看護師長） 中間管理者研修（リーダークラスの看護師） 入職時研修（新人看護師） ・研修の期間・実施回数：期間は令和4年度、実施回数は19回 ・研修の参加人数：看護師長41名、副看護師長97名、看護師140名（合計278名）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容：糖尿病看護、がん看護、周術期看護 ・研修の期間・実施回数：期間は令和4年度 11回 ・研修の参加人数：7人

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

令和4年度 看護部教育プログラム

＜新人看護職員研修＞

※緑色はOJTにて実施

No	日程	研修名・テーマ	研修内容・ねらい	担当・講師など	時間	会場	受講者数(人)
44	4/1	新採用者合同研修	九州大学病院・看護部の組織と役割を理解し、組織の一員である自分の果たすべき役割を理解する	病院内各部門担当者	1日	臨床大講堂	145
45	4/4・5・6	看護部新採用者入職時研修	九州大学病院・看護部の役割を学び、組織の一員であることを理解する 社会人としての基礎的知識・態度を身につける	各部門担当者 看護部長・副看護部長 看護師長 看護部各委員会・WG	2.5日	臨床大講堂	139
46	4/6・7・8	看護実践研修1	①接遇、コミュニケーション	看護師長	60分	臨床大講堂 中央会議棟 多目的会議室 A-C	139
			②看護職のためのセルフメンテナンス	教育担当	60分		
			③感染管理1(手指衛生・PPE・環境整備)	感染管理認定看護師 院内認定看護師(感染管理)	130分	スキルトレーニング センター	139
			④看護記録・電算研修	記録委員会	130分		
			⑤輸液管理	教育WG	130分		
47	4月 後半 WEB OJT	看護実践研修2 「感染管理2(針刺し防止)」「 血糖測定とインスリン療法」	①感染管理2(針刺し防止) ②血糖測定とインスリン療法	部署の指導者(教育WG、感染管理 領域や糖尿病ケア領域の認定 看護師、院内認定看護師 等)	OJT	所属部署	124
48	5/17・18	看護実践研修3 「フィジカルアセスメント1(呼吸を整 える技術)・口腔内・鼻腔内吸引、 気管吸引」	1. 基本的看護技術を身につけ、看護ケアを安全・正確 に実施できる能力を養う 2. 酸素療法、体位ドレーナージ、口腔内・鼻腔内吸引、気 管吸引の看護技術を実践できる	急性・重症患者看護専門看護師 院内認定看護師(呼吸ケア領域)	90分	スキルトレーニング センター	134
49	6月 WEB OJT	重症度、医療・看護 必要度研修	重症度、医療・看護必要度の正確な評価を実施 するための基礎的知識や方法を身につける	業務委員会 業務WG	WEB OJT	所属部署	123
50	6/9	看護実践研修4 「口腔ケア」	口腔ケア支援の方法を知り、適切で安全な口腔ケ アや食事介助の基本的知識を習得する	摂食・嚥下障害看護認定看護師	70分	スキルトレーニング センター	122
51	6/29	3か月フォローアップ	入職後3か月を振り返り、悩みや不安を話し合い 情報共有し、問題解決の方法を考える	教育担当	90分	中央会議棟 多目的会議室 A-C	122
52	7/14・ 15・19	看護実践研修5 「静脈血採血」	看護実践において必要な知識・看護技術を身に つけ、安全・正確に実施できる能力を養う	教育WG	130分	スキルトレーニング センター	121
53	2/2・3	看護実践研修6 「尿道留置カテーテル挿入・ 導尿」	尿路感染防止の学習を通して、尿道留置カテーテルの 挿入・管理、導入における清潔操作の基本的知識を知 る	感染管理認定看護師 院内認定看護師(感染管理) 感染管理担当	130分	スキルトレーニング センター	117
54	9-11月 OJT	血流感染防止対策、 CVC挿入介助、CVCドレ ッシング交換	1. 血流感染予防の学習を通して、CVC挿入・留置中の 管理における清潔操作の基礎知識を得る 2. CVC挿入介助(ガウンテクニック)・CVCドレッシング 交換の正しい手技を習得する	院内認定看護師(感染管理) 部署の感染管理担当看護師 教育WG	OJT	所属部署	119
55	8~9月 WEB	フィジカルアセスメント2 「心電図の基本と危険な 不整脈」	心電図の基礎および重症不整脈に関する知識を 習得し、看護実践に適用する	慢性心不全看護認定看護師	WEB	自己学習	122
56	9/16・20	クリティカルケア研修1 「心肺蘇生法: 一次救命処置」	一次救命処置(BLS)の知識・技術を習得し、看護 実践に適用する	急性・重症患者看護専門看護師 救急看護認定看護師 院内認定看護師(救急看護、小児 救急看護)	90分	スキルトレーニング センター	120
57	10/12・ 13・14	シミュレーション研修 (状況把握)	患者に必要な観察項目を理解し、得られた情報 から異常を察知し、報告できる能力を習得する	教育WG	120分	スキルトレーニング センター	117
58	10/26	6か月フォローアップ	入職後6か月を振り返り情報共有し、今後の目標 を考える	教育担当	90分	中央会議棟 多目的会議室 A-C	118
59	1/11・12	看護実践研修7 「静脈注射認定看護師育成 研修」	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・技 術を習得し、安全で確実な看護実践能力を身に つける	手術部医師 薬剤師 医療安全担当 感染管理担当 教育委員会 教育WG 静脈注射認定看護師育成WG	1日	臨床大講堂	120
60	1/13・16				90分 (演習)	スキルトレーニング センター	118
61	1/25				60分 (試験)	臨床小講堂1・2 臨床大講堂	122
62	2/17	12か月フォローアップ	入職後1年を振り返り、GWと全体討議を通して自己 の課題を明確にし次年度の目標を考える、また後輩を受 け入れる心構えを持つ	教育担当	90分	中央会議棟 多目的会議室 A-C	116
63	1年以内 OJT	輸液ポンプ・シリンジポンプの 使用法	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作方法が安全かつ 正確に実施できるように知識と技術を習得する	輸液・シリンジポンプ指導者	OJT	所属部署	125

令和4年度 看護部教育プログラム

<新卒2年目看護職員研修>

※緑色はWEBにて実施

No	日程	研修名・テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	会場	受講者数(人)
64	5月	がん看護(基礎編) ～がん医療の基礎知識～	がん対策推進基本計画について学び、がん診療連携拠点病院における看護師の役割について考えることができる	がん看護専門看護師 がん看護分野認定看護師		WEB	128
65	7/7・8	クリティカルケア研修2 「急変時の対応」	シミュレーションを通して急変時の対応に必要な知識・技術を学び、患者の異常に気づき、的確に対応する看護実践能力の向上に活かす	急性・重症患者看護専門看護師 救急看護認定看護師 小児救急看護認定看護師 院内認定看護師(救急看護)	90分	スキルトレーニングセンター	126
66	10/7	明日からできるスキンケア	スキンケアの基本を学び、最新ですぐにでも実践できる予防的スキンケアの技術を習得する	皮膚排泄ケア認定看護師	120分	中央会議棟 多目的会議室A-C	125
67	2/10	リフレクション(事例検討)	看護実践の振り返りや他者との看護(観)の共有により、自己の看護観、目指す看護を明らかにする	認定看護管理者 教育委員会	90分	中央会議棟 多目的会議室A-C	120
68	9月以降	部署間研修	基本的看護技術の未経験・未修得項目を習得する	各部署指導者	1～2日	ICU 救命ICU 手術部 各部署	126

<新卒3年目看護職員研修>

No	日程	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	会場	受講者数(人)
69	6/17	感染管理(実践編) ～正しい知識で院内感染を防ごう!～	感染対策マニュアルを活用し、正しい感染対策が実践できる 新人看護職員に対し正しい知識を持って指導ができる 感染対策に関する院内ルールを知る	感染管理担当 感染管理認定看護師	90分 ×2	中央会議棟 多目的会議室A-C	104
70	8/19	接遇研修	身だしなみや礼節について学び、組織人としての自覚を認識する	外部講師	90分	臨床大講堂	106
71	9/9	がん看護(実践編) ～がん治療と看護～	がん治療の特徴、副作用、症状、療養の場の特性を理解し、看護実践に活かすための基礎知識を得る ※8月よりWEB学習開始する。4つの動画講義を視聴し、集合研修でグループワークを行い学習する。	がん看護専門看護師 がん看護分野認定看護師	13:00～ 90分 ×2	WEB + 集合 (中央会議棟 多目的会議室A-C)	106

令和4年度 看護部教育プログラム(案)

<新卒2年目看護職員研修>

※緑色はWEBにて実施

日程	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	会場
5月	がん看護(基礎編) ～がん医療の基礎知識～	がん対策推進基本計画について学び、がん診療連携拠点病院における看護師の役割について考えることができる	がん看護専門看護師 がん看護分野認定看護師		WEB
7/7・8	クリティカルケア研修2 「急変時の対応」	シミュレーションを通して急変時の対応に必要な知識・技術を学び、患者の異常に気づき、的確に対応する看護実践能力の向上に活かす	急性・重症患者看護専門看護師 救急看護認定看護師 小児救急看護認定看護師 院内認定看護師(救急看護)	120分	スキルトレーニングセンター
10/7	明日からできるスキンケア	スキンケアの基本を学び、最新ですぐにでも実践できる予防的スキンケアの技術を習得する	皮膚排泄ケア認定看護師	120分	中央会議棟 多目的会議室A-C
2/10	リフレクション(事例検討)	看護実践の振り返りや他者との看護(観)の共有により、自己の看護観、目指す看護を明らかにする	認定看護管理者 教育委員会	90分	中央会議棟 多目的会議室A-C
9月以降	部署間研修	基本的看護技術の未経験・未修得項目を習得する	各部署指導者	1～2日	ICU 救命ICU 手術部 各部署

<新卒3年目看護職員研修>

日程	テーマ	研修のねらい(目的)、内容など	担当・講師など	時間	会場
6/17	感染管理(実践編) ～正しい知識で院内感染を防ごう!～	感染対策マニュアルを活用し、正しい感染対策が実践できる 新人看護職員に対し正しい知識を持って指導ができる 感染対策に関する院内ルールを知る	感染管理担当 感染管理認定看護師	90分 ×2	中央会議棟 多目的会議室A-C
8/19	接遇研修	身だしなみや礼節について学び、組織人としての自覚を認識する	外部講師	90分	臨床大講堂
9/9	がん看護(実践編) ～がん治療と看護～	がん治療の特徴、副作用、症状、療養の場の特性を理解し、看護実践に活かすための基礎知識を得る。 ※8月よりWEB学習開始する。4つの動画講義を視聴し、集合研修でグループワークを行い学習する。	がん看護専門看護師 がん看護分野認定看護師	13:00- 90分 ×2	WEB + 集合 (中央会議棟 多目的会議室A-C)

＜全看護職員研修＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
1	看護部長講演	4月	九州大学病院の看護の現状および今後の動向を理解し、看護が果たすべき役割を考える	看護部長	60分	Web	臨床大講堂	全看護職員 必須		1307
2	臨床看護研究発表会	11/19	看護研究の成果を発表し、看護の質の向上を図る	教育WG	am 0.5日	集合		全看護職員 対象		500
3	業務改善報告会	R5 2/4	各部署での業務改善の実践状況を発表し、意見交換を通して相互啓発の機会とする	業務WG	1日	集合				580

＜管理者研修＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
4	新任副看護師長研修	4/19・20	九州大学病院および看護部の理念や目標を理解し、中間管理者としての役割、責任を認識する	看護部長 副看護部長	1.5日	集合	打合せ室1	新任 副看護師長		8
5	新任看護師長研修	R5 3/	九州大学病院・看護の理念を再確認した上で、看護師長として必要な知識を修得し、自身が果たすべき役割を考える		1.5日	集合	打合せ室1	新任 看護師長		5
6	管理者研修1(全3回)	6/15	〈第1回〉看護管理実践計画の立案	看護部長 副看護部長 認定看護管理者 教育委員会看護師長	13:00- 150分	集合	外来棟5階 会議室2	副看護師長		97
	(目的) 看護管理者に求められる責務を理解し、部署目標の達成を目指して看護管理過程が達成できる能力を養う	9/7	〈第2回〉管理実践計画書(中間)							97
		2/15	〈第3回〉管理実践計画書(まとめ)							97
7	管理者研修2(全3回)	6/24	〈第1回〉看護管理実践計画の立案	調整中	13:00- 150分	集合	外来棟5階 会議室2	看護師長		42
	(目的) 現在の医療現場を視野に、病院管理や看護管理の側面から問題を分析し、解決策の方向性を形成する	9/30	〈第2回〉管理実践計画書(中間)	看護部長 副看護部長						42
		2/22	〈第3回〉管理実践計画書(まとめ)							42
	管理実践報告	適宜	他部署の管理の現状について情報共有し、自部署の運営に活かす	看護部	20分		外来棟5階 会議室2		42	
8	中間管理者育成研修(全8回) (目的) 看護管理の基礎を理解し、看護実践に活かす	8/10	〈第1回〉九州大学病院の理念と組織形態 看護管理とは	教育委員会	17:00- 90分	集合	北棟2階 共用会議室	条件を満たす 18名		17
		9/7	〈第2回〉人事・労務管理 看護管理の実際							18
		10/5	〈第3回〉看護職員の能力開発・人材育成 看護者の倫理							18
		10/27	〈第4回〉医療保険と介護保険、医療連携				WW1階 カンファレンス室			18
		11/9	〈第5回〉医療安全と医療事故発生時の対策、 感染管理と病棟管理							18
		12/14	〈第6回〉診療報酬と看護【公開講座】						臨床大講堂	
		1/11	〈第7回〉医療及び看護の質、経営管理と看護				WW1階 カンファレンス室			17
		1/26	〈第8回〉災害への対応、研修まとめ							18

＜リーダー・指導者育成＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	申込 締切
9	プリセプターシップ	6/23	〈第2回〉支援研修	教育担当	9:00-60分×2	集合	臨床大講堂	条件を満たし 推薦された者		79
	* プリセプターシップの役割と機能を学び、プリセプターとしての能力を高める	11/9	〈第3回〉支援研修		13:00-90分×2		中央会議棟 多目的会議室B・C			76
	2/8	〈第4回〉まとめ	13:00-60分×2				75			
10	プリセプターシップ (令和5年度)	R5 3/10	〈第1回〉準備研修		13:00-60分		臨床大講堂	条件を満たし 推薦された者		53
11	臨地実習指導者研修(新任) (全5回)	7/4	〈第1回〉ガイダンス、看護基礎教育課程 実習指導の原理	保健学科講師	90分	集合	臨床大講堂	新任実習指導者		45
	(研修の目的) * 看護教育にける実習の意義 及び実習指導者としての役割を 理解し、効果的な実習指導がで きるよう必要な知識を習得する	8/2	〈第2回〉看護学生の動向、看護過程	保健学科講師	90分	集合				45
	9/14	〈第3回〉カンファレンスの指導法・事例検討	保健学科講師 実習指導者育成WG	120分	集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	41			
	10/17	〈第4回〉実習指導の実際・事例検討	人事交流経験者 実習指導者育成WG	120分	集合	外来棟5階 会議室2	44			
	* 自己の看護観の再構築と実 習指導者像の形成を目指す	1/20	〈第5回〉まとめ	実習指導者育成WG	60分	集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C			40
12	臨地実習指導者研修 (新任アドバンスコース) (全2回) ※実習指導者研修と合同開催	7/4	〈第1回〉ガイダンス、看護基礎教育課程 実習指導の原理	保健学科講師	90分	集合	臨床大講堂	育成対象看護師		19
	8/2	〈第2回〉看護学生の動向、看護過程	保健学科講師	90分	集合		20			
13	教育担当者研修(全4回)	5/10	〈第1回〉組織の理念と人材育成	看護部長	13:00-60分	集合	外来棟5階 会議室2	教育WG ※第1回は 新規構成員は 必須		30
		6/14	〈第2回〉教育担当者としての役割	教育担当副看護部長						43
		10/11	〈第3回〉「上手にほめて・上手に注意できる」看護師を育てよう	教育委員会						44
		2/14	〈第4回〉目標達成の評価、まとめ	教育委員会						44
14	人工呼吸管理研修 (指導者クラス編:全3回)	①10/5 ②11/11 ③1月以降	基本的な管理からベッドサイドでのケアまで人工呼吸管理に必要な知識を理解し、看護実践や自部署での指導に適用できる	急性・重症患者看護 専門看護師 集中ケア認定看護師 院内認定看護師	①90分 ②120分 ③0.5日	Web 集合	学習段階: Ⅲ 15名 会場: MEセンター、ICU 受講条件: Servo iで人工呼吸管理を行う 一般病棟で、指導者を担う看護 師 全3回とも参加可能な者			8
15	輸液・シリンジポンプ指導者(第8期) 育成研修	1/17	輸液ポンプ・シリンジポンプの安全使用に関する知識や技術を確し、指導者として必要な知識・技術・態度を修得する 輸液ポンプ・シリンジポンプの安全な使用方法を指導する能力を養う	医療機器操作強化WG	pm 0.5日	集合	スキルトレーニング センター	該当者	40	32
16	輸液・シリンジポンプ指導者(第6期) 更新研修	2月	輸液ポンプ・シリンジポンプ指導者として必要な知識・技術・態度を再確認する	医療機器操作強化WG		Web		該当者	47	47
17	リーダーシップ	7/29	リーダーシップ理論を学び、リーダーとしての能力を高める	教育担当副看護部長 教育委員会	150分 ×2	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ	70	57
18	退院支援	9/28	地域包括ケアシステムにおける大学病院の役割を知り、退院支援時の調整に役立てる	医療連携センター(病床 管理・相談支援部門) 看護師長	13:00-90分	集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	Ⅲ	40	26
19	コーチング	11/22	コーチングの基本的スキルを習得し、看護実践や後輩の指導に適用する	京都大学 教授 福岡看護大学 教授 他	180分	集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C	Ⅲ	50	57
20	問題解決技法	8/31	自部署の現状把握、解決策の検討・分析などを通して、看護管理能力を養う。	福岡看護大学 教授	pm 0.5日	集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ・Ⅳ	50	45
21	キャリア開発支援【ライブ配信】	11/14	看護職としてのキャリアデザインについて学び、自身のキャリア開発に役立てる	三重大学 准教授	90分	集合	臨床小講堂 2	Ⅲ・Ⅳ	50	37

＜看護研究＞

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
22	臨床看護研究の基礎知識 ～研究のタネを見つけよう～	7/13	看護研究の基本を理解し、臨床看護研究へ取り組むことができる	保健学科講師	13:30-90分	集合	中央会議棟多目的会議室A-C	Ⅱ・Ⅲ	30	49

<看護倫理>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
23	看護倫理の基本	9月	看護倫理について理解を深め、倫理的視点を持つ	看護部倫理委員会	60分	Web	中央会議棟 多目的会議 室A-C	全	多数可	450
24	看護倫理1	10/19	事例を通して倫理上の問題に気づき、看護倫理の理解を深める		90分 ×3	集合		Ⅱ	40 ×3	130
25	看護倫理2	11/30	事例を通して倫理上の問題解決の方向性を探り、看護倫理の理解を深める		120分 ×2	集合		Ⅲ	40 ×2	62

<看護記録>

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
26	看護記録の実際	11/1	看護ケアのアセスメント力の向上のために、記録を振りかえり、重要性を学ぶ	看護部記録委員会	120分	集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C	Ⅲ ※新任の記録委員は必須	40名	41

<専門領域> ※日付順

No	研修名	日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
27	感染管理(指導者編)	5/20	正しい感染対策を理解し、部署での実践・指導を実践する 感染対策マニュアルが活用できる	感染管理認定看護師	17:00- 45分	集合	臨床大講堂	Ⅲ・Ⅳ 60名 院内認定看護師 (感染管理)、感染 リンクナースは必 須		71
28	糖尿病患者の理解とケア	5/25	糖尿病患者の病態と治療を理解し、患者のライフステージ、発達課題に応じた看護援助を学ぶ	慢性疾患看護 専門看護師 糖尿病看護認定看護師	120分	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C	Ⅱ	30	22
29	循環管理(実践編) ～心臓カテーテル検査前後の看護と 心不全患者への関わりを学ぼう～	7/27	心臓カテーテル検査前後の看護が分かり、循環器疾患患者の異常を早期発見し、報告や必要な対処ができる 虚血性心疾患患者や心不全患者の看護を学び、退院後の生活について考えることができる	慢性心不全看護 認定看護師	13:00- 90分 ×2	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	Ⅱ	30 ×2	50
30	急変の兆候を見逃さない！ フィジカルアセスメント	10/4	急変の兆候を理解し、身体症状の訴えだけでなく、身体所見やバイタルサインをもとに統合的な判断を行うために必要なフィジカルアセスメント技術を習得する	急性・重症患者看護 専門看護師 救急看護認定看護師 院内認定看護師	90分 ×3	Web 集合	スキルトレーニング センター	Ⅱ	15or20 ×3	55
31	これで防げる！褥瘡とスキン-テア予防	8/24	褥瘡とスキン-テアのハイリスク患者を理解し、患者に応じた予防ケアや局所管理に必要な知識や技術を習得する	皮膚排泄ケア 認定看護師	13:00- 90分 (×2)	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C	Ⅱ	30 (×2)	50
32	糖尿病看護 ～最新の薬物療法、チームの力で 困っていることを解決しよう～	8/30	糖尿病患者の薬物療法が安全に行えるようリスクマネジメントの視点について学び、実践モデルとなる 糖尿病患者が自宅でも安全に療養を継続できるように生活調整支援の方法を学び、部署で指導的役割を担う	慢性疾患看護 専門看護師 糖尿病看護認定看護師	17:00- 60分	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	Ⅲ	30	23
33	呼吸フィジカルアセスメントの基本	9/6	フィジカルアセスメント(呼吸音聴診)を習得し、患者の状況に応じた適切な看護ケアの選択と実践につなげることができる	急性・重症患者看護 専門看護師 集中ケア認定看護師 院内認定看護師	90分 ×3	Web 集合	スキルトレーニング センター	Ⅱ	20 ×3	60
34	身体抑制を回避できる！ 認知症・せん妄看護	9/21	身体抑制を回避できる認知症・せん妄看護のポイントに気づき、部署における身体抑制件数減少に取り組むことができる	認知症看護認定看護師	13:00- 90分	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	Ⅲ・Ⅳ	30	40
35	がん看護(実践編) ～症状マネジメント～	10/21	がん治療期の症状マネジメントの基本的な知識を習得し、がん看護の実践能力向上を図る	がん看護領域 専門・認定看護師	13:00- 90分 ×2	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室A-C	Ⅱ	40 ×2	47
36	小児看護「子どもが苦手」を克服 しよう—子どもと接する機会が 少ない人こそ学習を—	10/28	子どもの権利、小児の発達段階を踏まえた関わりについて理解し、実践に活かすことができる 育てにくさを抱えた家族について理解を深め、支援できる 幼少期に病気を発症した小児特有の発達段階を踏まえた援助の必要性、他職種や地域連携について考えることができる	小児看護領域 専門看護師・認定看護師	17:00- 90分	Web 集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C	Ⅲ・Ⅳ	30	24
37	腹膜透析患者の看護	11/4	腹膜透析のバッグ交換手技獲得と観察の視点を身につけ、看護実践及び指導に活かす	透析看護認定看護師	13:00- 90分	Web 集合	スキルトレーニング センター	Ⅱ・Ⅲ	30	25
38	褥瘡予防 体圧分散マットレスと ポジショニングに強くなる！	12/14	1. 体圧分散マットレスの特徴を理解できる 2. 体位変換の必要性が理解できる 3. 基本的なポジショニングの知識と技術を習得できる	皮膚排泄ケア 認定看護師	13:00- 90分 ×2	Web 集合	スキルトレーニング センター	Ⅱ	20 ×2	49

<院内認定看護師育成>

No	研修名		日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
39	院内認定看護師育成研修 (認定試験含む全11回) (研修目的) 専門分野において高い知識・技 術を修得し看護実践や教育・指 導に活かす		① 5/23	1. 感染管理	感染管理認定看護師	90分	集合	スキルトレーニ ングセンター・手 術部 ※修了式 外来棟5階 会議室2	別途募集 あり		各回 9人
			② 6/20	2. がん看護(2年間コース:2/2年目)	がん看護領域 専門・認定看護師						各回 5人
			③ 7/25								
			④ 8/22	3. がん薬物療法看護	がん看護専門看護師 がん化学療法看護 認定看護師						各回 7人
			⑤ 9/22								
			⑥ 10/31	4. 周術期看護	手術看護認定看護師						各回 4人
			⑦ 11/28								
⑧ 12/19	5. クリティカルケア(2年間コース:2/2年目)	急性・重症患者看護 専門看護師 集中ケア認定看護師 救急看護認定看護師	各回 7人								
⑨ R5年 1/23											
⑩ 2/20											
		⑪ 3/1 試験	6. 糖尿病ケア	慢性疾患看護 専門看護師 糖尿病看護認定看護 師						各回 6人	
		⑫ 3/15 修了式									
40	院内認定 看護師 フォロー アップ	周術期看護	5/9	院内認定看護師育成研修の企画内容を理解できる 指導の方法が理解できる 院内認定看護師間で情報共有し、指導につなげることが できる	手術看護認定看護師	17:00- 60分	集合	外来棟5階 カンファレン ス室	院内 認定 看護師	7	8
		がん看護	1/31	がん看護院内認定看護師に必要な、緩和ケアの実践能力 の維持・向上を図る 部署で看護を提供するために必要な最新知識を習得し活 用できる	がん看護領域 専門・認定看護師	17:00- 60分	集合	中央会議棟 多目的会議 室B・C		50	20
		糖尿病看護	第4水 隔月 (奇数月)	院内認定看護師が、資格取得後も糖尿病に関する最新の 知識と技術を習得できる 糖尿病内科の医師と症例検討を行うことにより、支援に難 渋する症例に対応できる支援方法を考えることができる	慢性疾患看護 専門看護師 糖尿病看護認定看護 師 糖尿病専門医など	17:00- 30分	集合	北9-2 カンファレンス 室		20	13

<静脈注射認定看護師育成>

No	研修名		日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
41	静脈注射認定看護師育成研修		6/1	静脈留置針を中心に、静脈注射に必要な知識・技術 を習得し、安全で確実な看護実践能力を身につける	麻酔科医師 薬剤師 副看護部長 安全管理担当 感染管理担当 IVナース育成WG	講義 1日	集合	臨床大講堂	2年目以上の 該当者 (新人看護職員 は別途開催)		57
			6/8			演習 90分		スキルトレーニング センター			38
			6/15			筆記 試験 60分		臨床小講堂 2			26

<緩和ケアリンクナース育成>

No	研修名		日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
42	緩和ケアリンクナース育成研修 (全2日間)		11/18	緩和ケアを必要としている患者ががんと診断された時 から、質の高い緩和ケアの提供ができるよう「意思決定支 援」「苦痛緩和」「専門家への橋渡し・連携」を中心に看護 師の実践能力を向上させる	がん看護領域 専門・認定看護師	13:00- 90分	Web 集合	外来棟5階 会議室2	Ⅲ ※2日間 とも受講 可能な 者	15	11
			12/16			13:00- 90分					

<看護助手研修>

No	研修名		日程	研修のねらい(目的)・テーマ・内容など	担当・講師など	時間	方法	会場	学習 段階	募集 人数	受講者 数(人)
43	看護助手研修		5/31	<第1回>診療報酬上求められる基礎知識	業務委員会 業務WG	120分×2	集合	外来棟5階 会議室2	看護助手		70
			7/6	<第2回>移乗・移送		120分×2		未定			71
			12/12	<第3回>コミュニケーション		120分×2		外来棟5階 会議室2			74
			2/6	<第4回>ベッドメイキング		120分×2		外来棟5階 会議室2			77
			5/31	診療報酬上求められる基礎知識		16:00- 90分		外来棟5階 会議室2	夜勤看護助手		38

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 中村 雅史
管理担当者氏名	各診療科長、放射線部長・診療録管理室長 石神康生、薬剤部長 家入一郎、 総務課長 徳吉透、医療連携センター長 中川尚志、医療管理課長 川勝 美樹、患者サービス課長 吉松勝

		保 管 場 所		管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課	・診療に関する諸記録は、平成25年1月以降、全て電磁的記録として無期限保存である。 ・平成24年12月以前の診療に関する諸記録で紙であるものは本学で定められた保存期間10年未満は診療録管理室において中央管理し、保存期間満了時は原則廃棄とする。
		各科診療日誌	病棟	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
		高度の医療の提供の実績	患者サービス課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	患者サービス課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携センター	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	患者サービス課	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療管理課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療管理課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療管理課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療管理課	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療管理課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療管理課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療管理課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療管理課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療管理課	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療管理課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療管理課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療管理課	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療管理課	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療管理課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療管理課	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療管理課	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療管理課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療管理課	
		医療安全管理部門の設置状況	医療管理課	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療管理課	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療管理課	
		監査委員会の設置状況	医療管理課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療管理課	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療管理課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療管理課 患者サービス課	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課	
		職員研修の実施状況	医療管理課	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療管理課	
		管理者が有する権限に関する状況	総務課	
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 中湖 博則
閲覧担当者氏名	総務課長 徳吉 透
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要 九州大学が保有する法人文書について「独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、九州大学に対し開示を請求することができる。 【開示請求できる文書】 九州大学の役員又は職員が職務上作成又は取得した文書、図面、電磁的記録で職員が組織的に用いるものとして、九州大学において保有しているものが対象となる。 ただし、書籍等の市販物や、一般の閲覧に供するために特別の管理がなされている機関として総務省の指定を受けている九州大学附属図書館、九州大学大学文書館が保有する歴史的資料又は学術研究用資料等は開示請求の対象から除く。 【不開示となる文書】 開示請求を受けた法人文書は原則としてすべてを開示するが、不開示となる情報が記録されている場合は、その部分を除いて開示する。九州大学では、開示請求を受けた法人文書について、「九州大学における法人文書の開示基準」に基づき、開示・不開示を決定する。 【開示・不開示決定の通知】 法人文書の開示・不開示の決定は、原則として開示請求があった日から30日以内に行われ、その後速やかに開示請求者に通知する。開示決定期限が30日を超えて延長となる場合はその旨開示請求者に通知する。 【開示請求手数料、開示実施手数料】 ○開示請求手数料 開示請求に係る法人文書1件につき300円 ○開示実施手数料 開示決定後、開示の実施に際して、実施方法ごとに定められた開示実施手数料を納めなければならない。例として、閲覧による場合は100頁単位ごとに100円、写しの交付による場合は、1頁ごとに10円。なお、開示実施手数料は法人文書1件につき通常300円まで控除される。 【開示請求方法】 法人文書開示請求書に必要な事項を記載し、九州大学情報公開事務室に提出する(郵送可)。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数		延	0	件
閲 覧 者 別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
・ 指針の主な内容： 1. 安全管理に関する基本的考え方 2. 医療安全管理のための委員会等の組織に関する基本的事項 3. 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 4. 医療事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 8. その他本院における医療安全管理の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無（ 有 ） ・ 開催状況：年 12 回 ・ 活動の主な内容： （1）医療事故防止のための具体的措置に関すること。 （2）医療安全管理マニュアルに関すること。 （3）医療安全に係る職員の教育及び研修に関すること。 （4）医療事故等発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知に関すること。 （5）改善策の実施状況調査及び見直しに関すること。 （6）医療事故等発生時の診療録や看護記録等に関すること。 （7）医療事故等発生時の患者及び家族への説明に関すること。 （8）インシデントレポート及び事故報告書の分析に関すること。 （9）医療安全管理部の業務に関すること。 （10）医療事故調査に関すること。 （11）その他事故防止及び医療の安全性の向上等にかかる医療安全管理に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	オンライン研修により実施

- ・ 研修の内容（すべて）：
 - ・ 安全で質の高い医療の提供について
 - ・ 当院の医療安全対策について
 - ・ 基本的な感染対策（新型コロナウイルス対策も含めて）
 - ・ 2021年度に発生した事例から学ぶ医療安全
 - ・ 紛争リスクの高いインシデント事例への対応について
 - ・ B型肝炎再活性化対策
 - ・ せん妄予防対策
 - ・ 医薬品の適正使用について

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

院内報告制度においては影響度分類レベルを0-5まで8段階（3、4は夫々a、bの別有り）に分類して医療安全管理部への報告を義務づけている（報告書類は電子システムによる）。特に3b以上の重篤なものについては臨床試験の対象者であった場合にAR0安全性情報管理室への報告も義務づけている。これらは「医療安全管理マニュアル」及び常に携行させている簡易版ポケットマニュアル（毎年改訂）に明記している。また、これらのガバナンス確保のため各部署にリスクマネージャー、サブリスクマネージャーを配置しワッペンにて明示している。

○インシデント情報の発信

報告されたインシデント事例から特に警鐘を促すべき内容について、毎月1回インシデント情報（ポスター）を作成、また日本医療機能評価機構からの医療安全情報や報道事例について院内職員へ注意喚起している。

。

○安全パトロールによる病院共通ルール遵守状況の確認

○リスクマネージャーを対象とした研修会の開催

○医療安全管理マニュアルとホームページの改訂

○「M&Mカンファレンス」の開催、検討結果のホームページへの掲載

○患者・手元情報の確認方法の改訂と周知

○再活性化B型肝炎対策について、フローチャートの改訂と周知

○せん妄マニュアルの作成と周知

○画像診断報告書未開封に対して未読管理システムの改修

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
- 指針の主な内容： 平成19年7月に制定した「九州大学病院における院内感染対策のための指針」の主な内容は次のとおり。 - 院内感染対策に関する基本的考え方 - 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 - 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 - 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 - 感染症発生時の対応に関する基本方針 - 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 - その他本院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
- 活動の主な内容： - 院内感染防止対策のための措置に関すること。 - 院内感染防止対策に係る職員の研修及び教育に関すること。 - 院内感染発生時の原因の分析究明、改善策の立案、実施及び職員への周知等に関すること。 - グローバル感染症センター業務のうち、院内における業務に関すること。 - その他院内感染防止対策に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	主にオンライン研修により実施
研修の内容（すべて）： 基本的な感染対策（新型コロナウイルス対策も含めて） ASTによる抗菌薬適正使用 アンチバイオグラムの活用と適切な検査の実施 2021年度サーベイランス報告（エピネット報告、VAP、SSI、BSI） 新型コロナウイルス感染症について	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
- 病院における発生状況の報告等の整備（有） - その他の改善のための方策の主な内容： 感染症法に基づく院内報告基準の改訂と職員への指導	

感染情報レポート等活用による情報共有と部署への指導

アウトブレイク予兆ラウンド、早期介入

ICT教育ラウンド・環境ラウンドでの標準予防策の遵守確認

経路別予防策の指導・教育

手指消毒剤使用量モニタリングと手指衛生遵守率確認

ベストプラクティスの作成、遵守状況確認

抗菌薬適正使用に向けた介入（血液培養陽性症例、抗MRSA薬・広域抗菌薬使用症例、カルバペネム系抗菌薬長期使用症例）

感染症予防のためのワクチン接種の推進

血液培養複数セット採取率

新型コロナウイルス感染症対策の教育

針刺し・切創、血液体液曝露防止対策の教育

サーベイランス（BSI、VAP、UTI、SSI）

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 25 回
- 研修の主な内容： - 令和 4 年度は全体研修会を 2 回、採用者研修会を 4 回、職種別研修会を 19 回実施。 - 医薬品の適正使用について - 薬剤部におけるリスクマネジメント - 薬剤のオーダ演習 - 医薬品の管理・薬剤の基礎知識 等	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
- 手順書の作成 (有) - 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： - 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成 - 職員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施 - 医薬品の業務手順書に基づく業務の実施 - 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策の実施	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
- 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) - 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： - 未承認：事例なし - 適応外： - 高度な補正が必要な患者に対する 1 日投与上限を超える KCL の使用 - 植込型補助人工心臓装着中の消化管出血再発予防のためのオクトレオチドの使用 - 肛門癌に対する根治的化学放射線療法時の併用薬剤としてのシスプラチンの使用 - 禁忌：特筆すべき事例なし - その他の改善のための方策の主な内容： - 毎月疑義照会報告を医療安全管理委員会等で実施し、リスクマネージャーを通じて周知麻薬、向精神薬、筋弛緩薬、毒薬は業務手順チェック表に基づき管理状況を点検。 4 半期に 1 回定数配置薬チェックシートに基づき、管理状況点検ヒヤリハット情報の発出	

適応外使用の把握、情報の収集 等

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 52 回
・ 研修の主な内容： 今年度は、医療機器の安全についてハイブリッド形式による開催と対面による開催にて研修が行われた。主な研修の内容は、国で定められている生命維持管理装置5機種（人工呼吸器・透析装置・人工心肺装置・除細動器・閉鎖式保育器）を中心に安全使用・管理・トラブルシューティングなどを研修した。その他、新規導入機器に対して研修を実施した。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 （ 有 ） ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： (1)人工心肺装置・補助循環装置、人工呼吸器、血液浄化装置、除細動装置、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置等の保守点検を行っている。 (2)日常点検（始業、使用中、終業）と定期点検を添付文書、取扱説明書、操作手順により実施している ※2ヵ月に1回、医療機器安全管理専門委員会にて報告。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （ 有 ） ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：なし ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1)院内情報は医療安全管理部に報告され、管理者及び医療安全管理責任者に情報が伝達される。 (2)院内情報は医薬品医療機器総合機構配信サービス等により情報を収集している。 (3)収集した情報は医療機器安全管理専門委員会において各委員会に報告し、関連部署へ周知している。 ○医療機器の安全使用を目的とした情報については、独立行政法人医薬品医療機器総合機構のホームページ上に掲載されているPMDAの医療安全情報、公益財団法人日本医療機能評価機構のホームページ上に掲載されている医療安全情報などから情報収集を行い、管理者及び医療安全管理責任者、医療機器安全管理責任者へ報告されている。また、医療機器安全管理専門委員会において内容を審議し、各委員に周知、関連部署の職員に通知している。なお、医療安全管理	

部とも連携し、リスクマネージャー会議を通じて各部署のリスクマネージャーに周知、リスクマネージャーより各部署の職員へも周知している。また、医療安全管理部員は月に2回、定例ミーティングにてインシデントの振り返りと対策を検討している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
・ 責任者の資格（医師・歯科医師） ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者として、「安全管理・危機管理」を担当する副病院長を配置している。 医療安全管理部長、医薬品安全管理専門委員会委員長（医薬品安全管理責任者）、医療機器安全管理専門委員会委員長（医療機器安全管理責任者）も委員として組織される医療安全管理委員会に委員として参画している。 なお、平成28年9月に、医療安全管理体制に医療安全管理を担当する副病院長の位置づけを明確化した。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（7名）
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 医薬品安全管理手順書の情報提供管理規定ならびに院内情報提供マニュアルに従い、情報の整理、周知している。なお、周知状況については、該当診療科のリスクマネージャー宛に配信した情報について確認記録を残している。 ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 適応外使用については、疑義照会入力 of 徹底、病棟薬剤師から情報収集、倫理委員会への申請 ・ 承認情報の共有、インシデント報告書等により把握を行っている。禁忌については、併用禁忌、病名禁忌ともに処方時警告表示される。必要に応じて薬剤師が疑義照会している。 なお、疑義照会で得られた適応外使用、禁忌情報は毎月確認し、医療安全管理部と医療安全委員会で結果を報告・共有し、必要時指導を行っている。 未承認薬については原則該当倫理委員会承認後の使用となっている。 ・ 担当者の指名の有無（有） ・ 担当者の所属・職種： （所属：薬剤部，職種 薬剤師）（所属：，職種）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（有） ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容	

：九州大学病院インフォームド・コンセントガイドライン

インフォームド・コンセントの成立の要件

説明すべき基本的事項

文書による説明・同意の注意点

インフォームド・コンセントの取得における一般的な留意点

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

退院サマリー、手術記録、入院診療計画書、医学管理料およびIC記録等について定期的に監査を行い、監査結果をカルテ委員会で報告する。

退院サマリーや診療録については、これを業務として閲覧する多部署（診療録管理室、診断書作成室、院内がん登録室、DPC担当）で監査し、不備があれば診療科へ修正を依頼する。

また、医療安全管理委員会、カルテ委員会、診療録管理室が合同で多職種（医師、看護師、診療情報管理士等）によるカルテ記載の確認を行い、院内公開型カルテレビューを定期的に開催している。

さらに、令和5年3月から診療記録の多職種チーム監査を開始し、医師、看護師、薬剤師、PTまたはOTまたはST、診療情報管理士の5職種1チームで診療記録監査票を用いて各科5症例程度の診療記録を評価している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有

・所属職員：専従（5）名、専任（ ）名、兼任（1）名

うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名

うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

■事故防止に関すること

インシデントレポートを分析し、結果を各医療現場にフィードバック、事故防止に繋げる

■医療安全に係る職員の教育・研修に関すること

基本的な考え方や具体的方策について職員に周知徹底を行い、安全に対する意識の向上や、安全な業務の遂行につながるような研修を企画・実施

■院内の事故に関すること

状況の確認、患者さんへの対応確認、状況に応じた指導

診療録や改善策の検討、必要があれば病院全体への周知徹底

原因究明・改善策の確認や必要な指導

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 9 件）、及び許可件数（ 8 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ）
- ・ 活動の主な内容：
 - （１）診療科の長から高難度新規医療技術を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会（九州大学病院高難度新規医療技術審査委員会）に対して当該高難度新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。
 - （２）（１）の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。
 - （３）高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること。
 - （４）高難度新規医療技術の提供の適否について決定したとき及び高難度新規医療技術が適正な手続に基づいて提供されていることについて確認したとき、その内容について病院長に報告すること。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 0 件）、及び許可件数（ 0 件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ）
- ・ 活動の主な内容：

(1) 診療科の長から未承認新規医薬品等を用いた医療の申請が行われた場合、申請内容を確認するとともに諮問委員会（九州大学病院臨床倫理委員会）に対して当該未承認新規医薬品等の提供の適否、実施を認める条件等に意見を求めること。 (2) (1) の意見の求めに応じ、諮問委員会が述べた意見を踏まえ、未承認新規医薬品等の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を適否結果通知書により通知すること。 (3) 未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていることについて定期的に確認すること。 ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ） ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ 有 ）
⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況 ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 307 件 ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 161 件 ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 死亡例の報告については、死亡報告様式を医療安全管理部ホームページに作成し、平成28年9月から実施している。 有害事象（報告範囲）についての報告は、基準を影響度分類3b以上とした上で死亡例も含め既 に実施している。 確認結果の管理者への報告については、医療安全管理部で確認し、医療安全管理委員会（委員長：病院長）で報告している。
⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況 ・ 他の特定機能病院等への立入り（ 有（病院名：筑波大学附属病院 ）） ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ 有（病院名：大阪大学医学部附属病院 ）） ・ 技術的助言の実施状況 特になし
⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 ・ 体制の確保状況 ○ 「患者相談支援室」：患者相談対応を目的として設置 ・ 医療安全に係る相談があった場合には、速やかに医療安全管理部へ対応を依頼

- 「意見箱」：患者からの率直な意見を受け、改善に繋げることを目的として設置
 - ・ 外来診療棟 1 階総合案内、北棟 1 階エレベーターホール、北棟・南棟 5～11 階ラウンジ、ウエストウイング 1・2 階に設置し、病院に対する意見を投書いただくよう明記
 - ・ 医療安全に係る内容の意見があった場合には速やかに医療安全管理部へ報告

⑫ 職員研修の実施状況

・ 研修の実施状況

医療に係る安全管理のための研修を、主にオンラインシステムを用いて実施し、年 2 回以上の受講を義務付けている他、新規採用者・中途採用者を対象とした研修を、以下の内容で実施している。

- ・ 医療安全管理について
- ・ 感染対策の実際
- ・ 医薬品の安全使用について
- ・ 医療機器の安全について

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・ 研修の実施状況

公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する特定機能病院管理者研修に参加

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

令和 5 年 7 月 31 日～8 月 2 日に、「公益財団法人日本医療機能評価機構」の「病院機能評価一般病院 3< 3rdG : Ver. 3.0 >」の更新審査を受審した。

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

現在、評価待ち。

・ 評価を踏まえ講じた措置

現在、評価待ち。

(注) 記載時点の状況を記載すること

令和4年度 医療安全管理・院内感染対策研修会(2023/3/31時点)

○ 全体（全病院職員）に向けた内容の研修会…新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、E-learningあるいはDVD貸し出しにて実施

整理 番号	時 間		受講者数	(内 訳)					必須・ 選択	安全・ 感染・ 合同	研 修 会 名	テ ー マ	講 師
				医師 歯科医師	薬剤師	技術系 職員	看護師 助産師	事務職員					
1	60	分	3,644	1,412	93	405	1,334	400	必須	合同	【必須】医療安全管理・院内感染対策必須研修会 E-learning・DVD貸し出し	・安全で質の高い医療の提供について ・当院の医療安全対策について ・基本的な感染対策(新型コロナウイルス対策も含めて)	・医療安全管理部 後 信、堀 智恵 ・グローバル感染症センター 下野 信行
2	30	分	2,169	892	40	283	686	268	選択	安全	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・2021年度に発生した事例から学ぶ医療安全	・医療安全管理部 堀 智恵
3	30	分	888	467	19	85	188	129	選択	安全	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・紛争リスクの高いインシデント事例への対応について	・医療安全管理部 後 信
4	30	分	675	402	30	65	110	68	選択	安全	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・B型肝炎再活性化対策	・再活性化B型肝炎予防対策WG 総合診療科 小川 栄一
5	30	分	1,187	445	30	109	477	126	選択	安全	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・せん妄予防対策	・精神科神経科 リエゾンチーム 大橋 綾子
6	30	分	616	324	44	47	122	79	選択	安全	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・医薬品の適正使用について	・医薬品安全管理専門委員会 村岡 香代子
7	30	分	1,144	566	16	98	353	111	選択	感染	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・2021年度サーベイランス報告(エビネット報告、VAP、SSI、BSI)	・グローバル感染症センター 小林 里沙
8	30	分	784	449	38	55	168	74	選択	感染	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・ASTIによる抗菌薬適正使用	・グローバル感染症センター 中島 貴史
9	30	分	655	411	23	65	88	68	選択	感染	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・アンチバイオグラムの活用と適切な検査の実施	・検査部 西田 留梨子
10	30	分	2,674	971	53	340	941	369	選択	感染	【選択】医療安全管理院内感染対策合同選択研修会 E-learning	・新型コロナウイルス感染症について	・免疫・膠原病・感染症内科 江里口 芳裕
11	30	分	111	10	0	0	98	3	選択	感染	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 DVD貸し出し	各自	
12	30	分	111	10	0	0	98	3	選択	安全	【選択】医療安全管理・院内感染対策合同研修会 DVD貸し出し	各自	
合計(全体)			14,658	6,359	386	1,552	4,663	1,698	職員1名あたりの受講回数4.02回				

令和4年度 医薬品安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	E-learningまたはDVD貸し出しにより実施	60分	E-learningまたはDVD貸し出しにより実施	616	医薬品安全管理研修 【選択】医療安全管理研修会	・医薬品の適正使用	医薬品安全管理専門委員会
2	令和4年9月27日	15分	基礎研究A棟 第2講義室	105	リスクマネージャー研修	ハイリスク薬であるインスリンについて注意喚起を行う ～当院でのインシデントやヒヤリハットを元に、インスリンを取り扱う際の注意事項について～	薬剤部 齊藤 麻美
小 計				721			

○ 採用者への研修会

<対象者:看護師、外>

No.	開催日	時間	場所	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	令和4年4月1日	90分	百年講堂	428	新採用者就任式・合同研修	医療安全管理について(35分)、 医薬品の安全使用について(15分)、 医療機器の安全について(15分)、感染防止について(25分)	医療安全管理部副部長 堀副看護部長、 グローバル感染症センター 小林看護師長、 薬剤部 金谷副部長、MEセンター 定松臨床工学技士
2	E-learningまたはDVD貸し出しにより実施	60分	—		中途採用者就任式・合同研修	医療安全管理について(15分)、 感染防止について(15分)、 医療機器の安全について(10分)、医薬品の安全使用について(20分)	医療安全管理部副部長 堀副看護部長、 グローバル感染症センター 小林看護師長、 薬剤部 金谷副部長、MEセンター 定松臨床工学技士
3	令和4年4月5日	50分	臨床大講堂	対象者:139名 受講者:139名	看護部新採用者入職時研修	薬剤部の紹介 医薬品の管理・薬剤の基礎知識	薬剤部 齊藤 麻美
4	令和4年4月5日	90	WW4F電算研修室	研修医 2年次:45名 1年次:7名 薬剤師:3名	新採用者研修	薬剤のオーダ演習	薬剤部 金谷 朗子、永田 健一郎
小 計				837			

○ 職種別研修会

<対象者:看護師、外>

No.	開催日	時間	場所等	受講者数	研修会名	テーマ	講師
1	令和4年4月7日	30分	南5階2病棟 病棟検査室	4	新入局看護師、今年度NICU・GCUへ異動してきた看護師研修会 (KCLについて)	KCL製剤の安全使用のための運用方法の周知	薬剤部 福田 まみ
2	令和4年4月15日	30分	南5階2病棟 病棟検査室	9	新入局看護師、今年度NICU・GCUへ異動してきた看護師研修会 (KCLについて)	KCL製剤の安全使用のための運用方法の周知	薬剤部 福田 まみ
3	令和4年5月9日	60分	総合研究棟105号室	28	2022年度 第2回緩和ケアリンクナース定例会(医療用麻薬について)	オピオイドについて-レスキュー薬を安全・効果的に使用するために-	薬剤部 池田 宗彦
4	令和4年5月19日	30分	南5階1	10	産科病棟看護師勉強会(子宮収縮薬について)	インシデント予防のため、産科病棟における汎用薬(子宮収縮予抑制薬)についての必要な知識	薬剤部 舞 彩華
5	令和4年5月27日	30分	南5階1	10	産科病棟看護師勉強会(子宮収縮薬について)	インシデント予防のため、産科病棟における汎用薬(子宮収縮予抑制薬)についての必要な知識	薬剤部 舞 彩華
6	令和4年6月3日	30分	南5階1	8	産科病棟看護師勉強会(子宮収縮薬について)	インシデント予防のため、産科病棟における汎用薬(子宮収縮予抑制薬)についての必要な知識	薬剤部 舞 彩華
7	令和4年6月20日	70分	ウェストウイング3階スキルトレーニングセンター	4	令和4年度 院内認定看護師育成研修(糖尿病ケア)	院内認定(糖尿病領域)を取得予定の看護師が、血糖降下薬に関する知識を習得する。	薬剤部 高吉 真弥
8	令和4年6月29日	60分	北11階1病棟 カンファレンスルーム	10	北11階1病棟 看護師勉強会(注意すべき薬剤について)	病棟看護師として必要な基本的知識(薬剤関連)を習得する。	薬剤部 米満 結子
9	令和4年7月29日	30分	北10階病棟 カンファレンスルーム	10	炎症性腸疾患の治療に用いる生物学的製剤使用時の要点について知識を深めるため	北10階病棟で使用する、炎症性腸疾患の治療に用いる生物学的製剤の特徴、調製・投与方法、副作用等について講義。	薬剤部 重松 智博
10	令和4年8月19日	40分	南9階病棟 カンファレンスルーム	12	南9階病棟看護師勉強会(上部消化管の化学療法について)	第一外科において行われる、上部消化管の化学療法について学習する。	薬剤部 高吉 真弥
11	令和4年9月15日	20分	南6階1 ナースセンター	11	薬剤のせん妄対策について	病棟でのせん妄対策を徹底する	薬剤部 島内 あかり
12	令和4年10月24日	30分	南8病棟 カンファレンスルーム	9	南8階病棟看護師勉強会(オピオイドについて)	病棟で安全にオピオイドを使用するために、オピオイドの副作用、各薬剤の特徴を理解する。	薬剤部 吉田 啓佑
13	令和4年6月29日	15-30分	GCU ナースステーション	28	KCL製剤の安全使用のための運用方法の周知	KCL製剤の投与にあたっての注意事項と院内での運用について	薬剤部 園田 祥子
14	令和4年7月19日	15-30分	ER-ICU ナースステーション	29	注射用カリウム製剤の適正使用について	カリウム注射剤の適正使用/定時注射カートの運用について	薬剤部 山下 祐二/妻 幸典/田中 邑季
15	令和4年8月3日	15-30分	ICU ナースステーション	43	注射用カリウム製剤の適正使用について	カリウム注射剤の適正使用/定時注射カートの運用について	薬剤部 山下 祐二/妻 幸典/田中 邑季
16	令和4年11月10日	30分	北6病棟 カンファレンスルーム	10	小児の薬物療法について	小児の薬物療法における基礎的知識(小児薬物療法の特徴、小児用製剤の特徴と注意点、与薬・服用方法)	薬剤部 若杉 陽子
17	令和5年1月31日	30分	南10病棟 カンファレンスルーム	14	関節リウマチ～治療薬の種類と周術期における対応～	病棟看護師が、病棟業務の際に必要な薬剤知識等を習得する。	薬剤部 横山 加奈
18	令和5年2月1日	- 分	南9病棟 (講義資料配布)	53	膵がん化学療法	病棟看護師が、病棟業務を行うにあたって必要な知識を習得する。	薬剤部 橋本 昂介
19	令和5年3月16日、17日	20分	南6階1 ナースセンター	10	婦人科病棟看護師勉強会(汎用レジメン制吐剤変更について)	汎用レジメンの制吐剤変更について看護師の理解を深めることを目的とした。	薬剤部 島内 あかり
小 計				312			

2023/3/25 更新 中嶋

令和4年度 医療機器安全管理研修会

○ 全体に向けた内容の研修会

No.	開催日	時間	場所	受講者数	対象者		研修会名	テーマ	講師
1	令和4年4月1日	20分	百年講堂	285			医療機器の安全について 新入職員研修	医療安全 医療機器の安全使用のための研修（除細動器含	MEセンター 定松 慎矢先生
2	令和4年6月23日	60分	臨床大講堂 ハイブリッド開催	186			第52回呼吸管理セミナー	「これで安心、気道確保」「生体監視モニターの設定と確認事項について」「呼吸回数測定的重要性～呼吸状態の変化を迅速に察知するために～」	麻酔科 富永 昌周先生 MEセンター 日名子康助先生 看護師 中村 玲子先生
小 計				471					

○ 機器導入時研修会 ＜対象者：臨床工学技士、医師、看護師等 新規導入機器使用職員＞

No.	開催日	時間	場所	受講者数	対象者	CE参加状況(27名)	研修会名	テーマ	講師
1	令和4年4月1、6、7日	30分	北棟地下1階 MEセンター	27	CE	27/27	テルモ 輸液・シリンジポンプ説明会	輸液・シリンジポンプの取扱い	テルモ株式会社 佐藤 大介
2	令和4年4月13、14日	30分	北棟地下1階 MEセンター	27	CE	27/27	CNO説明会	CNOの取扱い	メディック呼吸器センター 三村 浩之
3	令和4年4月11日	30分	南棟5階NICU（看護師）	9	Ns		生体情報モニタ（CSM-1900）説明会	生体情報モニタ（CSM-1900）の取扱い	日本光電工業株式会社 大神 文明
4	令和4年4月15日	30分	南棟3階手術部	6	Dr		ZEOS関節鏡システム 説明会	ZEOS簡易取り扱い方法について	ZIMMER BIOMET 木村 徹
5	令和4年6月20日,7月12日,12月12,16日	30分	南棟3階救命ICU	13	Ns		Puritan Bennett 980 説明会	PB980始業点検方法	医療技術部 臨床工学部門 富重 明弘
6	令和4年8月10日	30分	北棟地下1階 共用会議室	27	CE	27/27	急速輸液装置 SL-One 説明会	急速輸液装置 SL-Oneの取扱いについて	IMI株式会社 小林 将基
7	令和4年12月27日	30分	南棟3階 CCUカンファレンス室	17	Ns		NKV-330勉強会	NKV-330の取り扱いについて	日本光電工業株式会社 久野 大介
8	令和5年1月25,26日	30分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	26	CE	26/27(休職者1名)	SEP/MEP 新規導入機器 説明会	SEP/MEPの取扱いについて	日本光電工業株式会社 大神 文明
9	令和5年2月1,2,3日	30分	南棟5階NICU,GCU,MFICU（看護師）	29	Ns		生体情報モニタ 心電計	生体情報モニタ 心電計の取扱いについて	日本光電工業株式会社 北村 真理
10	令和5年1月16,17,25,26,27日	30分	南棟5階 NICU、GCU	51	Ns		心電図モニタ、心電計、取り扱い説明会	心電図モニタ、心電計の取り扱いについて	日本光電工業株式会社 吉永 玲子、北村 真理
11	令和5年1月20,27日	30分	南棟3階 CCU	22	Ns		NKV-330勉強会	NKV-330の取り扱いについて	日本光電工業株式会社 安田 健太
12	令和5年1月27,30日 2月8,17日	30分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	26	CE	26/27(休職者1名)	血液浄化装置 AcuFil Multi 55X-III 説明会	55X-III操作方法	東レ・メディカル株式会社 中川 靖長
13	令和5年2月13,24日 3月6日	30分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	26	CE	26/27(休職者1名)	Servo-air 説明会	Servo-airの取り扱いについて	フクダ電子西部北販売株式会社 柿原 豊
14	令和5年2月22,27日、3月1日	60分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	26	CE	26/27(休職者1名)	血液浄化装置 ブラズマフレックス（バクスター）説明会	血液浄化装置 ブラズマフレックスの取扱いについて	バクスター株式会社 安田 健太
15	令和5年3月2,3日	30分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	26	CE	26/27(休職者1名)	気管支鏡（MPI）説明会	気管支鏡の取扱いについて	株式会社 エム・ビー・アイ 田中 憲一
16	令和5年3月6日～4月20日	15分	南棟3階 ICUカンファレンス室、CCUカンファレンス室	87	Ns		血液浄化装置 ブラズマフレックス（バクスター）説明会	血液浄化装置 ブラズマフレックスの取扱いについて	バクスター株式会社 安田 健太
17	令和5年3月16日	15分	内視鏡室（ステリ）	4	業者		気管支鏡（MPI）説明会	気管支鏡の取扱いについて	株式会社 エム・ビー・アイ 田中 憲一
18	令和5年3月23,24,27日	30分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	26	CE	26/27(休職者1名)	ハミングビュー説明会	ハミングビューの取扱いについて	株式会社 メディック呼吸器センター 三村 浩之
19	令和5年3月22,29,30日	60分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	26	CE	26/27(休職者1名)	IABP説明会	CARDIOSAVE hybridについて	ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社 橋本 晃
20	令和5年3月13～17日	60分	南棟3階ICU	41	Ns		ハミングビュー説明会	ハミングビューの取扱いについて	株式会社 メディック呼吸器センター
21	令和5年3月10～22日	60分	南棟5階 NICU	72	Ns		PB980、ハミングビュー説明会	PB980、ハミングビューについて	株式会社 メディック呼吸器センター
小 計				614					

○ 機器安全使用のための研修会 ＜対象者：臨床工学技士、医師、看護師等 ＞

No.	5機種	開催日	時間	場所等	受講者数	対象者	CE参加状況(27名)	研修会名	テーマ	講師
1	除細動器	令和4年4月1日	20分	百年講堂	285	全職員		除細動器 勉強会	除細動器の取り扱いについて	医療技術部 臨床工学部門 定松 慎矢
2	保育器	令和4年4月11日	50分	南棟5階 NICU	13	Ns		保育器勉強会	保育器（閉鎖式、開放式）の取り扱い	アトムメディカル株式会社
3	人工呼吸器	令和4年4月14日	60分	北棟地下1階 MEセンター	12	CE	12/27	Servo i、Excor勉強会	Servo i、Excorの取り扱いについて	医療技術部 臨床工学部門 佐藤博彦、日名子康助
4	保育器	令和4年4月21、28日	30分	北棟地下1階 MEセンター	28	CE/業者	27/27	保育器 説明会	保育器の取扱い	アトムメディカル株式会社 浅井 信人
5	人工呼吸器	令和4年5月12,27,30日	30分	南棟3階 救命ICU	21	Ns		Bennett980 勉強会	Bennett980の取り扱いについて	医療技術部 臨床工学部門 富重 明弘
6	人工心肺及び補助循環	令和4年5月24日	60分	CCUカンファレンスルーム	10	Ns		LVAD勉強会	LVADの取り扱いについて	医療技術部 臨床工学部門 渡邊直貴
7	人工心肺及び補助循環	令和4年5月26日、27日	60分	北棟地下1階 MEセンター	19	CE	19/27	IMPELLA 5.5 勉強会	IMPELLA 5.5の取扱いについて	日本アビオメッド株式会社 松原 正敏
8	その他	令和4年6月6日	60分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	12	CE	12/27	SEP/MEP勉強会	SEP/MEPについて	日本光電株式会社 疋田
9	その他	令和4年6月23日	60分	北棟地下1階 共用会議室	15	CE	15/27	ヘモクロン勉強会	血液の凝固、ヘモクロンについて	平和物産株式会社 室伏 和博
10	血液浄化	令和4年6月24,27日	30分	南棟3階救命ICU	5	Ns		CHDF勉強会	CHDFについて	医療技術部 臨床工学部門 高橋 瞬
11	その他	令和4年6月22日	30分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	9	CE	9/27	心電図勉強会	心電図について	医療技術部 臨床工学部門 瀬戸口 秀悟
12	人工心肺及び補助循環	令和4年6月21日	50分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	15	CE	15/27	Quadrox-i 勉強会	Quadrox-iの概要、特徴	ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社 秋田 拓哉
13	人工心肺及び補助循環	令和4年6月20日、27日	60分	北棟3階 補助人工心臓管理室	14	Ns		VAD勉強会	補助人工心臓について	医療技術部 臨床工学部門 佐々木 悠真
14	人工呼吸器	令和4年7月14日,11月30日	30分	南棟3階 CCU	15	Ns		V60勉強会	V60について	医療技術部臨床工学部門 富重明弘
15	その他	令和4年7月29日	30分	北棟地下1階 MEセンター	20	CE	20/27	GE麻酔器 説明会	GE麻酔器の取扱いについて	GEヘルスケアジャパン
16	その他	令和4年8月4,8日	20分	北棟地下1階 MEセンター	11	CE	11/27	テルモ シュアプラグ 説明会	テルモの取り扱いについて	テルモ株式会社 佐藤 大介
17	人工呼吸器	令和4年8月22,23,25日	30分	南棟4階 HCU	16	Ns		HAMILTON-G5、C6勉強会	HAMILTON-G5、C6の取り扱いについて	医療技術部 臨床工学部門 高橋 瞬
18	人工心肺及び補助循環	令和4年8月25日	60分	北棟地下1階 MEセンター	14	CE	14/27	人工心肺シミュレーター勉強会	メラCPBワークショップ操作方法	泉工医科工業株式会社 嘉藤 修一

19	人工心肺及び補助循環	令和4年9月15,22日	50分	南棟5階カンファレンスルーム	46	Ns		ECMO勉強会	小児ECMOについて	心臓血管外科 牛島 智基 医療技術部 臨床工学部門 古庄 宏嵩
20	人工心肺及び補助循環	令和4年9月21日	90分	北棟6階 カンファレンスルーム	15	Ns		VAD勉強会	補助人工心臓装置について（H MⅢ）	医療技術部 臨床工学部門 佐々木 悠真
21	人工心肺及び補助循環	令和4年10月19日	60分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	20	CE	20/27	補助循環勉強会	機械的補助循環を極める（初級編）	医療技術部 臨床工学部門 定松 慎矢
22	人工心肺及び補助循環	令和4年10月31日	60分	南棟4階 手術室カンファレンスルーム	34	Ns		人工心肺勉強会	人工心肺の基礎	医療技術部 臨床工学部門 定松 慎矢
23	血液浄化	令和4年11月9、10日	10分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	10	CE	10/27	キュアフローA 勉強会	キュアフローAについて	旭化成メディカル株式会社 谷口 貴宏
24	人工呼吸器	令和4年11月21,24,25日	30分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	20	CE	20/27	PB980 Neoフィルタ－勉強会	PB980 Neoフィルタ－について	メディック呼吸器センター 三村 浩之
25	人工呼吸器	令和4年11月30日、12月1、2日	20分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	20	CE	20/27	インテリカフ勉強会	インテリカフについて	日本光電工業株式会社 北村 真理
26	血液浄化	令和5年1月27,30日 2月8,17日	30分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	26	CE		東レ CHDF勉強会	CHDFについて	東レ・メディカル株式会社 中川 靖長
27	血液浄化	令和5年2月22,27日 3月1日	60分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋	26	CE		バクスター CHDF勉強会	CHDFについて	バクスター株式会社 安田 健太
28	血液浄化	令和5年3月28日	60分	北棟地下1階 MEセンター 点検部屋（医師、CE対象）	21	CE	18/27	ACH-Σ 血漿交換 勉強会	血漿交換について	旭化成メディカル株式会社 谷口 貴宏
29	除細動器	令和5年3月31日まで	30分	eラーニング(TEST)	22	CE		除細動器 勉強会	除細動器の取扱いについて	医療安全管理部
小 計					794					

平成29年度～ 高度新規医療実施申請書 受付簿

受付 番号	高度新規 医療内容	診療科名	事前 問合せ	左記 連絡先	実施 責任医師	左記 連絡先	高度新規医療の名称	技術 難易 度	様式の 送付	申請書 日付	申請書 受領日	諮問委 依頼日	各委 員会	諮問委員 会結果通 知日(承認 日)	部会 検討日	申請科 へ通知	安全委 へ報告	備 考
22-1	医療技術	第二外科			吉住	4134 (伊藤)	腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	D～ E		5/12	5/12	5/13	5/26	5/26	5/27 ～ 6/1	6/1	6/15	
22-2	医療技術	第二外科			沖	2899 2903(中 西)	ロボット支援下結腸悪性腫瘍手術	D		5/18	5/18	5/18	5/26	5/26	5/27 ～ 6/1	6/1	6/15	諮問委員会のへ審査依頼に関して、部長確認の上発行したが、原議の作成を失念。
22-3	医療技術	小児外科			松浦	7559 (川久保)	自己肝冷却還流併用の拡大肝右葉切除術 (Ante situm 肝切除)	E		5/30	5/30	6/6	6/22	6/23	6/30	6/30	7/20	
22-4	医療技術	第二外科			竹中	2685 (河野)	悪性胸膜中皮腫に対する胸膜切除／肺剥皮術	D		6/9	6/9	6/30	7/20	7/21	7/27	8/1	8/17	2014～2015年に実施経験のある手術。現在実施経験のある医師が不在だが、実施予定があるとのことで申請あり。
22-5	医療技術	顔面口腔外科			山田	3082 (杉山)	顎関節人工関節全置換術	D		6/24	6/24	6/30	7/20	7/21	7/27	8/1	8/17	
22-6	医療技術	第一外科			中村(雅)	2891 (阿部)	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	D		6/24	6/24	6/30	7/20	7/21	7/27	8/1	8/17	
22-7	医療技術	心臓血管外科			塩瀬		頸動脈アプローチによる経カテーテル的大動脈弁置換術	不明		8/25	8/25	9/5	9/20	9/21	9/28	10/14	11/16	
22-8	医療技術	小児外科			松浦	7795	腹腔鏡下移植用部分肝採取術(生体)(外側区域グラフト)	D		9/22	9/22	-	-	-	審査不要	-	-	通常の腹腔鏡下肝外側区域切除術を比較して手術方法や注意点等の相違がない、とのことで、新規性の観点から高度新規医療に該当しないと判断
22-9	医療技術	循環器内科 心臓血管外科			塩瀬、筒井		経皮的肺動脈弁置換術	不明		1/16	1/16	1/26	2/7	2/15	2/28	2/28	3/8	

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

- ・ 基準の主な内容

◎九州大学病院長候補者選考実施規程

第2条 九州大学部局長の任命等に関する規則（平成27年度九大規則第29号）第3条別表の規定に基づく病院長となることができる者は、次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 医療法（昭和23年法律第205号）第10条第2項に基づき主として医業を行う病院を管理することができる者
- (2) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者
- (3) 病院の管理運営上必要な資質・能力を有する者

2 九州大学病院長候補者選考会議（以下「選考会議」という。）は、病院長候補者の選考に際し、前項第2号及び第3号に掲げる資質・能力に係る具体的な基準についてあらかじめ定めるものとする。

◎九州大学病院長に求められる資質・能力等について（令和3年9月6日九州大学病院長候補者選考会議）

九州大学病院長候補者選考会議は、病院長候補者の選考にあたり、九州大学病院長候補者選考実施規程第2条第2項の規定に基づき、病院長に求められる資質・能力等について次のとおり定める。

■求められる資質・能力等

人格が高潔で学識に優れ、かつ、次に掲げる資質・能力を有すること。

1. 医療安全確保のために必要な資質・能力

医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有すること。

2. 病院の管理運営上必要な資質・能力

当院又は当院以外の病院での組織管理経験など、高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質・能力を有すること。

3. 九州大学及び九州大学病院の理念等を実現するために必要な資質・能力

国立大学法人九州大学第4期中期目標・中期計画や、九州大学病院が掲げる理念・基本方針の実現を目指す強い意思と、これらを継続的かつ

確実に推進する強力なリーダーシップを有すること。

- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有 ）
- ・ 公表の方法

本学Webサイトに掲載

規則第 7 条の 3 第 1 項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無				無	
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ ） ・ 公表の方法 本学W e bサイトに掲載					
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無			有
- 合議体の主要な審議内容 ①運営方針に関する事項 ②中期目標及び中期計画に関する事項 ③規程等の制定及び改廃に関する事項 ④予算及び決算に関する事項 ⑤その他病院の運営に関する重要事項 - 審議の概要の従業者への周知状況 議事要旨を院内Webサイトに掲載し、周知 - 合議体に係る内部規程の公表の有無（ 無 ）※院内Webサイトに掲載 - 公表の方法 - 外部有識者からの意見聴取の有無（ 有 ） 九州大学病院運営会議規程第7条において、「運営会議が必要と認めるときは、構成員以外の者に出席を求め、意見を聞くことができる」旨規定されている。			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
中村雅史	○	医師	病院長
前田英史		歯科医師	副病院長
須藤信行		医師	副病院長
中島康晴		医師	副病院長
後信		医師	副病院長
中島直樹		医師	副病院長
三森攻士		医師	副病院長
濱田正美		看護師	副病院長
中川尚志		医師	病院長補佐
鮎澤純子		教員	病院長補佐
下野信行		医師	病院長補佐
塩瀬明		医師	病院長補佐
新納宏昭		医師	病院長補佐
田尻達郎		医師	病院長補佐
加藤聖子		医師	病院長補佐
石神康生		医師	病院長補佐
赤司浩一		医師	科長
北園孝成		医師	科長
小川佳宏		医師	科長
磯部紀子		医師	科長

絹川真太郎		医師	副科長
岡本勇		医師	科長
大賀正一		医師	科長
大内田研宙		医師	副科長
仲田興平		医師	副科長
竹中明祐		医師	科長
久保真		医師	科長
大藺慶吾		医師	副科長
吉住朋晴		医師	科長
吉本幸司		医師	科長
中原剛士		医師	科長
江藤正俊		医師	科長
中尾智博		医師	科長
園田康平		医師	科長
山浦健		医師	科長
門田英輝		医師	科長
水野晋一		医師	科長
福本敏		歯科医師	科長
高橋一郎		歯科医師	科長
西村英史		歯科医師	科長
鮎川保則		歯科医師	科長
川野真太郎		歯科医師	科長
山田朋弘		歯科医師	副科長
横山武志		歯科医師	科長
吉浦一紀		歯科医師	科長
和田尚久		歯科医師	科長
柏崎晴彦		歯科医師	科長
播谷勝三		医師	科長
平川雅和		医師	科長
小田義直		医師	部長
赤星朋比古		医師	センター長
沖英次		医師	部長
戸高浩司		医師	センター長
馬場英司		医師	センター長
家入一郎		薬剤師	部長
河野一郎		理学療法士	部長
中湖博則		事務	部長
鴨打正浩		医師	教授
藪内英剛		医師	教授

規則第 15 条の 4 第 1 項第 1 号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ 有 ）
- ・ 公表の方法
本学 Web サイトに掲載
- ・ 規程の主な内容
九州大学学則第 25 条第 2 項 「部局長は、当該部局の業務を掌理する。」
九州大学病院規則第 16 条 「病院の管理及び運営に関し必要な事項については、
病院長が別に定める。」
国立大学法人九州大学予算決算及び出納事務取扱規程第 9 条第 2 項
「総長は、（中略）予算単位（病院）に配分した予算の管理
及び執行に関する事務を予算責者（病院長）に分掌させる
ものとし、その処理に係る職務権限を委任するものとする
。」
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
(1) 副病院長を 7 名置き、病院長を補佐して本院の業務を処理
副病院長 ①統括・歯科担当、②総務担当、③経営担当、
④安全管理・危機管理担当（医療安全管理責任者）、
⑤医療情報担当、⑥別府病院担当、⑦看護部総括担当
(2) 病院長補佐を 8 名置き、病院長の諮問に応じ、具体的な事項についての情報の収集及び調査を行い、意見を具申
病院長補佐 ①医療連携担当、
②監査・法規・IC 担当（インフォームド・コンセント管理者）、
③感染管理担当（感染管理責任者）、④医療機器管理担当、
⑤教育担当、⑥移行期医療担当、⑦別府病院再開発担当、
⑧診療録管理担当（診療録管理責任者）
(3) その他、国際医療部長、薬剤部長、医療技術部長、事務部長等が、病院長をサポート

・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

日程	事業名	場所	参加者
令和4年2月17日	第3回病院経営次世代リーダー養成塾	オンライン開催	中村副病院長
令和5年2月9日	国立大学附属病院長会議「第5回病院長塾」	オンライン開催	中村病院長、須藤副病院長、中島副病院長、中湖博則事務部長

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況					有
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： 第 1 回監査 以下の現状について監査 ・ 入院・周術期支援センターの体制に関する当院の取り組み ・ 入院・周術期支援センターラウンド 第 2 回監査 以下の現状について監査 ・ 医療機器の安全管理に関する当院の取り組み ・ ME センターラウンド ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ 有 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ 有 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ 有 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ 有 ） ・ 公表の方法：本院ウェブサイトに掲載					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
近本 亮	熊本大学	○	安全管理の識見者	無	1
富田 康裕	久留米大学		安全管理の識見者	無	1
杉原 学	久留米大学		安全管理の識見者	無	1
秋好 美代子	さく病院（元九大病院）		安全管理の識見者	有	1
久保井 摂	九州合同法律事務所		法律の識見者	無	1
中原 美夏	NPO 法人 がんサポーター		医療を受ける者	無	2

- （注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・ 体制の整備状況及び活動内容

「国立大学法人九州大学の業務の適性を確保するための体制等に関する規則」に基づき、本学の役職員が法令及び本学の規則等を遵守することなどを目的として、本学の業務の適正を確保するための体制を整備している。

本体制において、病院長は業務適正確保責任者として、本院の業務の調査・評価を行い、その結果等について業務適正確保統括責任者（総長が指名する理事）に報告を行い、さらに業務適正確保統括責任者は、毎年役員会に取りまとめた結果を報告し、確認を行っている。

・ 専門部署の設置の有無（ 有 ）

・ 内部規程の整備の有無（ 有 ）

・ 内部規程の公表の有無（ 有 ）

・ 公表の方法

本学webサイトに掲載

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 平成30年度から予算執行状況を含む本院の業務の実施状況について、定期的に役員会に報告することとしている。 ・ 会議体の実施状況（ 年 37 回（令和4年度） ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 無 ）（ 年 回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 ） ・ 公表の方法 本学Webサイトに掲載			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 （○を付す）	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

（注） 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有 ） ・ 通報件数（年 0 件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有 ） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有 ） ・ 周知の方法 院内 web サイトに情報掲載

令和4年7月14日

九州大学病院
医療安全監査委員会委員 各位

九州大学病院
病院長 中 村 雅 史 公印省略

令和4年度 第1回九州大学病院医療安全監査委員会の開催について

標記のことについて、下記のとおり九州大学病院医療安全監査委員会を開催いたします。ご多忙のことと存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 令和4年9月9日（金） 15：00～17：00
- 2 場所 九州大学病院北棟2階 多目的室
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によってはWEB会議に変更する可能性がございます。
- 2 議 題 入退院・周術期支援センターの体制について（ラウンドを含む）

【お問合せ先】

九州大学病院医療管理課 笹原・荒木
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
TEL 092-642-5135
E-mail : byianzen@jimu.kyushu-u.ac.jp

令和 5 年 2 月 1 日

九州大学病院
医療安全監査委員会委員 各位

九州大学病院
病院長 中 村 雅 史 公印省略

令和 4 年度 第 2 回九州大学病院医療安全監査委員会の開催について

標記のことについて、下記のとおり九州大学病院医療安全監査委員会を開催いたします。ご多忙のことと存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 令和 5 年 3 月 9 日（木） 14：00～16：00
- 2 場所 九州大学病院北棟 2 階 多目的室
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によってはWEB会議に変更する可能性がございます。
- 2 議 題 医療機器の安全管理

【お問合せ先】

九州大学病院医療管理課 笹原・荒木
〒812-8582 福岡市東区馬出 3－1－1
TEL 092-642-5135
E-mail : byianzen@jimu.kyushu-u.ac.jp

令和4年度 九州大学病院医療安全監査委員会 委員名簿

条項	氏名	所属名	役職・職種	選定理由	利害関係
第3条第1項第1号委員	近本 亮	熊本大学	医療の質・安全管理部 副病院長(医療安全管理・ 危機管理担当)	安全管理の識見者	無
第3条第1項第1号委員	富田 康裕	久留米大学	医療安全管理者 薬剤副部長補佐	安全管理の識見者	無
第3条第1項第1号委員	杉原 学	久留米大学	医療機器安全管理責任者 臨床工学センター技師長	安全管理の識見者	無
第3条第1項第1号委員	秋好 美代子	さく病院(元九大病院)	看護師	安全管理の識見者	有
第3条第1項第1号委員	久保井 摂	九州合同法律事務所	弁護士	法律の識見者	無
第3条第1項第2号委員	中原 美夏	NPO法人 がんサーサポート	副理事長	医療を受ける者	無

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
・ 情報発信の方法、内容等の概要 ○ 病院のホームページ 外来・入院・お見舞い案内、病院紹介、病院指標データ、診療科・センター・施設等案内、医療連携、採用情報、トピックス等の情報を提供 ○ 広報誌 1) 病院概要（県内病院、国立大学、官公庁向けに送付） 診療科、部、センター等の案内、病院統計資料等の情報を提供 2) 九大病院ニュース（県内外の病院、県医師（歯科医師）会、大学病院、官公庁向けに送付	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 ○ 入退院・周術期支援センター 周術期支援センターは、周術期医療の質の向上を目指して、平成26年9月に設置され、これまで患者が安全に手術を受けられるよう、麻酔科医・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士および周術期口腔ケアセンターの歯科医・歯科衛生士が各科担当医とチームを組み支援してきた。さらに、手術患者の社会福祉的支援を入院前から開始するとともに、退院後の療養支援を行うために令和2年4月に、入退院・周術期支援センターへと改組された。 入退院・周術期支援センターでは周術期管理のために、麻酔科医による術前全身評価を中心に、薬剤師による薬剤確認、管理栄養士による栄養評価、口腔ケアのスクリーニングなどを行っている。手術に影響がある疾患を有する患者の場合は、循環器内科・糖尿病内科・呼吸器科	

など他の診療科の評価と治療を受けた後に、入退院・周術期支援センターにて総合的な周術期管理を行っている。以上のように医療安全を確保し、予期しない手術中止症例の減少、術前合併症の予防、早期退院の推進のために複数の診療科と多職種が連携して対応している。

令和5年1月より、支援の対象を全診療科へ拡大し、当院で入院治療を受ける患者を一元的に支援するPatient Flow Management (PFM) の確立を目指している。